日本の軍装

—幕末から日露戦争—

JAPANESE MILITARY UNIFORMS 1841~1929

From the fall of the Shogunate to the Russo-Japanese War

中西立太 著
Text and Illustrations / Ritta Nakanishi

日本の軍装

—幕末から日露戦争—

JAPANESE MILITARY UNIFORMS 1841~1929

From the fall of the Shogunate to the Russo-Japanese War

大日本絵画

ISBN4-499-22737-2 C0031 ¥3300E
定価（本体[redacted]300円＋税）
9784499227377
1920031033008

日本の軍装

—幕末から日露戦争—

JAPANESE MILITARY UNIFORMS 1841~1929

From the fall of the Shoguaate to the Russo-Japanese War

序章
Preface

近代天皇の軍装
Full military dress for an emperor of modern Japan

天皇制の近代国家となった日本の天皇は、陸海両軍の最高統帥者であったため、幼い頃から各種行事には両軍の正装で出席した。幼少期の軍服は少尉からで、即位して大元帥陛下となる。

Even under the modernized imperial system, the Emperor was commander-in-chief of both the Army and Navy and attended formal events in full military dress even from childhood. The rank insignia of his dress uniform went from Second Lieutenant at childhood to Commander-in-Chief after assuming the throne.

正装の明治天皇 The Emperor Meiji in full dress.

最高位の勲章（頸飾）—（首に掛ける勲章）を着けた姿で、右肩からの勲章は左腰へ着けた副章のものである。（明治神宮絵画館蔵）

The highest decoration is worn around the neck, with other decorations on the left breast, and the supplementary sash from the right shoulder to the left hip.

幼少期の近衛歩兵少尉正装の大正天皇

The Emperor Taisho in childhood. This is the full dress uniform of a Second Lieutenant.

大佐正装の大正天皇

The Emperor Taisho in the full dress uniform of a Colonel.

御成婚の時の正装。佐官なので袖口には歩兵の赤い兵科色がついている。

This is the full dress he wore at his wedding. Due to the Colonel rank, the cuffs were red, the service color of the infantry.

明治天皇御大葬時の大正天皇乗馬姿

The Emperor Taisho at the state funeral for the late Emperor Meiji.

天皇用の馬具がよくわかる。

The details of the emperor's special harness are well shown.

陸軍歩兵大佐姿の昭和天皇

側成婚時の軍装。天皇即位前は元帥まで通常の軍装だが、即位後、明治5年制では、姿は西郷と同じだが、上衣の袖と袴の側線が大2条、小2条となりボタンが菊花となり、聖上大元帥となる。31年制では通常の元帥軍装だが正肩章の三ノ星の上に菊花章がつき、ボタンが菊花となり、大元帥陛下となる。

The Showa Emperor in the full dress of Colonel of the infantry.
It was the military full dress at his wedding. During a prince, his full dress was a usual military full dress ranked up to a Marshal. After ascending the throne, it was the full dress of a Commander of Chief, i.e. model 1872: sleeves and trousers had 2 thick stripes and 2 thin ones with chrysanthemum flower shaped buttons, model 1893: chrysanthemum flower was added on the three stars epaulettes of the above.

昭和14年(1939年)の観兵式の昭和天皇

The Emperor Showa holding a military review in 1939.
騎乗している白馬の名は「吹雪」といった。
The emperor's white riding horse was named *fubuki* (snowstorm).

明治期の将帥 Important Generals of the Meiji Period

明治6年7月、陸軍元帥近衛都督兼任となった西郷は、日本最初の元帥でったが、翌7年の官制改革でこの職はなくなり、元の大将に戻っと。存命であれば31年の元帥府制度で改めて元帥に昇格したものと思われる。図は大将の正服姿。

In July of 1872, Saigoh became the Japanese Army's first-ever field marshal while holding he title of commander of the Imperial Guards concurently. However, he was returned to general's rank under the reorganization of the military system the following year. Had he been alive, he most certainly would have regained the field marshal title when the rank was reinstituted in 1897. The illustration depicts him in a general's full dress uniform.

幻の陸軍元帥姿の西郷隆盛

Takamori Saigoh, the first field marshal of the army, in a field marshal's full dress uniform (never worn).

明治5年9月制定のボタン2列9個、襟総金、袖線が大2条、小1条、側線が大1条、小1条の元帥服だが、明治6年5月に廃止となったので、西郷がこの軍服を着ることはなかった。

Introduced in September 1872, this speculative drawing depicts Takamori Saigoh in a field marshal's full dress uniform with two rows of nine buttons on the jacket (revised to seven buttons the following year). The collar is fully gold-embroidered, and the sleeves are marked with two large and one small line, with one large and one small line on the outer side of the trouser legs. This style was abandoned in May the following year, before Saigoh ever had a chance to wear it.

乃木希典大将 General Maresuke Nogi

明治19年(1886年)改正のボタン2列7個の正衣と新しい袖章の姿である。この形は昭和まで続く。元帥はこの姿に元帥徽章、元帥刀、元帥刀帯をつける。

General Maresuke Nogi in model 1886 full dress. This model 1886 full dress had 2 lines of 7 buttons and new sleeves stripes to be continued until Showa era.

東郷平八郎元帥

Admiral of the Fleet, Heihachiro Togoh

明治29年(1896年)制定のボタン2列8個の海軍正衣に16年改正の大将用袖章をつけている。元帥用装具をつけていないので、元帥就任以前の姿である。

Admiral of the Fleet Heihachiroh Tohgoh in full dress. The full dress on this photo was the 1896 model of 2 line of 8 buttons mixed with model 1879 Admiral sleeves stripes. It was a photo before his taking up an Admiral of the Fleet.

歩兵第20連隊幹部(福知山)(大正1~3年頃撮影)
兵、下士は明治38年制定のカーキ色軍服の形だが、古い紺の生地の在庫が多いため、まだ紺の軍服を着ている。将校は明治45年制定の袖に線(兵は赤細線)の入った軍服を着ているから、45年以降の撮影であることが判る。

20th Infantry Regiment Headquarters (Fukuchiyama -- photo from 1912 - 1914).
The enlisted men's uniforms are of the design designated for khaki material in 1905, but they are made from navy blue cloth due to excess supplies of that material. The officers are wearing uniforms with a thin stripe on the sleeve as designated in 1912, proving that the photo was taken after that date.

扉頁写真:第1師団後備騎兵第1中隊、東京出身者(明治37年4月12日撮影)(写真提供/平山晋)

1st Support Cavalry Division, 1st Battalion, Troops from Tokyo (photo taken April 12, 1904, provided by Susumu Hirayama)

日本の軍装 —幕末から日露戦争—

2001年4月10日　初版第一刷

著　者/中西立太
発行人/小川光二
発行所/株式会社大日本絵画
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町1丁目7番地
Tel:03-3294-7861(代表)　Fax:03-3294-7865
http://www.kaiga.co.jp
企画・編集/株式会社アートボックス
編集担当/項月　緑
装丁・レイアウト/小林裕明
翻　訳/梅本　弘、菊川由美、スコット・ハーズ
資料協力/笹間良彦、平山　晋
印刷・製本/大日本印刷株式会社
ISBN4-499-22737-2 C0031
◎本書に掲載された記事、図版、写真等の無断転載を禁じます。

©2001 中西立太/大日本絵画

Published by Dainippon Kaiga Co., Ltd.
1-7 Kanda Nishiki-cho, Chiyoda-ku
Tokyo 101-0054 JAPAN
Tel: 81-3-3294-7861 Fax: 81-3-3294-7865

US Impor. Agent: RZM Imports, Inc.
E-mail: rzm@rzm.com
Tel: 203-264-0774 Fax: 203-264-4967
P.O. Box 995, Southbury CT, 06488 USA

Copyright 2001, Ritta Nakanishi/Dainippon Kaiga Co., Ltd.

■1960年代　小学四年生「バッファロー狩り」

■1960年代　少年「進の442戦斗隊」

■1960年代　小学四年生「海底二万マイル」

■1960年代　ボーイズライフ「宇宙の特攻兵」

■1970年代　ミドリ　「Sd.Kfz.250/5 無線指揮車」

■1970年代　少年・名講プラモ教室「彗星特攻隊」

■1970年代　世界画報社「大むかしの動物」

■1980年代　小学館「シューベルトの旅」

■1980年代　小学館「誰なんでも入門」姫路城

中西立太　年譜

西暦	日本	年令	事項
1934	昭和9	満	●3月18日、長野県上田市で画家中西義男、コヤの間に長男として生まれる。中西義男は童画家で、昭和初期の自由画運動、農民美術運動、創作版画運動などで功績のあった春陽会会員。山本鼎の弟子であった。
1940	昭和15	6	●上田市立北小学校へ入学。
1945	昭和20	11	●市内小学校図画コンクールへ馬の絵を出品し銅賞。
			●上田蚕糸専門学校へ入学。4月、学制改革により新制の併設中学となる。
1947	昭和22	13	●「少年王者」「大平原児」などの絵物語、月刊少年誌の黄金時代が始まり、多中で読み憧れる。戦前の画家達の仕事の完成期で、レベルの高い絵が多かった。
1949	昭和24	15	●上田松尾高校入学（現、上田高校）。
1950	昭和25	16	●この年、父義男が率先して春陽会会員、岡鹿之助先生を招き講習会（鹿会会）開催。作品批評、模写テッサンの指導を受ける。
1952	昭和27	18	●卒業、官大油絵科受験失敗（倍率は10倍だった）。
1953	昭和28	19	●アルバイトで鉄道工芸品の図録用絵1～6号をたくさん描く。
1954	昭和29	20	●絵本の仕事や教科書の仕事など、父の作品を持って東京の出版社などへ。
1955	昭和30	21	●上京、姉二人の住む深川、門前仲町の家へ居候。小学館で小さなカットなどの仕事を始める。
1956	昭和31	22	●上京した父母と共に川崎市鹿島田へ転居。新宿コマ劇場裏の新宿美術研究所でデッサンを勉強。
1957	昭和32	23	●小学館学習誌の挿絵や付録の仕事が増える。
1958	昭和33	24	●清瀬市松山へ父母と共に転居。
1959	昭和34	25	●仕事の便のよい中野区江古田へ転居。
1960	昭和35	26	●ボーイズライフの挿し絵など。高荷義之来宅　友人となる。その関係で伊藤展安、津尾毅、小林弘隆を知る。
1961	昭和36	27	●小松崎茂先生宅訪問、長岡秀三（後の秀星）、平野光一を知る。皆でよく食んだ。各少年誌で口絵、挿絵などを描く。
1962	昭和37	28	●小学館科学図説シリーズ「人類の誕生」で第8回サンケイ児童出版文化賞受賞。同時受賞者に岩崎ちひろ（童画家）松谷みよ子（小説家）がいる。百瀬元恵と結婚。
1963	昭和38	29	●増成社「建物の科学」、「世界のなぞと不思議」などの単行本の仕事。
1964	昭和39	30	●小学館科学図説シリーズ全体で第1回サンケイ児童出版文化賞大賞受賞。中に「生命のふしぎ」、「人体の科学」がある。
1965	昭和40	31	●怪獣、ウルトラマンなどの仕事増える。朝日ソノラマ「サンコンはV」「柔道一直線」「仮面の忍者赤影」「忍者式芸張」

西暦	日本	年令	事項
1966	昭和41	32	●「少年」で矢野徹作「進の442戦斗隊」、ボーイズライフで岡氏作「宇宙の特攻兵」。父死去、長女由香乃誕生。
1968	昭和43	34	●後の劇画家小林源文弟子入り。プラモデルのボックスアート始める。フジミ、ミドリ、日模など。少年サンデー創刊？
1969	昭和44	35	●プラモデルのボックスアート増える。少年口絵「名画プラモ教室」。
1970	昭和45	36	●フジミのミニカンクシリーズなど。国土社「登呂遺跡のなぞ」「手のある神殿」。「少年」廃刊？　長男祐太郎誕生。
1971	昭和46	37	●国土社「化石魚シーラカンス」「まぼろし動物デスモスチルス」。
1972	昭和47	38	●月刊ホビージャパンに「日本の軍装」連載始める。
1975	昭和50	41	●立風書房「社型　ドイツ機甲軍団」、小林源文と共作（20版出る）。
1977	昭和52	43	●小学館「船と航海の図鑑」に執筆、清瀬市へ転居。
1978	昭和53	44	●小学館「エネルギーの図鑑」以下「自動車」「航空機」などに執筆。
1979	昭和54	45	●集英社「恐竜の世界」など。
1980	昭和55	46	●小学館入門百科シリーズ「誰なんでも入門」で姫路城図解。
1981	昭和56	47	●小学館学習マンガ「日本の歴史」の図解頁担当。以後本格的に歴史往元画を始める。
1986	昭和61	52	●週刊朝日百科「日本の歴史」へ復元画執筆、好評。
1987	昭和62	53	●河出書房新社「日本の歴史」へ近世都市の復元画を始める。
1988	昭和63	54	●学研ビクトリアルシリーズ「江戸城と大奥」構成と執筆。
1989	平成元	55	●学研ビクトリアルシリーズ「大名と城本」構成と執筆。世界文化社ビッグマンスペシャル「武田信玄」。
1990	平成2	56	●学研ビクトリアルシリーズ「町屋と町人」構成と執筆。世界文化社ビッグマンスペシャル「西郷隆盛」。
1991	平成3	57	●大日本絵画より「日本の軍装」出版。講談社KK文庫「織田信長」。
1992	平成4	58	●講談社KK文庫「豊臣秀吉」。小学6年生でイラスト歴史ツアー連載始める。講談社「日本全史」。
1993	平成5	59	●講談社KK文庫「徳川家康」、学研歴史群像で「歴史り実相」連載始める。
1994	平成6	60	●朝日百科「歴史を読みなおす1」に縄文物語。
1997	平成9	63	●アーマーモデリング（大日本絵画刊）に「日本の軍装-日露戦争篇」連載始める。集英社イミダスムッグ「人類の起源」、成毛堂出版「元禄赤穂事件」。
1998	平成10	64	●大日本絵画より「日本の歩兵火器」出版。
1999	平成11	65	●成毛堂出版「恵川三代」、集英社イミダスムッグ「縄文世界の一万人」、JTB旅「関ヶ原合戦」。
2000	平成12	66	●成毛堂出版「蒙古襲来と北条氏の戦略」、学研「江戸城と将軍の暮らし」、ポプラ社「縄文の村の研究」、歴史絵本「武士の系譜」連載。

■2000年　JTB旅「激闘　関ヶ原」

■990年代　ニュートン「ラスコー洞窟のクロマニヨン人」

■1990年代　河出書房「日本の歴史」名古屋城

■1980年代　朝日百科「縄文の煙舞」

序文：『日本の軍装』—幕末から日露戦争— 発刊に寄せて
F O R E W O R D

中西さんも私もイラストレーターです。

この仕事は注文に応じ色々な風景、風俗、物体を素早く仕上げなければなりません。

歴史的な場面ではこれに時代考証というやっかいな要素が加わります。その時代に適した絵を描くのは大変むずかしい作業ですが、できるだけ誤りの少ないように努めます。

理想を云えばそこに描かれている情報の何十倍もの知識が本当は必要だと思います。それができれば見る人を充分に満足させる作品と云えましょう。

一枚だけの絵でしたら資料と乏しい知識を総動員してなんとかつじつまを合わせることもできますが、或る時代の或ることを系統的にまとめ上げるのは大層な作業で画家の仕事を超え、学者の範囲に入るでしょう。

私が知る青年、中西さんは優秀なマルチイラストレーターで、特段一つのことだけに凝ることのない人だったと記憶しています。いつの頃か日本歴史が研究テーマになられたらしく、色々なメディアに結果を作品として発表されています。中でも古今の軍装に特に精通され、名著『日本の軍装』も執筆されています。フィギュア模型の歴史の永い欧米では立派な服飾図鑑や、カラフルな時期別軍装画集が多数刊行されていますが、我が国ではこの種の本は少なく、特に近代軍装は敗戦によるアレルギーによりほとんど無いと云ってもよいでしょう。有るにしても著者の指示で図が描かれるものがほとんどで、画家が自ら調査、研究し隅々までごまかしの無い本を著されたのはこの本が初めてでありましょう。

飛行機も戦車も登場しない地味な日露戦争は他のマスコミでは取り上げ難いテーマですが、武器を持った人間同士がぶつかり合う最後の戦争は模型の世界では絶好のテーマと思います。

著者、植年の努力によって日本国の存亡をかけたこの重大な意義を持つ戦争に参加した将兵の姿を、断片的でなくトータルに見られる幸せを読者と共に嬉しく思います。

イラストレーター　高荷義之

"立太さん"そう親しく呼んでの交流も、早いもので半世紀に届こうとしている。

立太さんは剛直な理論家であり、地味で誠実な人柄ながら、大変な情熱家である。

少年雑誌の世界で活躍し、プラモデルのボックスアートでも人気画家だったが、後年「歴史復元画」というとてつもない至難な仕事と真正面から向き合うことになったのも、該博な知識と、画家としての蓄積された実力あってのことである。

昨年から長野県の古い宿場町奈良井に、私設のギャラリイを開設し、これから力作を順次展示していくそうである。

こうした地道な努力は、必ずや近い将来、見事に開花、結実するであろうことを、私は信じて疑わない。

私が館長を務める千葉県新松戸の『昭和ロマン館』は小松崎茂先生と少女画家、松本かつじ先生の作品のコレクションが中心だが、立太さんの絵は、高荷義之さんの絵と共に館の大事な柱となっている。

立太さんの良きライバル高荷義之さんとも"よっちゃん"と親しく呼んで半世紀のおつき合いをいただいている。

この二人と共に、梶田達二、吉田郁也、長岡秀星、伊藤展安、平野光一などの実力派イラストレーターが、毎月各月刊誌上で力作を競っていた戦後イラストレーションの黄金期を、共に生きた者として、館内に展示されたこの人達の作品に限りない親しみを覚える此頃である。

そして、このような人達と長い交流を得たことに、心から感謝の念が湧いてくる。

今回、その得難い友人の一人、立太さんの『日本の軍装　—幕末から日露戦争—』というカラフルな画集で、私の座右宝がまたひとつ、思い出もまたひとつ増えることになる。

なんとも嬉しく、心躍る思いである。

昭和ロマン館館長　日本出版美術家連盟理事
根本圭介

目　次　CONTENTS

序章　近代天皇の軍装 — 2
Full military dress for an emperor of modern Japan

幕末1　幕府陸軍（1）徳川家 — 6
The Army of the Tokugawa Shogunate (1) — The Tokugawa Family

幕府講武所（幕軍士官学校） — 8
Kobusho — the Tokugawa Shogunate's military academy

幕末2　幕府陸軍（2） — 10
The Army of the Tokugawa Shogunate (2)

幕末、歩・騎兵の装具 — 12
Arms and uniforms of the Shogunate's infantry and cavalrymen

幕末3　幕府側各藩兵 — 14
Soldiers of clans supperting the Shogunate

東征軍と各藩の袖印 — 16
Sleeve stripes of Imperial Court Troops and clans who opposed the Shogunate

幕末4　朝廷兵と各藩兵（薩摩兵、長州兵） — 18
Soldiers of the Imperial Court and the Satsuma and Choshu clans

東征軍と幕軍 — 20
Troops of the Imperial Court and the Tokugawa Shogunate

幕末5　幕府海軍から日本海軍へ — 22
From the Shogunate's Navy to the Japanese Navy

要塞砲の発射まで — 24
Operation of a garrison gun

幕末6　幕末・維新の兵器・火砲 — 26
Guns in the last days of the Tokugawa Shogunate

前装砲の装弾から発射まで — 28
Shogunate artillery firing procedures

幕末7　幕末・維新の小火器 — 30
Small arms in the last days of the Tokugawa Shogunate

拳銃の種類と操作法 — 32
Classification and usage of pistols

明治1　御親兵から国軍へ — 34
From the Imperial Guards to the Imperial Army

明治4年制定の軍装 — 36
Army uniforms introduced in 1871

明治2　国軍創設期 — 38
The founding period of the Imperial Army

幕末～明治の小銃の変遷 — 40
Rifles used in the last days of the Shogunate and early Meiji period

明治3　歩兵士官正装 — 42
Infantry officers' full dress uniforms

明治4　歩兵士官軍装、略装 — 46
Infantry officers' service dress uniforms

明治5　歩兵、下士官、兵卒 — 50
Infantry, NCOs & Privates

明治6　騎兵（1） — 54
Cavalry (1)

明治7　騎兵（2）［近衛騎兵］ — 58
Cavalry (2 — Guards)

騎兵用兵器 — 60
Arms of the cavalry

明治8　憲兵、軍医、軍楽隊 — 62
Military police, Army surgeons and military bands

明治9　海軍士官、正服、礼服、軍服 — 66
Navy officers' full and service dress uniforms

明治10　海軍士官、通常礼服、軍服 — 70
Navy officers' standard uniforms

明治11　海軍准士官、下士官、卒 — 74
Navy petty officer and seaman uniforms

明治12　海軍軍楽隊、海兵隊 — 78
Navy band and Marine uniforms

あとがき　AFTER WORD — 82

中西立太 著
Text and Illustrations / Ritta Nakanishi

あとがき　AFTERWORD

『日本の軍装 —幕末から日露戦争—』、御購読を感謝します。

本書は前作『日本の軍装』との整合性を計るため、アーマーモデリング誌連載時にあったロシア軍の情報を省き、新たに幕末を描き足して次期構想の『日本甲冑史』への布石ともしたつもりである。

軍装画は単なる軍事マニアの資料と思われがちだが、軍服は明治以降の日本人が最も多く目にしたユニフォームであることを思うと、日本の近代風俗史では重要な部分であり、それを今のうちに整理分類しておくのは昭和生まれの画家の仕事ではないかと考えている。

それにしても幕末篇に大変であった。

当時の日本は各藩の私兵集団から国家的軍隊への移行期、世界では日進月歩の兵器開発期であったため、資料に粗密があり、整理分析には一苦労した。

しかし、小銃や銃剣などの初歩的兵器の開発にも様々な試行錯誤があったことを知ったのは面白く、読者の皆さんにもそのあたりを楽しんでいただければ幸いである。

リアリズムの絵で情報を製作する仕事を志して30年、出版や映像の世界でも、少しずつ私のような仕事の必要性に気付いてくれる人が増えてきたのは嬉しいことである。

しかし世間の人々には、もう少しリアリズムの絵と、それの造り出す深く広い世界に関心を持つと共に、それを見る楽しさを知ってもらいたいものである。

リアリズムは絵にとって、文学の文字や、音楽の音符のような存在で、素直に絵を理解できる入り口なのである。

文字や音符は、いわば理性の世界で、誰でも教われば理解できるし表現方法の向上も計れる。

純文学も大衆文学も同じ文字で書かれているし、クラシックもポップスも同じ音符で書かれている。

作品の良否は、それら理性世界の上に咲かれた感性世界の姿によって評価される。

しかし絵にはそういう世界は存在しない。

いや正確に云えば原来にはあるが、日本には無いのである。

なぜ無いのか?

それは日本の近代的美術教育が、20世紀初頭にヨーロッパで起きた、印象派の絵画運動期から始まったからである。

「物を写真のように描くリアリズムは形骸模写で、感動も感性もない」と声高に主張した印象派画家達の言葉を、折からの西洋思想取り込みに夢中の文部省と、新しい物好きな画家達が真に受け「感性こそ第一、リアリズム絵画は古い」と信じ込み、100年近くかけてこの教義を人々の頭に刷り込み、リアリズム絵画を軽蔑して、教育を一切してこなかったからである。

その結果、文学や音楽の世界にある「理性の上の感性」という重層構造の精神世界を理解する扉が閉ざされてしまったのである。

物を写真から写真のように描くのは簡単だが、自分の目と手を使って写真のように描くのは至難の技で、写真とリアリズム絵画は似ているが全く別の表現世界なのである。

ただ残念なのは、この違いはリアリズム絵画を学んだ人にしか判らないことで、その道が閉ざされている日本では、絵描きが物を考えないように教育されるので、欧米の感性表現の基盤になっているこの理性的世界には、気付きもしないし、また育つ素地もない。

この世界は今でも欧米の芸術表現の基盤でヴィジュアルな出版物や映像の豊かなリアリティとなって表れている。

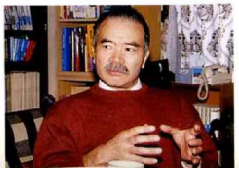
リアリズムの情報画はどこの国の人でも同じ形で理解できるので、それを作る能力は、これからのヴィジュアル情報製作者の基本的能力となる。

全国の子供達にパソコンの使い方を教えるより、この基本的能力を育てるためのリアリズム教育を真剣に考えるべきではないだろうか。「自分のオリジナル情報をリアリズムと英語を使って世界に売る」、僭越ながら私の仕事がその魁と考えて下されば、この種の仕事に拘わる真意も御理解いただけるかと思う。

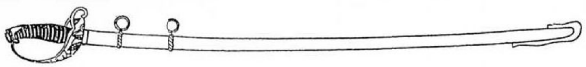
今後とも面白いヴィジュアル情報を作って、皆さんに楽しんでいただきたいものである。

最後ではあるが、本書刊行に御尽力いただいた、アートボックスの市村弘氏、アーマーモデリング誌編集長の土居雅博氏、編集担当の明月絢氏に心から感謝する次第である。

20世紀最後の年11月
画家　中西立太



将校用剣 Officer's sword



将校用剣帯 Officers' sword belt

剣帯(大礼服)
Full dresssword belt
砲兵佐官 金線二条
Artillery field officer
Two gold ines

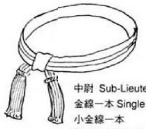
砲兵尉官 金線一条
Artillery company officer
Single gold ine

下士官、兵用剣帯
Sword belt for PO & seaman

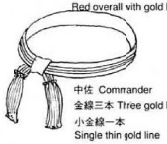
円径一寸七分金色、帯は白
A gold circle of 51.5mm in dia.

大礼服用肩章(襷) Full dress shoulder strap

大佐 Captain
地赤、金線四本
Four gold lines on red
総赤、金線
Red overall with gold lines



中尉 Sub-Lieutenant
金線一本 Single gold ine
小金線一本
Single thin gold line



中佐 Commander
金線三本 Three gold lines
小金線一本
Single thin gold line

少尉 Ensign
金一本 Single gold lie

少佐
LieutenantCommander
金線三本
Three goldlines

少尉補
Warrant officer

大尉
Lieutenest
金線二本
Two goldlines

各軍曹まで着用
Petty officer
赤 Red

将校用帽前章
Officer's cap bidge

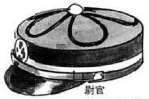
砲兵
Artiller

歩兵
Infanty

常帽 Service cap

金線
Gold line
佐官
Field officer

曹長、軍曹
CPO & PO



尉官
Company offier

伍長以下(頂上、砲兵は赤、歩兵は黄)
Below Corporal (red top for artillery, yellow for infartry)

少尉補
Warrant officer

夏帽(日覆)
Summer cap with white cover

下士官、兵用帽前章 Capbadge for petty officers & seaman

曹長
Chief Pety Officer

軍曹
Petty Officer

伍長以下
Below corporal
砲兵
Artillery

歩兵
Infantry

1 幕府陸軍(1) 徳川家
The Army of the Tokugawa Shogunate(1)
The Tokugawa Family

日本は明治元年(1868年)国家制度を改革し、天皇が統治する帝国主義国家となった。
それまでの300年間は、徳川氏の支配する封建領主国家で、全国的に統一された国家的軍隊はなく、徳川氏をはじめとする各藩の私兵集団があった。
従って幕末の維新戦争はすべて各私兵集団による戦争であった。
徳川幕府は天保11年(1840年)のアヘン戦争や嘉永5年(1853年)のペリー来日などから、外国の侵略に対して近代的装備の軍の必要を感じ改革を考えていたが、旧習を守る保守派の抵抗もあって、改革は思うように進まなかった。
一方、維新戦争の主役であった薩摩藩は文久3年(1853年)の薩英戦争で、長州藩は翌年の下関戦争で外国軍に敗れ、その戦訓から急速な軍の近代化を進めていた。
この時期は、両者ともその軍制が急速に変化したため、軍装の上でも変化が激しく、資料的にも不明な点が多い。

正規の国軍の発足は明治2年(1869年)なので、日本の近代軍装史はその時期から始まっている。

In 1868, the Meiji era began and Japan was reformed into a nation to be governed by an emperor instead of feudal clans. For the 300 years previous, Japan had been governed by the Tokugawa Shogunate. During that regime, there were no unified national military forces. Instead, every feudal clan (Han) had its own private military forces, including the Tokugawa Shogunate. Battles which took place during this period in the country's history were between the private military forces of various clans.
Based on their experiences in the Opium War in China (1840) and the arrival of Perry's black ships to Japan (1853), the Tokugawa Shogunate perceived the need for a unified, national military force, but conservative elements resisted its creation, and little progress was made. On the other hand, the Satsuma and Choshu clans, who opposed the Shogunate, modernized their own private military forces rapidly during this time based on their bitter experiences against foreign militaries -- the Satsuma-clan was defeated by the English in 1863 and the Choshu was defeated by an allied foreign force in 1865.
The military systems of these groups changed rapidly during the period, and little precise information is available about their unforms and arms. Japans' national military system started in 1869, and with it, the formal history of its military uniforms.

天保12年(1841年)、武州、徳丸原で調練をした高島秋帆の私兵軍装
The uniforms and arms of the private military force led by Shuhan Takasima on maneuvers at Tokumaruga-hara, 1841.

安政3年(1856年)、幕軍近代化のための講武所開設時の軍装
The uniforms of the Shogunate military forces at the founding of "Kobusho", a military modernization academy established in 1856.

嘉永6年(1853年)、秋帆の門弟江川坦庵の定めた軍装。やや日本的に変更してある。
Uniforms designed by Tan-an Egawa, a pupil of Shuhan Takashima, 1853. A mixed Japanese and Western style.

慶応2年(1866年)の将軍徳川慶喜の軍服(靴を履いている)

Yoshinobu Tokugawa (one of the Tokugawa Shoguns) in military uniform with shoes, 1866.

陣笠
Battle-hat

御持小筒(将軍用の小銃)
組兵士(帽正面に小の字)
Shogun's rifle porter. Service mark on his cap.

兵冬衣(袴の腰板に兵所番号一~四)
Private in winter uniform. Troop number present on the back of the trousers.

文久3年(1863年)士官の夏衣
Model 1863 officer's summer uniform.

兵夏衣(布は白長呂地)
Private's summer uniform.

駄前袋(弁当や歯磨などを入れる。後にズボンの伺物に変わった)
Large cloth bag (*dambukuro*) for carrying meals, personal items, etc.

脇差(真鍮銅金造り)
Short sword

細袴
Slim trousers

騎兵組兵士(陣笠正面に金で騎の字)
Cavarly. Service mark on his cap.

大砲組(前面に大の字)
Artilleryman. Artillery mark on the front of his battle hat.

歩兵(笠正面に大隊番号)
Infantryman. Battalion no. on the front of his battle hat.

ソギ袖の陣羽織
Surcoat

慶応2年(1866年)の士官
幕府陸軍歩兵
Shogunate infantry oficer, 1866

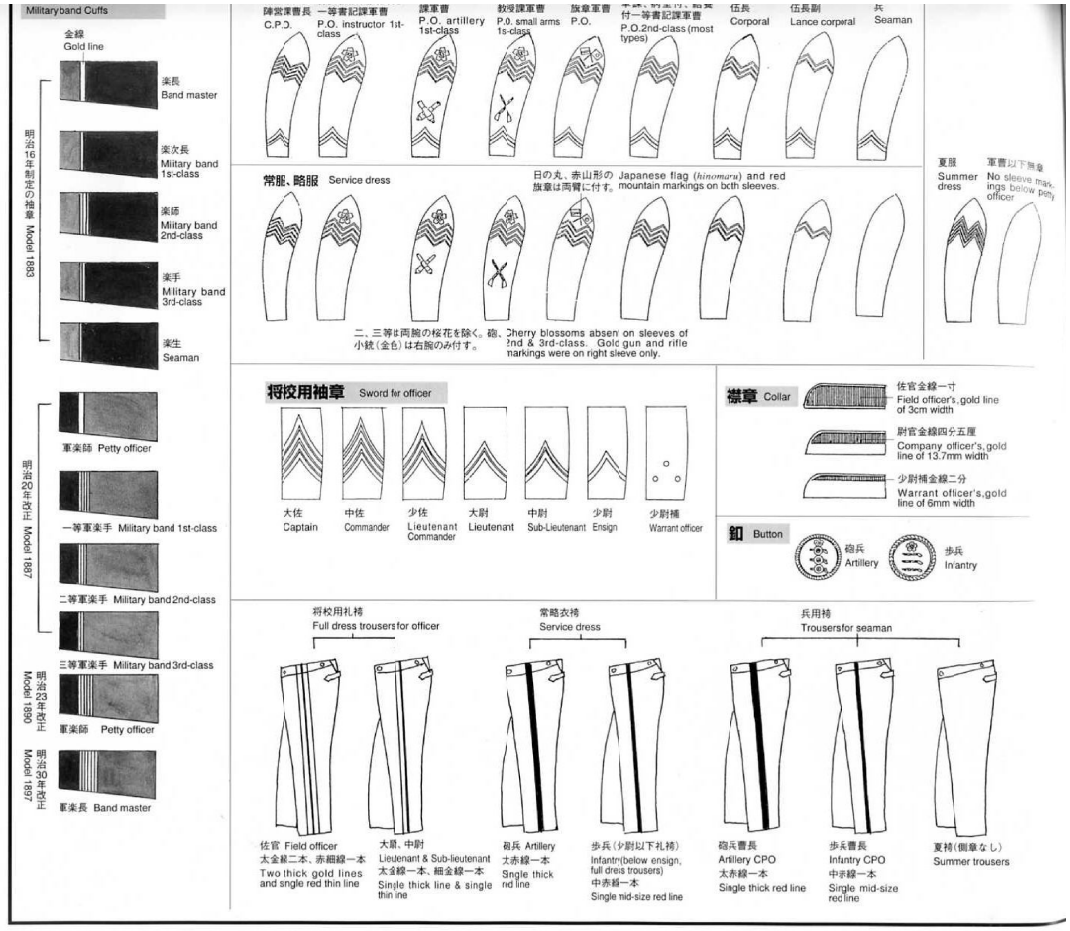
歩兵組(平民の歩兵)輪つなぎの兵科章
String of circles is his service mark.

冬服の後ろ姿。銃の提いやすい刀の差し方をしている
Back view of soldier in winter uniform. Short sword kept in back to avoid inhibiting rifle use.

股引
Trousers (*momohiki*)

小笠組(士分の歩兵)、袴の腰に小菱つなぎの兵科章。大砲組(砲兵)は「大」のつなぎ文字
Private in summer cap. The string of diamonds on his waist in his service mark.

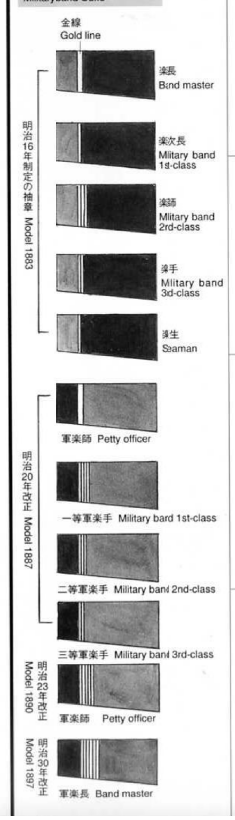
歩兵夏服。股引上部が兵種別の染め分けになっている。



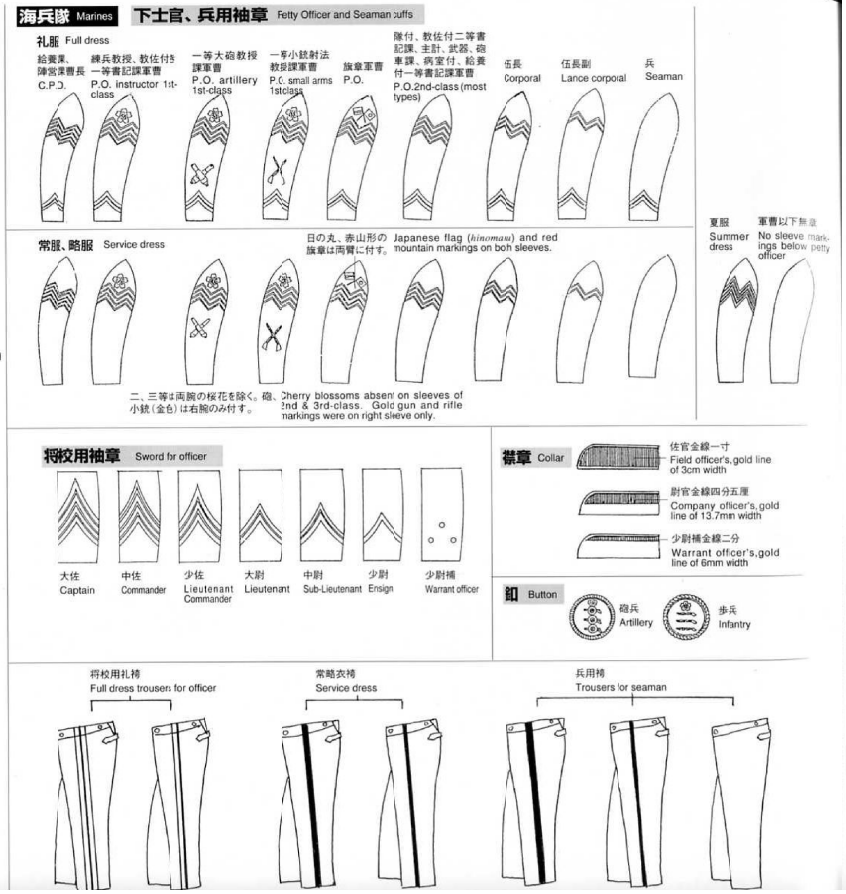
海軍軍楽隊、海兵隊　Navy band and Marine uniforms

軍楽隊 Military band

軍楽兵袖章の変化
Militaryband Cuffs



海兵隊 Marines　下士官、兵用袖章 Fetty Officer and Seaman cuffs



講武所は維新の大波に対処するため、安政元年(1854年)12月、築地に建設された幕府の武術総合練習場で、発案者は先手組頭で剣客として名高い男谷精一郎であった。旗本、御家人の子弟を集め、剣術 槍術、柔術、砲術、兵学などの稽古をさせた。

安政1年、ここが軍艦操練所になると、神田小川町(現在の三崎町)へ1万3000余坪(約4.29平方キロメートル余)の地を得て移転した。

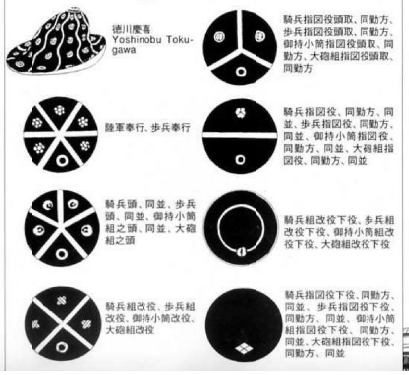
実戦を目標にした講武所の稽古は厳しく、気風も荒かったため一般の顰蹙を買う面もあったが、時局がら有為な人材を求めていた幕府にとって、ここはまさに宝石箱であった。

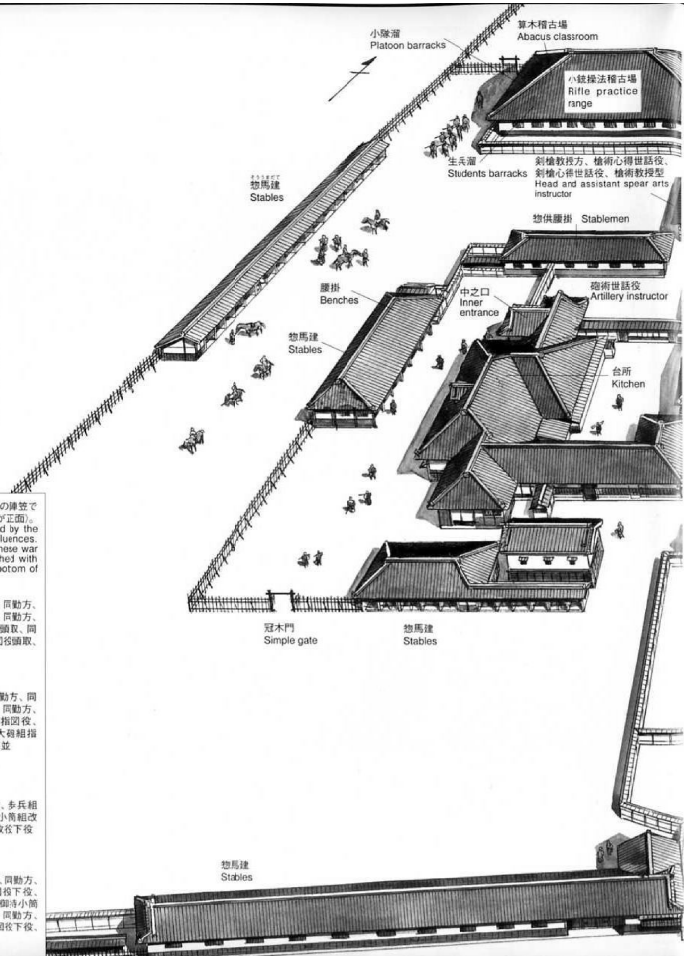
頭取 男谷精一郎の下に、剣術教授方として、榊原建吉、桃井春蔵、伊庭軍兵衛。槍術は、後に将軍徳川慶喜に恭順を説いて水戸まで警護、、将軍奪還を狙う幕臣に「伊勢守がお守りでは」とあきらめさせた名槍術家、高橋伊勢守政晃(後の泥舟)。砲術では江川太郎左衛門、高島秋帆など。当時一流の武芸者を揃し、多数の有為な人材を育てあげた。大久保一翁、榎本武揚、大鳥圭介など、ここ出身で幕末に活躍した者は多い。このことを見ても、危機にあたって有能な人間が、向上心のある人間を育てることがいかに大切か、よく理解できるのではないだろうか。

Kobusho was a comprehensive military academy established at Tsukiji in Tokyo in December, 1854, based on the idea of Seiichiro Otani. Here, many of the period's outstanding military artists, such as Otani, Kenkichi Sakakibara, Shunzo Momoi, Gunbei Iba, Deishu Takahasi, "arohzaemon Egawa and Shuhan Takashima taught a synthetic military art style to sons of the Shogunate's retainers, such as Ichioh Okubo, Takeaki Enomoto and Keisuke Otori. Their training was designed with actual mortal combat in mind, and the regimen was as hard as the goal demanded. Many of the schools pupils went on to serve the Tokugawa Shogunate brilliantly in its last days.

幕府軍の笠印
Shogunate troops' hat markings

徳川慶喜の嗜好により洋風軍装が採用されたが、冠り物は和式の陣笠であった。士官・下士官の階級は金線と紋で区分された(図の下側が正面)。
For their troops, a western-style uniform was designated by the Shogun Yoshinobu, who was highy fond of Western influences. However, their war hat was the jingasa, a traditional Japanese war hat. For oficers and NCOs, their marks were distinguished with gold lines and heraldry. (The front of the hats are at the botom of the drawings).





Training School
Battalion barracks
Artillery and drum training school
剣槍術稽古場
Spear practice field
修斧人溜
Offcers' training school
砲術教授方
Artillery instructor
師範部屋
Instructors' room
大番頭他控所
Office of the secretary general, etc.
玄関 Entrance
式台
Japanese entry step
腰掛
Benches
御庭御門
Simple gate (Shoguns use)
宿舎
Student barracks
御成門
Formal gate (Shogun's use)
表門
Front gate

講武所の風俗

衣服は、羽織、袴の和風、レキション(上着)、ダンブクロ(ズボン)の洋風など自由であったが、月代を狭く剃った「講武所風」という髪型が流行した。

The appearance of *Kobusho* students Their clothes were a unique mixture of Japanese and Western styles. Their typical hairstyle became known as "Kobusho style" and was extremely popular during the period.

明治30年制定の服制 Model 1897

前章
Cap badge

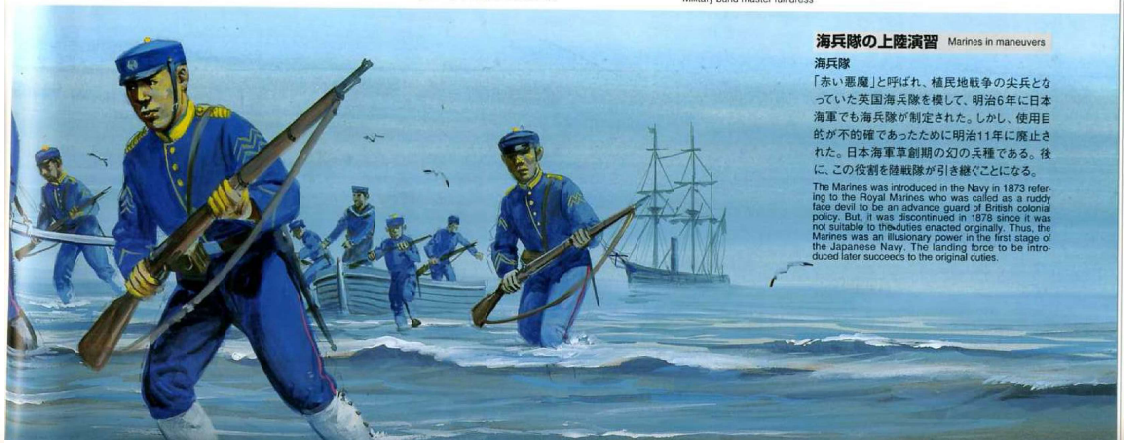
軍楽生前章
Cap badge

下士官用短剣
Dagger for petty officer

剣帯
Sword belt

軍楽員肩章
Military band shoulder strap

軍楽手、軍学生、外套
Military band great coat
一等軍楽手軍服
Military band 1st-class service dress
一等軍楽手礼服
Military band 1st-class full dress
軍楽長通常礼服
Military band master full dress
軍楽長正服
Military band master service dress



海兵隊の上陸演習 Marines in maneuvers

海兵隊

「赤い悪魔」と呼ばれ、植民地戦争の尖兵となっていた英国海兵隊を模して、明治6年に日本海軍でも海兵隊が制定された。しかし、使用目的が不的確であったために明治11年に廃止された。日本海軍草創期の幻の兵種である。後に、この役割を陸戦隊が引き継ぐことになる。

The Marines was introduced in the Navy in 1873 referring to the Royal Marines who was called as a ruddy face devil to be an advance guard of British colonial policy. But, it was discontinued in 1878 since it was not suitable to the duties enacted orginally. Thus, the Marines was an illusionary power in the first stage of the Japanese Navy. The landing force to be introduced later succeeds to the original cuties.

12 海軍軍楽隊、海兵隊

Navy band and Marine uniforms

明治19年　楽長、楽次長、楽師、楽手、楽生
明治20年　軍楽部、一等軍楽手、二等軍楽手、三等軍楽手、楽生
明治23年　軍楽部、一等軍楽手、二等軍楽手、三等軍楽手、楽生
明治30年　軍楽長、一等軍楽手、二等軍楽手、三等軍楽手、楽生
'6年の服制では礼服が最上位だが、20年から正服、礼服、通常礼服、軍服となった。

The ranking of the Navy military band each revision
'886/Band master, Vice naster, Petty officer, Leadng seaman, Seaman
'887/Petty officer, 1st class seaman, 2nd class, 3rc class, Seaman
'890/Petty officer, 1st class seaman, 2nd class, 3rc class, Seaman
'897/Band master, 1st class seaman, 2nd class, 3rd class, Seaman
By the low revisd in 1887, the ranking o the uniform became service dress, full dress, ordinary full dress and military uniform in order though full dress was the highest by the law enacted in 1883.

将校用短剣 Offcer's dagger
明治19年制定　Model 1886

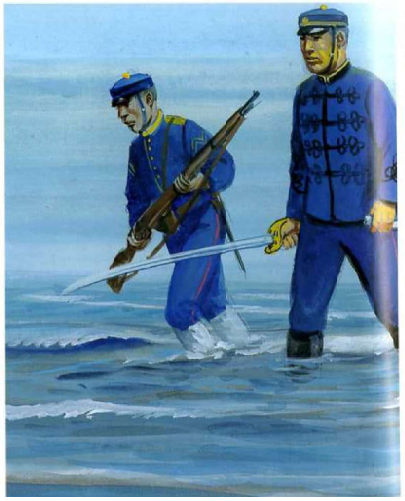
軍楽手、軍楽生袖章
Cuff for militay band

一等軍楽手礼服
Military band 1st-class full dress

二等軍楽手礼服
Military band 2nd-class full dress

三等軍楽手礼服
Military band 3rd-class full dress

軍楽生礼服
Military band seaman full dress



幕末 2 幕府陸軍(2)

The Army of the Tokugawa Shogunate(2)

徳川幕府軍は、1854年(安政元年)、江戸築地に講武所を設け、下級旗本の軍事訓練を始めた。歩隊、大隊、中隊、小隊の制があり、砲兵は1～8小隊まであった。
文久3年、大御番、御書院番、御小姓組、新御番(以上は五百石以上の直参旗本)の中で馬を飼う資力のある者を騎兵隊、無い者を奥詰銃隊とした。小普請、小十人、御徒、御別手、御天守番、能役者、御坊主を小筒組とした。
同年12月、五百石で一人、千石で三人、三千石で十人の割で兵を差し出させ、同時にその給金も支出させた。
年令17～47才まで、1万余人を集め1～4大隊に編成した。1ヶ小隊40人、3ヶ小隊で1ヶ中隊、5ヶ中隊で1ヶ大隊であった。
大隊長は歩兵頭(少佐)、大隊長補佐(中隊長?)は歩兵頭並(大尉)、小隊長は指図役(中尉)、半小隊長は指図役並(少尉)、下士官教導は指図役下役(軍曹)、押伍(分隊長)には歩兵小頭(伍長)があたった。おそらく1ヶ分隊10人の編成だったと思われる。
このほかに文久元年、外人警固のために作られた特別兵を同3年、別手組とし、外人1人に5人の騎馬兵がついて警護した。

The Tokugawa Shogunate established "Kobusho", a military academy, in 1856 to provide military training for their lower retainers. The troops were organized into regiment, battalion, company and platoon at that time, including eight platoons of artillery. In 1863, they organized cavalry and infantry by requisitioning men and funds from their retainers based on the size of their stipend from the previous year. The soldiers requisitioned were between 17 and 47 years old and totaled over 10,000, to be organized into 4 battalions. Each platoon was formed from 40 soldiers, each company consisted of three platoons, and each battalion consisted of five companies. According to the rank system, a battalion commander was a Major, a company commander a Captain, a platoon leader a First Lieutenant, a semi-platoon was commanded by a Second Lieutenant, an instructor of the lower officers a Sergeant and a Squad a Corporal. One squad probably consisted of 10 soldiers. In addition, the special services for foreigners introduced in 1850 designated that each foreigner was to be guarded with 5 cavalymen.

慶応2年(1866年)歩兵将校
Infantry officer, 1866

慶応3年(1867年)
フランス式装備の軽騎兵
Hussar with French harness and uniform, 1867

文久3年　総合銃隊　軍楽隊鼓手
Military drummer and fusilier's mother, 1863

慶応2年(1866年)歩兵第1聯隊の軍旗旗手、おそらく少尉であろう。

歩兵兵士、腰の白い袋は小型の雑嚢

それを移入するため、慶応3年フランスから軍事教導団を受け入れ、30名の伝習隊に教育を始めた。

武器、装具はフランスから輸入し、制服は教導団のブリュネ大尉の案を元にしてデザインされたが、笠や軍刀の吊り方などは日本的であった。

この時期は資料不足のため、各種軍服についている袖章などの階級は特定できない。

The Tokugawa Shognate was defeated in the battle against the Choshu-can in 1866. From this experience, the Shogunate changed their Dutch military system to an advanced French one, and invited French military instructors in 1867. These mes began to educate a group of 30 spcially selected soldiers at first. Their arms aad equipment were also imported from France. The uniforms were of a Japanese design based on the ideas of Captain Jules Brunat. Unfortunately there is very little accurate records on the military uniforms of those days, and it is very difficult to indicate the rank designated by their cuff markings and others.

慶応3年(1867年)フランス式装備の歩兵
Infantry equipped with French outfit, 1867

フランスのナポレオン3世は教官団と共に歩兵用としてシャスポー銃2千挺と装具、野砲、山砲を2個中隊分(各12門)とその要員の軍装一式、20頭のアラブ馬とその馬装を贈った。

Along with the group of instructors, Napoleon the 3rd also sent 2,000 Chassepot guns and equipment, 12 mountain and field guns (for two companies), the equipment for the gun crews and 20 Arabian horses and their equipment to Japan.

歩兵撤兵隊(狙撃兵)隊並、長靴は袴の下にはいている
Infantry sharpshooter captain. Boots under trousers.

明治 12 海軍軍楽隊、海兵隊

Navy band and Marine uniforms

軍楽隊階級呼称の変化

明治19年　楽長、楽次長、楽師、楽手、楽生
明治20年　軍楽師、一等軍楽手、二等軍楽手、三等軍楽手、楽生
明治23年　軍楽師、一等軍楽手、二等軍楽手、三等軍楽手、楽生
明治30年　軍楽長、一等軍楽手、二等軍楽手、三等軍楽手、楽生
16年の服制では礼服が最上位だが、20年から正服、礼服、通常礼服、軍服となった。

The ranking of the Navy military band each revision
1886/Band master Vice master, Petty officer, Leading seaman, Seaman
1887/Petty officer, 1st class seaman, 2nd class, 3rd class, Seaman
1890/Petty officer, 1st class seaman, 2nd class, 3rd class, Seaman
1897/Band master 1st class seaman, 2nd class, 3rd class, Seaman
By the law revised in 1887, the ranking of the uniform became service dress, full dress, ordinary full dress and military uniform in order though ful dress vas the highest by the law enacted in 1883.

軍楽兵 Military band
明治19年制定
Model 1886

将校用短剣 Officer's dagger
明治19年制定　Model 1886

軍楽員肩章
Military band shoulder strap

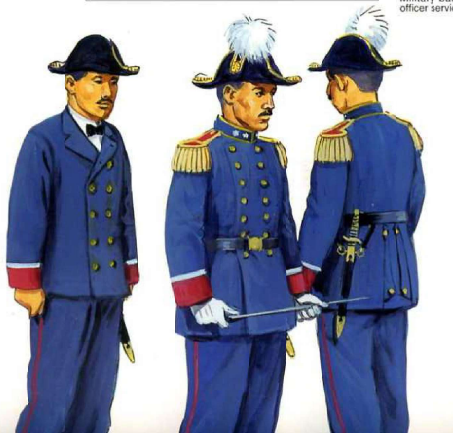
軍楽手、軍楽生袖章
Cuff for military band

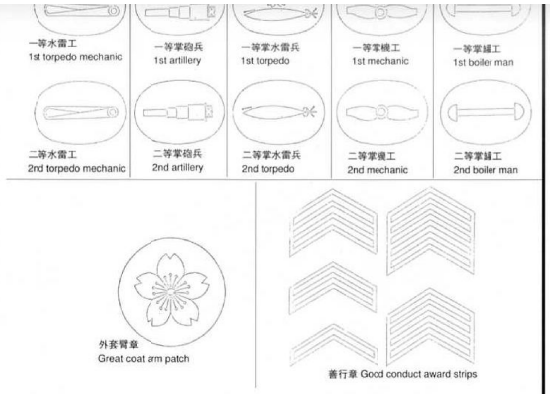
一等軍楽手礼服
Military band 1st-class full dress

二等軍楽手礼服
Military band 2nd-class full dress

三等軍楽手礼服
Military band 3rd-class full dress

軍楽生礼服
Military band seaman full dress



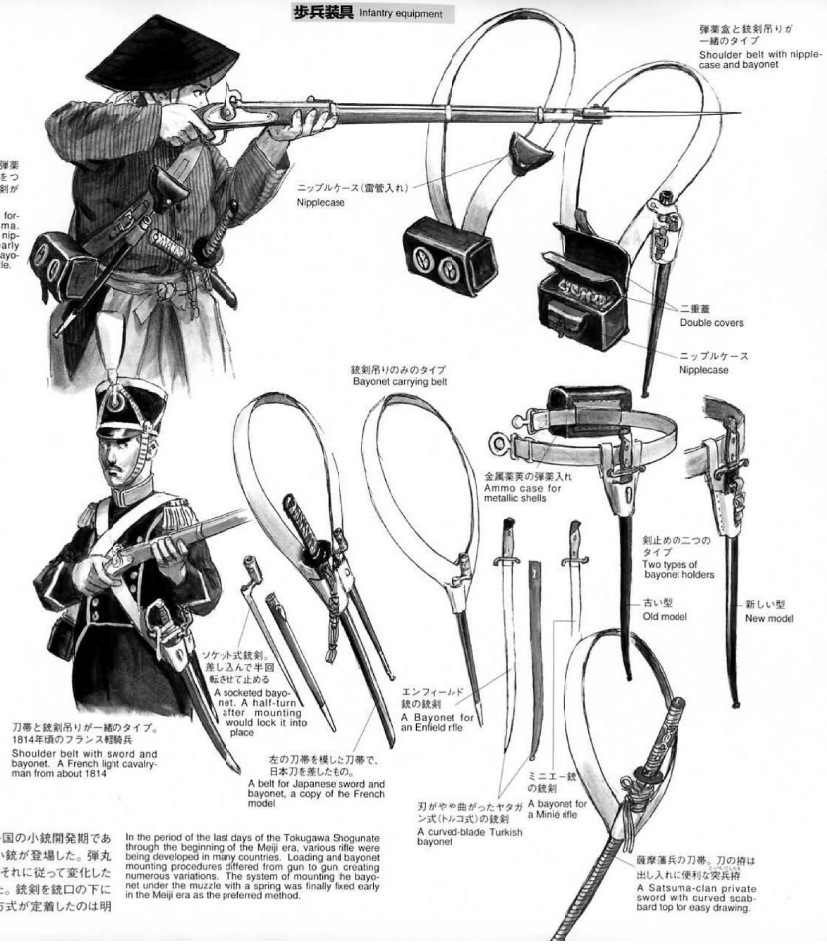


明治29年制定の准士官、下士卒の階級 Petty and Warrant Officer ranks in 1896

准士官 Warrant officer	下士官 Petty officer			卒(一般水兵は兵科により一等二等があった) Seamar ranks		
上等兵曹 Senior Petty officer	一等兵曹 ▲ 1st P.O.	二等兵曹 ▲ 2nd P.O.	三等兵曹 ▲ 3rd P.O.	一等水兵 ▲ 1st seaman	一等掌砲兵 1st artillery	二等掌砲兵 2nd artillery
	一等信号兵曹 ▲ 1st signal P.O.	二等信号兵曹 ▲ 2nd signal P.O.	三等信号兵曹 ▲ 3rd signal P.O.	一等信号兵 ▲ 1st signal	一等掌水雷兵 1st torpedo	二等掌水雷兵 2nd torpedo
船匠師 Master mechanic	一等船匠師 ▲ 1st mechanic PO.	二等船匠師 ▲ 2nd mechanic P.O.	三等船匠師 ▲ 3rd mechanic P.O.	一等木工 ▲ 1st carperter	一等掌機兵 1st mechanic	二等掌機兵 2nd mechanic
上等機関兵曹 Senior engineer	一等機関兵曹 1st engineer P.O.	二等機関兵曹 2nd engineer P.O.	三等機関兵曹 3rd engineer P.O.	一等機関兵 ▲ 1st engineer	一等掌罐工 1st boiler man	二等掌罐工 2nd boiler man
	一等鍛冶師 ◗ 1st smith P.O	二等鍛冶師 ● 2nd smith P.O.	三等鍛冶師 ● 3rd smith P.O.	一等鍛冶 1st smith	一等水雷工 1st torpedo mechanic	二等水雷工 2nd torpedo mechanic
看護師 Master medical	一等看護手 ◗ 1st medical PO.	二等看護手 ● 2nd medical P.O.	三等看護手 ● 3rd medical P.O.	一等看護 ▲ 1st medical		
上等筆記 Senior pay	一等筆記 ◗ 1st pay P.O.	二等筆記 ● 2nd pay P.O.	三等筆記 ● 3rd pay P.O.			
	一等厨宰 ◗ 1st cook P.O.	二等厨宰 ● 2nd cook P.O.	三等厨宰 ● 3rd cook P.O.	一等主厨 ▲ 1st cook		

▲20年版 1887 system
●29年版 1896 system

歩兵装具 Infantry equipment



幕末から明治にかけては、各国の小銃開発期であったため、次々と新形式の小銃が登場した。弾丸の装塡法も銃剣の装着法もそれに従って変化したので、たくさんの種類があった。銃剣を銃口の下に差し込み、バネで固定する方式が定着したのは明治に入ってからであった。

In the period of the last days of the Tokugawa Shogunate through the beginning of the Meiji era, various rifle were being developed in many countries. Loading and bayonet mounting procedures differed from gun to gun creating numerous variations. The system of mounting he bayonet under the muzzle with a spring was finally fxed early in the Meiji era as the preferred method.

騎兵装具 Cavalry Equipment

騎兵銃の吊り環に細い皮紐をつけてゆとりを持たせ、銃を外さずそのまま持ち上げて射撃する。
A thin strip of leather allows the gun to be fired without removing it from the belt

吊り環
Round bracket for hooking on the belt

騎兵用の弾薬盒と騎兵銃吊り環はボタンで止めてある。
Ammo case and gun carrying belts are fixed together with a hook

フック Hook

サーベルと銃剣吊り具が一緒になった刀帯
Belt to carry sabre together with bayonet.

拳銃嚢
Kit bag for Pistol

ホの毛皮をつけた状態
Hungarian-type saddle with sheepskins.

鞍下毛布
Saddle cloth

フランス軍の騎兵用装具。ハンガリアンタイプの鞍。鞍骨の上に羊の毛皮を縛りつける。銃、弾薬、サーベルや重い馬具をつけた馬を制御するため、小勒銜と大勒銜の二つをつけた。
A French cavalry harness. Hungarian-type saddle mounted with sheepskins. To control the horse weighed down with a gun, powder, saber and other heavy equipment, large and small bit and reins were simultaneously employed.

臂章 Arm patch

ヒショウ(袖章)左腕上腕外側につける
Arm patch(*hisho*)put on the left sleeve.

赤 Red　紺地 Blue

一等兵曹 1st P.O.
二等兵曹 2nd P.O.
三等兵曹 3rd P.O.
一等水兵 1st seaman

一等信号兵曹 1st signal P.O.
二等信号兵曹 2nd signal P.O.
三等信号兵曹 3rd signal P.O.
一等信号兵 1st signal

一等船匠師 1st mechanic P.O.
二等船匠手 2nd mechanic P.O.
三等船匠手 3rd mechanic P.O.
一等木工 1st carpenter

一等機関兵曹 1st engineer P.O.
二等機関兵曹 2nd engineer P.O.
三等機関兵曹 3rd engineer P.O.
一等機関兵 1st engineer

一等鍛冶手 1st smith P.O.
二等鍛冶手 2nd smith P.O.
三等鍛冶手 3rd smith P.O.

一等看護手 1st medical P.O.
二等看護手 2nd medical P.O.
三等看護手 3rd medical P.O.

一等筆記 1st pay P.O.
二等筆記 2nd pay P.O.
三等筆記 3rd pay P.O.

一等厨宰 1st cook P.O.
二等厨宰 2nd cook P.O.
三等厨宰 3rd cook P.O.

砲術教員適任証書ヲ有スル掌砲兵
Artillery man with instructor credentials

水雷術教員適任証書ヲ有スル掌水雷兵
Torpedo man with instructor credentials

一等水雷工 1st torpedo mechanic
二等水雷工 2nd torpedo mechanic

一等掌砲兵 1st artillery
二等掌砲兵 2nd artillery

一等掌水雷兵 1st torpedo
二等掌水雷兵 2nd torpedo

一等掌機工 1st mechanic
二等掌機工 2nd mechanic

一等掌缶工 1st boiler man
二等掌缶工 2nd boiler man

外套臂章
Great coat arm patch

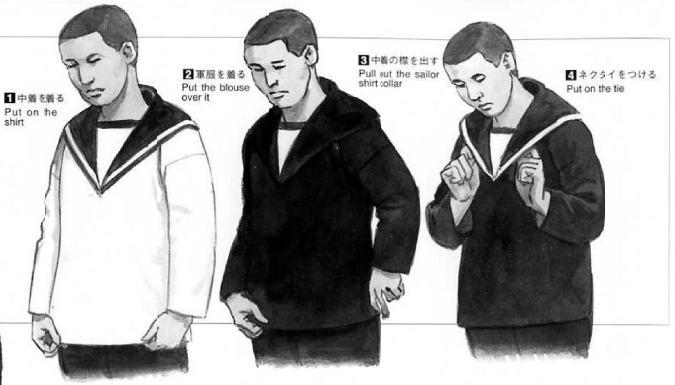
善行章 Good conduct award strips

明治29年制定の准士官、下士卒の階級 Petty and Warrant Officer ranks in 1896

准士官 Warrant officer	下士官 Petty officer			卒(一般水兵は兵科により一等二等があった) Seaman ranks		
上等兵曹 Senior Petty officer	一等兵曹 ▲ 1st P.O.	二等兵曹 ▲ 2nd P.O.	三等兵曹 ▲ 3rd P.O.	一等水兵 ▲ 1st seamen	一等掌砲兵 1st artillery	二等掌砲兵 2ndartillery
	一等信号兵曹 ▲ 1st signal P.O.	二等信号兵曹 ▲ 2nd signal P.O.	三等信号兵曹 ▲ 3rd signal P.O.	一等信号兵 ▲ 1st signal	一等掌水雷兵 1st torpedo	二等掌水雷兵 2ndtorpedo
船匠師 Master mechanic	一等船匠師 ▲ 1st mechanic P.O.	二等船匠師 ▲ 2nd mechanic P.O.	三等船匠師 ▲ 3rc mechanic P.O.	一等木工 ▲ 1st carperter	一等掌機兵 1st mechanic	二等掌機兵 2nd mechanic
上等機関兵曹 Senior engineer	一等機関兵曹 1st engineer P.O.	二等機関兵曹 2nd engineer P.O.	三等機関兵曹 3rc engineer P.O.	一等機関兵 ▲ 1st engineer	一等掌缶工 1st boiler man	二等掌缶工 2ndboiler man
	一等鍛冶師 ● 1st smith P.O.	二等鍛冶師 ● 2nd smith P.O.	三等鍛冶師 ● 3rd smith P.O.	一等鍛冶 1st smith	一等水雷工 1st torpedo mechanic	二等水雷工 2nc torpedo mechanic
看護師 Master medical	一等看護手 ● 1st medical P.O.	二等看護手 ● 2nd medical P.O.	三等看護手 ● 3rd medical P.O.	一等看護 ▲ 1st medical		
上等筆記 Senior pay	一等筆記 ● 1st pay P.O.	二等筆記 ● 2nd pay P.O.	三等筆記 ● 3rd pay P.O.			
	一等厨宰 ●	二等厨宰 ●	三等厨宰 ●	一等主厨 ▲		

兵曹正服用の胴着 Seaman's full dress vest

水兵用軍服の着装法 Puttng on a sailor's uniform



雨衣 Rain coat

中着の替襟 Inner collar for sailor shirt

幕末 3 幕府側各藩兵
Soldiers of clans supporting the Shogunate

崩壊寸前の幕府軍に最後まで忠節を尽くした会津藩は、藩主松平容保の指揮の下で、鳥羽伏見から本拠地、会津若松城の防衛戦までを戦い抜いた雄藩である。最後の若松城の戦いでは、老人から少年、婦女までが兵として加わり凄惨な戦いを展開した。なかでも、少年兵たちで編成された白虎隊の、飯盛山で焼け落ちる城を望みつつ全員が自決した話は有名である。

会津藩では藩士を上士、中士、下士と分け、上中士は羽織の紐(紐制)、下士は襟の色(襟制)で階級を分けていた。紐制も襟制も3段階があり、上士は上が黒、中が紺、下が花色(青)であり、善い姿がつくとお納戸色(金茶色)の紐をつけた。中士は上が茶、中が萌黄(黄緑色)、下が浅葱色(淡黄色)であった。下士は半襟で(襟制)で上が黒、中が茶色、下が浅葱色(淡黄色)であった。

The Aizu-clan was a majestic clan that maintained its allegiance to the Shogunate to the very end. Under the command of clan lord, Katamori Natsudaira, they fight bravely aganst those clans opposed to the Shogunate. In particular, the final battle at their own Aizu-Wakamatsu castle was a bitter battle where young and old, men and women, and even children fought desperately. In fact, the story of *Byakkotai*, ("white tiger troop") a group organized with only young boys was truly sorrowful. The boys of this unit fought bravely, and part of the group ultimately chose to kill themselves when they saw the clan's castle burn down.

Aizu-clan members were divided into three major classes, with the upper two being distinguished by the color of the belts (ties) that held their *haori* overcoats. The lower class was distinguished by the color of their collars. Each of these classes was also divided into three ranks. Upper class members wore black, dark blue or blue (respectively in order of descending rank), while middle class members were brown, yellow-green or pale yellow ties. The collars of lower class members were black, brown or light yellow.

年令により玄武(老年)、青龍(壮年)、朱雀(青年)、白虎(少年)の各隊があった。白虎隊も上士子弟の士中白虎隊、中士の寄合白虎隊、下士の足軽白虎隊があった。飯盛山の少年兵は上士隊であった。

Their troops were also organized by age, i.e. *Gembu* ("veteran warrior") troop of the older men, *Seiryu* ("blue dragon") troop of the middle-aged, *Suzaku* ("red sparrow") troop of the youth and *Byakko* ("white tiger") of the boys. Even the *Byakko* troop was divided into ranks based on the father's status, i.e. "Shichu-Byakko" of upper-class boys, "Yoriai-Byakko" of the middle-class and "Ashigaru-Byakko" of the lower. The *Byakko* troop that killed themselves by sword on Mt. Iimoriyama as they watched their castle burn was the "Shichu-Byakko".

九曜紋
Clan's own "Kuyo-mon" (nine spot) crest

六曜紋
Clan's six-spot "Rokuyo-mon" crest

大久保藩 Ogaki-clan

桑名藩
Kuwana-clan

旗手軍装
Service dress of the flag bearer

士官軍装
Officer's service dress

銃隊士軍装
Service dress of the fusilier

旗手軍装
Flag bearer's service dress

橙の布は識別章
Cloth on the long collar is the troop marking

羽織
Overgarment with the tight sleeves (*outsenoshiwari*)

銃隊士軍装
Gunner's service dress

新徴組 Shincho-gumi
庄内藩、江戸治安のための警察隊
A police troop of Shonai-clan, whose duties were to keep the peace in Edo.

見廻組 Mimawar-gumi
幕府検察隊
A police troop of the Shogunate

新撰組 Shinsen-gumi
京都守護職指揮下の警察隊
A police troop authorized by the Shogunate, who worked to keep peace and order in Kyoto.

会津戦当時の隊旗
Flag of the Sinsen-gumi at the battle in Aizu-Wakamtsu.

士官軍装
Officer's service dress

誠

11 海軍准士官、下士官、卒
Navy petty officer and seaman uniforms

The uniform of the Navy was enacted in 1870 at first and was revised in 1873, 1887 and 1896. They worn the uniform model 1896 at the Russo-Japanese War. The ranking of the lower seaman became the complicated by the revisions in 1887 and 1896. Therefore, their ranking of 1896 only was expresied this time.

明治29年改正の軍装 Model 1896 uniform

正服の一等兵曹
1st Petty officer in full dress

通常軍服の二等兵曹
2rd Petty officer in service dress

通常軍服の一等兵曹
1st Petty officer in service dress

正服の二等兵曹(袖の紐は呼子)
2rd Petty officer in full dess (whistle sting on tie breas)

正服の船匠師
Master mechanicin full dress

正服の上等兵曹
Senior Petty officer in full dress

京都を進発し東海道と中仙道を進んだ朝廷軍は、薩長を中心とした混成軍で、左袖に錦布(きんぎれ)をつけていたが、各地方から直接参戦した各藩兵は各自が袖印か胸印をつけていた。前につける場合は洋服、袖の場合は和服用と思われる。

To conquer the Tokugawa Shegunate, Imperial Court tioops left fr Edo from Kyoto through the Tokaido-way and the Nakasendo-way, the main roads to Edo at the time. They were a combined army formed primarily with troops of the Satsuma clan and other clans which joined along the way. They wore their clan emblem on a small fabric slip on the uppe left sleeve. Those troops which joined up on the way to Edo also put their clan's ensige on their sleeves (if they wore western-style uniforms), or on their breast for Japanese style ones.

Musubinoshi decoration

禁中御印 (前付け)
Imperial Court attendants (breast-mounted)

有栖川宮御印
Prince Arisugawa, a prince of royal blood.

西本願寺(前付け)
Nishi-Hongan-ji one of the most powerful temples (breast-mounted)

朱色
Cinnabar red

肥前平戸藩
The Hizen, Hirado-clan

藍
Indigo blue

黒
Black

尾州本家(紋なし)、分家紋あり(前付け)
The Ohari-clan. Main family w/o symbol, branch families w/symbols (breast-mounted)

犬山成瀬家(前付け)
The Inuyama, Naruse-clan (breast-mounted)

丹州柏原織田家
The Kashiwabara, Oda family of the Tajima-clan

藍
Indigo blue

姓名
Name

石州津和野
The Iwami, Tsuwano-clan

黒
Black

播州三明森家(前付け)
The Miakemori family of the Banshu-clan (breast-mounted)

澤殿(前付け)
Sawadono (breast-mounted)

紺
Blue

藤堂家(前付け)
The Todo family (breast-mounted)

丹州亀山家(前付け)
The Kameyama family of the Tamba-city (breast-mounted)

金(上士)、白(下士)
Gold for upper-ranked soldiers and white for lower-ranked ones.

黒
Black

紺
Blue

紺
Blue

丸亀藩
The Marugame-clan

鍋島藩(前付け)
The Nabeshima-clan (breast-mounted)

加州郡山柳沢家(前付け)
The Yanagisawa family of the Kaga, Koriyama-city (breast-mounted)

阿州(前付け)
The Awa-clan (breast mounted)

紺
Blue

黒
Black

丹州出石藩
The Tamba-Idoishi-clan

杵築藩
The Kizuki-clan

龍野藩
The Tatsuno-clan

紺
Blue

紺
Blue

安志藩
The Azushi-clan

柳川藩
The Yanagawa-clan

芸州浅野藩
The Aki, Asano-clan

信州松本藩
The Shinshu, Matsumoto-clan

典型的なソギ袖
Typical *sogisode* tight sleeves

俗称、蛸印。上士は黒、下士は茶色
The takojirushi (octopus) marking. Black for upper-ranked solders and brown for lower ones.
阿州佐山藩北條家
The Hojoh family of the Awa, Sayama-clan
久留米藩
The Kurume-clan
赤線
Red lines
毛利家
The Mori family of the Mori-clan
大垣藩戸田家
The Toda family of the Ogaki-clan
館林藩
The Tate-bayashi-clan
白絹
White silk
水口藩加藤家
The Kato family of the Mizuguchi-clan
三つ巻付尻鞘
A scabbard with 3 coil markings
尼ヶ崎藩櫻井家
The Sakurai family of the Anagasaki-clan
市橋家
The Ichihashi family
越前藩
The Echizen-clan
雲州藩
The Izumo-clan
備前藩
The Bizen-clan
十津川
"Totsukawa" (family name)
満中組
"Mannaka-gumi", (roop name)
細川家 The Hosokawa family
加賀藩 The Kaga-clan
勢州藩藤堂家
The Todo family of the Ise-clan
因州藩
The Inaba-clan
大州加藤家
The Kato family of the Osu-clan
彦根藩。白布に井伊藩中と書いてある。
The Hikone-clan. A white doth on the sleeve was one of their markings.

明治
11
海軍准士官、下士官、卒
Navy petty officer and seaman uniforms
日本海海戦の戦艦三笠の砲戦
Battle ship MIKASA at the battle of Tsushima
明治3年に制定された海軍の服制は、6年、20年、29年と改正され日露戦は基本的にこの29年の服制で戦われた。20年と29年の改正では、下士卒の階級名が大きく変化して複雑な為、本稿では29年の階級のみを表示した。
The Uniform of the Navy was enactec in 1870 at first and was revised in 1873, 1887 and 1896. They worn the uniform model 1896 at the Russo-Japanese War. The ranking of the bwer seaman became he complicated by the revisions in 1887 and 1896. Therefore, ther ranking of 1896 only was expressed thistime.
明治29年改正の軍装 Model 1896 uniform
正服の一等兵曹
1st Petty officer in full diess
通常軍服の二等兵曹
2nd Petty officer in

看守長 Chief prison guard

短外套
Mantle

外套
Great coat

看守長（看守の服制は看守長と同じ）
Chief prison guard

海軍監獄長 Governor of Navy prison

外套
Great coat

職務服
Service dress

海軍監獄長正服
Full dress for Governor of Navy prison

海軍警査 Navypolice

囚人の護送や監獄の警備が主で、陸軍の憲兵のような権限はない

The main duties of the Navy police were to do a tranportation of a prisoner anc or to guard a prison, whose power authorized was not so geat as the Army military police.

職務服帽徽章 Cab badge

海軍監獄長 Governor of Navy prison

銀 Silver

銀 Silver　金 Gold

海軍監獄看守長 Chief prison guard

銀 Silver　金 Gold

肩章 Slouder straps

海軍監獄長 Governor of Navy prison

金 Gold

銀 Silver　金 Gold

海軍監獄看守
Prison guard

銀 Silver　金 Gold

海軍監獄看守長 Chief prison guard

銀 Silver　金 Gold

海軍監獄長刀帯前章

Sword beltbuckel for governor of Navy prison

全体金 Gold

正服肩章

Shoulder straps for full dress

海軍監獄長
Governor of Navy prison

銀 Silver

金 Gold

4 朝廷兵と各藩兵（薩摩兵、長州兵）

Soldiers of the Imperial Court and the Satsuma and Choshu clans

幕末の戦争で唯一人古式の鎧をつけていた。形式は大鎧で、草摺は4枚であったが、胴は右で合わせる胴丸形式であった。薄紅糸沢潟威の鎧。木兜に日輪の前立。

Ninajinomiya was the only commander during the final battles of the Tokugawa Shogunate who wore traditional, old-style samurai armor.

仁和寺宮彰仁親王の軍装

The service dress of General Ninnajinomiya-Akihito, a prince of royal blood, who was the commander of the troops fighting against the Shogunate's forces at the battle of Toba-Fushimi, 1868.

赤地錦の直垂
Hitatare, a warrior's red brocade service dress

征討軍旗
Standard of the Imperial Court troops

軍参謀旗
Staff officer's flag

錦の御旗
Nishikino-mihata: Special flag of the Imperial Court troops marked with the crest of the Imperial Court.

手代り（交替要員）
Tegawari: Reserve troops

旗持
Standard bearers

側近上級士官
Upper officer of the attendants

三畳羽織
Sansoihaori: Over-garment with tight sleeves

朝廷兵
Private of the Imperial Court troops

野袴
Nobakama: Trousers

脛巾
Habaki: Shin guards

袴付袴
Tatsukehakama: Trousers with tight bottoms

官軍袖章（錦切）
幕府征討軍が味方識別のためにつけた袖印。錦金襴でできており、裏に白布をつける。

Kingire: Cuffs of the Imperial Court troops to distinguish them from Shogunate troops. Gold brocade with white back.

（180mm×65mm）

（160mm×70mm）

長州藩兵 Soldiers of the Choshu-clan

隊長軍装
Service dress of company commander

中隊司令士軍装
Service dress of company command officer

袖印
Sodejirushi: Distinguishing cuff marking

小隊司令士軍装
小隊旗は薩摩藩も同じ。土佐藩は白。
Service dress of patoon leader with the troops flag. The flag of patoon was same color as the Satsuma-clan but the Tosa-clan's differed, being white.

ハケマ
各藩の隊長クラスが冠ったヤクの毛で作った冠り物で、薩摩藩は黒、長州藩は白、土佐藩は赤であった。
company commanders in many clans. Its color was black in the Satsuma-clan, white in the Choshu, and red in the Tosa-dan.

白熊 *Hakuma*

黒熊 *Kokuma*

菖山笠 *Nirayanagasa*: Artillery battle-hat madeof special paper.

兵軍装
Private's service dress

薩摩藩兵 Soldiers of the Satsuna-clan

袖印
Sodejirushi

半首笠
Hatsumurigasa: Battle-hat

左袖の錦布は、出発時つけていなかったが 上野戦争の時につけていた
Imperal Court troops lacked the Kingie cuffs on the left sleeve when they departed Kyoto, but it was present by the time of the Battle of Ueno.

中隊司令士軍装
Service dress of company commanc officer

旗手軍装

兵軍装

明治32年には中将相当官まで制定された。
The ranking of the civilian employee was enacted it first up to Major in 18*1 and increased up to Vice admiral in 1899 finally after some times of revision.

袖章の変化 Cuff

明治4年 model 1871

少佐相当官
Civilian employees ranking with junior Lieutenant commander
金 Gold　白 White（軍医 Doctor）
赤 Red

大尉相当官
Civilian emplosyees ranking with Lieutenant
金 Gold　紫 Purple
白 White

中尉相当官
Civilian employees ranking with Sub-Lieutenant
金 Gold　白 White（機関 Engineer）
青 Blue

少尉相当官
Civilian employees ranking with Ensign

明治39年 機関科袖章に輪がつく
Engineer cuff modified in 1906

金 Gold

兵科色（紫）
Service tranch color (purple)

中将相当官
Civilian employees ranking with Vice Admiral

少将相当官
Civilian employees ranking with Rear Admiral

大佐相当官
Civilian employees ranking with Captain

中佐相当官
Civilian employees ranking with Commander

少佐相当官
Civilian employees ranking with Lieuterant Commander

大尉相当官
Civilian employees ranking with Leutenant

中尉相当官
Civilian employees ranking with Sub-Lieutenant

少尉相当官
Civilian employees ranking with Ensign

候補生
Midshpman

中将相当官
Civilian employees ranking with Vice Admiral

少将相当官
Civilian employees ranking with Rear Admiral

中佐相当官
Civilian employees ranking with Commander

少尉相当官
Civilian employees ranking with Ensign

大佐相当官
Civilian employees ranking with Captain

大尉相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant

候補生
Midshipman

肩章 Shoulder straps

少将相当官
Civilian employees ranking with Rear Admiral

少佐相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant Commander

少尉相当官
Civilian employees ranking with Ensign

大佐相当官
Civilian employees ranking with Captain

大尉相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant

候補生
Midshipman

中佐相当官
Civilian employees ranking with Commander

中尉相当官
Civilian employees ranking with Sub Lieutenant

相当官肩章
Civilian employee shoulder straps

明治29年制定 Model 1896

銀縁 Silver frame
金地 Gold
小桜（金）Small cherry blossom (Gold)
大桜（金）Large cherry blossom (Gold)

少将相当官
Civilian employees ranking with Rear Admiral

大佐相当官
Civilian employees ranking with Captain

少佐相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant Commander

大尉相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant

中尉相当官
Civilian employees ranking with Sub-Lieutenant

少尉相当官
Civilian employees ranking with Ensign

階級表 Special Duty Rankings

機関中将 Engineer Vice Admiral	軍医総監（中将相当官） Medical Superintendent-General (Civilian employees ranking with Vice Admiral)		主計総監（中将相当官） Paymaster General (Civilian employees ranking with Vice Admiral)	造船総監（中将相当官） Naval architect Superintendent-general (Civilian employees ranking with Vice Admiral)	造兵総監（中将相当官） Arsenal Superinendent-General (Civilian employees ranking with Vice Admiral)	
機関少将 Engineer Rear Admiral	軍医総監（少将相当官） Medical Superintendent-General (Civilian employees ranking with Rear Admiral)	（少将相当官） Pharmacy Civilian employee ranking with Rear Admiral	主計総監（少将相当官） Paymaster General (Civilian employees ranking with Rear Admiral)	造船総監（少将相当官） Naval architect Superintendent-General (Civilian employees ranking wh Rear Admiral)	造船総監 Arsenal Supeintendent-General	
機関大佐 Engineer Captain	軍医大監 Medical officer Captain	薬剤大監 Pharmacy officer Captain	主計大監 Paymaster Captain	造船士監 Naval architect Captain	造兵大監 Arsenal officer Captain	水路大監 Pilot officer Captain
機関中佐 Engineer Commander	軍医中監 Medical officer Commander	薬剤中監 Pharmacy officer Commander	主計中監 Paymaster Commander	造船中監 Naval architect Commander	造兵中監 Arsenal officer Commander	水路中監 Pilot officer Commander
機関少佐 Engineer Lieutenant Commander	軍医少監 Medical officer Lieutenant Commander	薬剤少監 Pharmacy Lieutenant Commander	主計少監 Paymaster Lieutenant Commander	造船少監 Naval architect Lieutenant Commander	造兵少監 Arsenal officer Lieutenant Commander	水路少監 Pilot officer Lieutenant Commander
機関大尉 Engineer Lieuterant	大軍医 Doctor Lieutenant	大薬剤士 Pharmacy Lieutenant	大主計 Paymaster Lieutenant	造船士技士 Naval architect Lieutenan	造兵大技士 Arsenal Lieutenunt	水路大技士 Pilot Lieutenant
機関中尉 Engineer Sub-Lieutenant	中軍医 Doctor Sub-Lieutenant	中薬剤士 Pharmacy Sub-Lieutenant	中主計 Paymaster Sub-Lieutenant	造船中技士 Naval architect Sub-Lieutenant	造兵中技士 Arsenal Sub-Lieutenant	水路中技士 Pilot Sub-Lieutenant
機関少尉 Engineer Ensign	少軍医 Doctor Ensign	少薬剤士 Pharmacy Ensign	少主計 Paymaster Ensign	造船少技士 Naval architect Ensign	造兵少技士 Arsenal Ensign	水路少技士 Pilot Ensign
候補生 Midshipman	候補生 Midshipman	候補生 Pharmacy Ensign	候補生 Midshipman			候補生 Midshipman

兵科色 Arms of service colour

機関 Engineer	紫 Purple	造船 Naval architect	茶色（鶯色）Brown
軍医 Doctor	赤 Red	造兵 Arsenal	濃茶（エビ茶）Dark brown
会計 Pay	白 White	水路 Pilot	青 Blue

海軍士官・通常礼装、軍服 Navy officers' standard uniforms

将校相当官の制度は、明治4年に少佐までが、制定されたが、その後次第に階級が増え、幾度か変更され、明治32年には中将相当官まで制定された。

The ranking of the civilian employee was enacted at first up to Major in 1871 and increased up to Vice admiral in 1899 finally after some times of revision.

明治32年 model 1899

金 Gold 兵科色 Service branch color

中将相当官
Civilian employees ranking with Vice Admiral

少将相当官
Civilian employees ranking with Rear Admiral

大佐相当官
Civilian employees ranking with Captain

中佐相当官
Civilian employees ranking with Commander

少佐相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant Commander

大尉相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant

中尉相当官
Civilian employees ranking with Sub-Lieutenant

少尉相当官
Civilian employees ranking with Ensign

軍服襟章 Collar or servie dress

大正8年制定 Model 1919

中将相当官
Civilian employees ranking with Vice Admiral

中佐相当官
Civilian employees ranking with Commander

中尉相当官
Civilian employees ranking with Sub-Lieutenant

少将相当官
Civilian employees ranking with Rear Admiral

中佐相当官
Civilian employees ranking with Commander

少尉相当官
Civilian employees ranking with Ensign

大佐相当官
Civilian employees ranking with Captain

大尉相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant

候補生
Midshipman

肩章 Shoulder straps

少将相当官
Civilian employees ranking with Rear Admiral

少佐相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant Commander

少尉相当官
Civilian employees ranking with Ensign

大佐相当官
Civilian employees ranking with Captain

大尉相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant

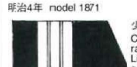
候補生
Midshipman

中佐相当官
Civilian employees ranking with Commander

中尉相当官
Civilian employees ranking with Sub-Lieutenant

袖章の変化 Cuff

明治4年 model 1871



少佐相当官
Civilian employees ranking with junior Lieuteranr commander

金 Gold　白 White (軍医)Doctor
赤 Red

大尉相当官
Civilian employees ranking with Lieuterant

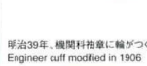
金 Gold　紫 Purple
白 White

中尉相当官
Civilian employees ranking with Sub-Lieutenant

金 Gold　白 White (機関 Engineer
青 Blue

少尉相当官
Civilian employees ranking with Ensign

明治39年、機関科袖章に輪がつく
Engineer cuff modified in 1906



相当官肩章

Civilian employee shoulder straps

明治29年制定 Model 1196

少将相当官
Civilian employees ranking with Rear Admiral

銀縁 Silver rame
金地 Gold
小桜(金) Small cherry blossom (God)
大桜(金) Large cherry blossom (Gold)

大佐相当官
Civilian employees ranking with Captain

少佐相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant Commander

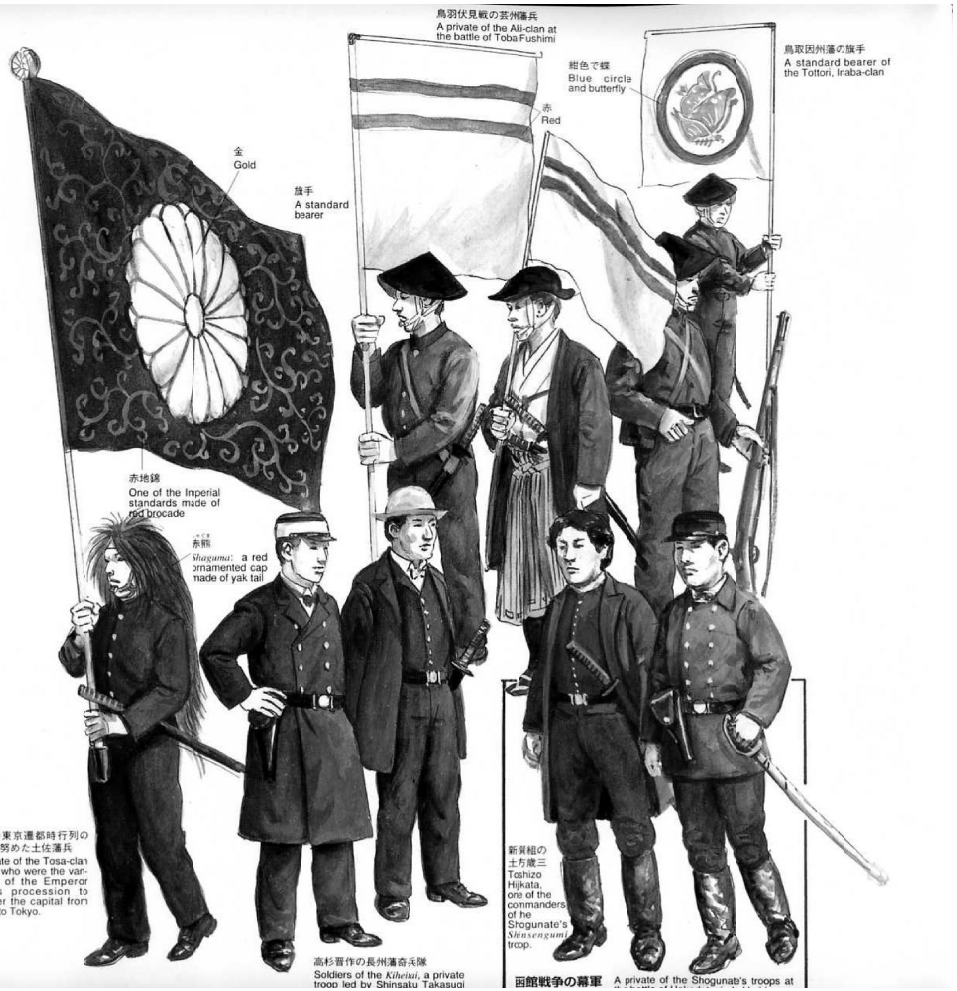
大尉相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant

中尉相当官
Civilian employees ranking with Sub-Lieutenant

少尉相当官
Civilian employees ranking with Ensign

階級表 Special Duty Rankings

機関中将 Engineer Vice Admiral	軍医総監(中将相当官) Medical Superintendent-General (Civilian employees ranking with Vice Admiral)		主計総監(中将相当官) Paymaster General (Civilian employees raning with Vice Admiral)	造船総監(中将相当官) Naval architect Superintendent-general (Civilian employees ranking with Vice Admiral)	造兵総監(中将相当官) Arsenal Superintendent-General (Civilian employees ranking with Vice Admiral)	
機関少将 Engineer Rear Admiral	軍医総監(少将相当官) Medical Superintendent-General (Civilian employees ranking with Rear Admiral)	(少将相当官) Pharmacy Civilian employee ranking with Rear Admiral	主計総監(少将相当官) Paymaster General (Civilian employees ranking with Rear Admiral)	造船総監(少将相当官) Naval architect Superintendent General (Civilian employees ranking wit Rear Admiral)	造船総監 Arsenal Superintendent-General	
機関大佐 Engineer Captain	軍医大監 Medical officer Captain	薬剤大監 Pharmacy officer Captain	主計大監 Pymaster Captain	造船大監 Naval architect Captai	造兵大監 Arsenal officer Captain	水路大監 Riot officer Captain
機関中佐 Engineer Commander	軍医中監 Medical officer Commander	薬剤中監 Pharmacy officer Commander	主計中監 Pymaster Commander	造船中監 Naval architect Commander	造兵中監 Arsenal officer Commander	水路中監 Riot officer Commander
機関少佐 Engineer Lieutenant Commander	軍医少監 Medical officer Lieutenant Commander	薬剤少監 Pharmacy Lieutenant Commander	主計少監 Pymaster Lieutenant Commander	造船少監 Naval architect Lieutenant Commode	造兵少監 Arsenal officer Lieutenant Commander	水路少監 Riot officer Lieutenant Commander
機関大尉 Engineer Lieutenant	大軍医 Dictor Lieutinnant	大薬剤士 Pharmacy Lieutenant	大主計 Pymaster Lieutenant	造船大技士 Naval architect Lieuteran	造兵大技士 Arsenal Lieutenant	水路大技士 Riot Lieutenant
機関中尉 Engineer Sub-Lieutenant	中軍医 Dictor Sub-leutenant	中薬剤士 Pharmacy Sub-Lieutenant	中主計 Pymaster Sub-Lieutenant	造船中技士 Naval architect Sub-Leutnant	造兵中技士 Arsenal Sub-Lieutenant	水路中技士 Riot Sub-Lieutenant
機関少尉 Engineer Ensign	少軍医 Dictor Ensign	少薬剤士 Pharmacy Ensign	少主計 Pymaster Ensign	造船少技士 Naval architect Ensign	造兵少技士 Arsenal Ensign	水路少技士 Riot Ensign
候補生 Midshipman	候補生 Midshipman	候補生 Pharmacy Ensign	候補生 Midshipman			候補生 Midshipman



西南戦争 The Seinan battle, a civil war in Kyushu

明治10年 10th year of the Meiji era (1877)

政府軍 The Meiji goverment troops

新国軍の初めての本格戦だが一応は揃いの制服を着用していた。

This was the first battle for the new unified national troops. They wore a standardized service uniform.

鎮台歩兵少佐
A garrison infantry major

鎮台砲兵
A garrison gunner

鎮台歩兵
A garrison infantryman

赤
Red

銀線
Silver lines

紺服
Blue servica uniform

警察官で編成された別動第1～3旅団の兵で、抜刀隊として薩摩兵と戦った。

A special troop consisted of policeman, known as the *Battoh-Tai*, who fought against soldiers of the Satsuma-clan.

将校
Officer

兵
Private

薩摩軍 The Satsuma-clan troops

各自様々な軍装であった。
Satsuma uniforms were not standarized

雷撃隊大隊長、辺見十郎太
Jurota Hemmi, commander of a surprise-attack troop

二番大隊長、村田新八
Shimpachi Murata, commander of the 2nd battalion

四番大隊長、桐野利秋少将の軍服。マルティニ・ヘンリィ単発レバーアクションライフルを持っている。
Major General Toshiaki Kirino, commander of the 4th battalion, in service dress. Depicted holding a single-action Martini-Henry rifle.

二番大隊長、永山弥一郎
Yaichiro Nagayama, commander of the 2nd battalion

熊本隊二番小隊長、鳥居数恵
Kazue Torii, leader of the 2nd platoon of the Kumamoto troop

一般隊士の軍装
Service dress of private soldier

機関将校とその相当官 Engineer officers and civilian employees

海軍では兵科将校と、技術職である機関科将校の別があり、さらに民間の技術者を将校相当官として採用していた。服制は兵科将校と同じだったが、帽章、肩章、袖章、剣帯などが異なっていた。

There were two kinds of oficer in the Navy: active service officer and engineer officer. In addition, a civilian engineer was employed, who was ranked as an officer. Those civilian employees worn the same uniform as the active service officer, but their cap badge, shoulder strap, cuffs and sward belt were different.

機関中計夏服
Engineer(lieutenant) in summer service dress

主計大監(大佐)軍服
Pay officer(captain)

機関中将通常礼装
Engineer(vice admiral) in service dress

軍医大監(大佐)
Medical officer(captain)

機関中将の正服(機関科相当官最高階級は中将)
Engineer (vice admiral)

襟章 Collar

将官相当官
Civilian employees ranking with flag officers

佐官相当官
Civilian employees ranking with senior officers

尉官相当官
Civilian employees ranking with junior officers

肩章 Shoulder strap

大佐相当官
Civilian employees ranking with Captain

大尉相当官
Civilian employees ranking with Lieutenant

剣帯 Sward belt

機関中将、機関少将正服
Engineer Vice Admiral, Rear Admiral full dress

軍医大監、軍医中監、軍医少監正服
Senior doctor, middle ranking doctor, junior doctor full dress

大主計、中主計、少主計正服

剣帯前章 Sword belt buckels

将官相当官
Civilian employees ranking with flag officers

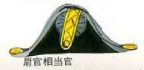
佐官相当官
Civilian employees ranking with senior officers

尉官相当官
Civilian employees ranking with junior officers

正帽 Full dress cap

将官相当官
Civilian employees ranking with flag officers

佐官相当官
Civilian employees ranking with senior officers



尉官相当官

軍衣夏衣肩章 Summer service dress shoulder strap

機関大尉
Engineer Lieutenant

造船中技士(中尉相当官)
Middle naval architect (Civilian employees ranking with Sub-Lieutenant)

少軍医(少尉相当官)
Junior doctor(Civilian employees ranking with

軍衣夏衣襟章 大正4年制定 Summer service dress collar

機関大尉
Engineer Lieutenant

造船科中尉
Naval architect Lieutenant

主計少尉
Pay ensign

10 海軍士官、通常礼装、軍服
Navy officers' standard uniforms

5 幕府海軍から日本海軍へ
From the Shogunate's Navy to the Japanese Navy

所を設けたのが始まる。後元年に伝習所(江戸)を開設に移し本格的な教育を始めた。制服はイギリス式を採用したが、帽子はフランス式であった。洋服に断髪、洋刀(サーベル)の者もいたが、丁髷に刀という者もいた。水夫は法被に股引に脇差しを差していた。伝習所の生徒は各藩からの選抜者だったので法被の背にはその藩の紋をつけていた。維新後、伝習所はそのまま海軍の組織に組み込まれ、後の兵学校の母胎となった。これは陸軍も同じなので、明治の国軍は旧幕府の播いた種を引き継いだと考えてもよい。

moved to Tsukiji, in Edo (Tokyo). Cadets wore an English-style uniform and a French cap at fist. However, styles eventually became quite mixel, with some in a traditional Japanese style i.e., a topknot hairstyle and Japanese sworc together with an English uniform. The students of Denshu-kan were sodiers dispatched from each feudal clan, and their clan's crest wat marked on their uniform as well. After the Meiji Restoratin, the Denshu-kan evoved into the Japanese Navy and the Navy officers school foundad later was based on its traditions. A smilar evolution took place with the Japanese Army before and after the revolution. As such, the post-revoution military forces of the Meiji era trace their roots directly to institutions of the Tokugawa Shogunate.

明治4年の海軍略衣軍装
Regular navy uniform (1871)

海軍生徒
Navy school student

略衣の兵（機関手）
Undress unifermed seaman engineer

下士官、兵の帽子
Dress caps for Petty-officer and Seaman

曹長 C.P.O.

帽前章 Cap badge

権曹長
Fleet C.P.O.

伍長 Corporal

軍曹 P.O.

兵 Seaman

曹長から任長までの釦
Button for Fleet C.P.O. through Petty Officer II

伍長～兵の釦
Button for Petty Officer II through Seaman

明治3年制定下士官、兵の肘上章（袖章） Cuff o petty dficer ard seaman (1870)

按鍼手（測深兵） Sounder
砲手 Gunner
機関手 Engineer
一等火夫 Fireman 1st-class
二等火夫 Fireman 2nd-class
縫帆夫 Sail maintainer
鍛冶 Forger
木工 Woodworker

文久元年（1861年）幕府海軍職名

海軍総督(admiraal)
海軍副総督(lvitenant-admiraal)
海軍奉行(vice-admiraal
（1艦隊 vloot 12隻の長）

御軍艦奉行(schout-by-nacht)
（海軍分隊の長）
御軍艦頭(kapitein ter zee)
（戦列艦 linie 、フリゲート fregat、コルベット korvet の長）
御軍艦頭並(kapitein uitenant ter zee)
（ブリック brik、1等、2等蒸気船）
御軍艦士(Luitenant ter zee 1e kl.)
（スクーナー schoener ブリック、3等、4等艦の長）
御軍艦士並(luitenant ter zee 2e kl)
御軍艦士並見習(adelbarst)
（見習士官）

下級士官
御軍艦蒸気方(machinist 1e kl.)
御軍艦役取締(onder oficier)
御軍艦蒸気方並(machinist 2e kl.)
御軍艦添役(onder officer 2e kl.)
御軍艦蒸気方見習(mahinist 3e kl.)

明治 10
海軍士官、通常礼装、軍服
Navy officers' standard uniforms

明治16年制定の外套の佐官
Senior officer in model 1883 great coat

明治20年制定の外套を着用した佐官以後の外套、雨衣にはすべて頭巾がついた
Senior oficer with model 1887 great coat

外套前釦 Great coat front button

1号ボタン
No.1 button

2号ボタン
No.2 button

将官 1号釦6個×2列
Flag officer, two rows of six no.1 buttons

佐官、尉官:号釦6個×2列
Senior & junior officer, two rows of six no.2 buttons

外套袖章 Great coat cuff button

将官 4個 Fag officer four butons
佐官 3個 Senior officer three buttons
尉官 2個 Junior officer two buttons

桜花（径5分5厘）
Cherry blossoms(A circle of 16.7mm in dia.)

明治29年制定の雨衣、組ゴム布製、上衣は立て襟、隠し釦3個で他は右と同じ形式
Model 1896 rain coat (dark

将校軍衣肩章 Shoulder strap for officers

明治33年7月19日制定 Model 1900

- 大将 Admiral
- 中将 Vice Admiral
- 少将 Rear Admiral
- 大佐 Captain
- 中佐 Commander
- 少佐 Lieutenant Conmander
- 大尉 Lieutenant
- 中尉 Sub-Lieutenan
- 少尉 Ensign
- 候補生 Midshipman

明治37年7月1日 Model 1904

- 大将 Admiral
- 中将 Vice adniral
- 少将 Rear Adniral
- 大佐 Captain
- 中佐 Commander
- 少佐 Lieutenint Commander
- 大尉 Lieutenint
- 中尉 Sub-Lieutenant
- 少尉 Ensign
- 准尉 Warrait officer
- 候補生 Milshipman

予備士官軍衣袖章 Reserve officers' Cuffs

- 予備中佐 Reserve Commander
- 予備少佐 Riserve Lieutenant Commander
- 予備大尉 Riserve Lieutenant
- 予備中尉 Reserve Sub-Lieutenant
- 予備少尉 Feserve Ensign
- 予備少尉候補生 Reserve Midshipmin

肩章 Shoulder strap

明治 6 年制定の正服肩章
Full dress shoulder strap model 1873

- 大尉 Lieutenant
- 中将 Vice Admral
- 中尉 Sub-Lieutenant
- 少将 Rear Admiral
- 少尉 Ensign
- 中佐 Comnander
- 少佐 Lieutenant Conmander

正服の袖章の変化 Officers' full Dress Cuffs

明治 3 年12月22日制定 Model 1870

- 大将 Admiral
- 中将 Vici Admiral
- 少将 Rear Admiral
- 大佐 Captain
- 中佐 Conmander
- 少佐 Leutenant Commander
- 大尉 lieutenant
- 中尉 Sub-lieutenant
- 少尉 Ensign
- 少尉試補 Midshipman

明治4年12月22日改正 Model 1871

2号ボタン3個
3 No.2 buttons

明治16年 Model 1883

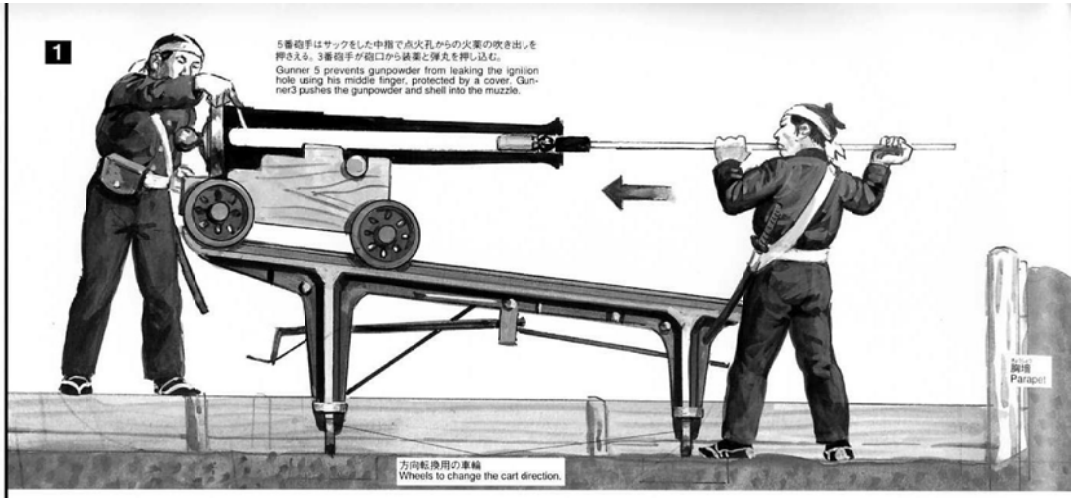
- 大将 Admiral
- 中将 Vice Admiral
- 少将 Rear Admiral
- 大佐 Captain
- 中佐 Commander
- 少佐 Lieutenant Commander
- 大尉 Lieutenant
- 中尉 Sub-Lieutenant
- 少尉 Ensign
- 少尉補 Midshipmar

明治37年改正 Model 1904

大正3年改正 Model 1914

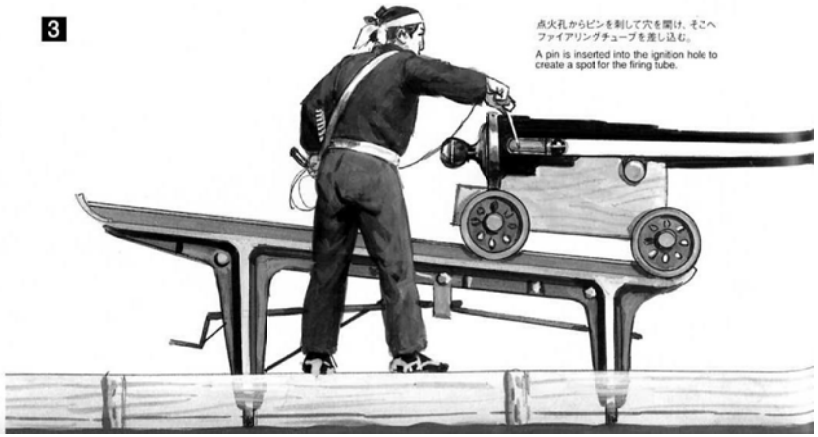
大正3年改正 Model 1914

候補生 Midshipman 明治20年改正 Model 1887



幕府が外国艦船の来襲を予想して築いた品川の海上砲台「お台場」には、おそらくこのタイプの大砲が大小揃えて設置されるはずであったと思われる。図はイギリス製6ポンド砲だが、12ポンド砲くらいまでが考えられる。

To protect Tokyo from attack by a foreign fleet, the Shogunate planned to build a cannon-armed garrison at "Odaiba" in Tokyo bay. The following is a drawing of a British six-poud gun, but their plans no doubt included weapons of up to 12-pound size as well.

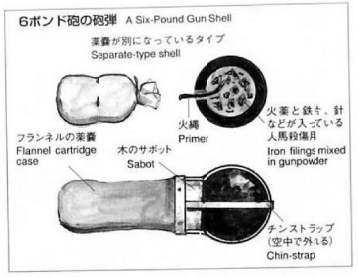


2

装填が終わったら5番砲手がペダルを踏むと台車は発射位置まで前進する。

Once loaded, gunner 5 presses the peda. The cart then runs forward b the firing position automatically.

6ポンド砲の砲弾 A Six-Pound Gun Shell



4

ランヤードを引くとフリクションで発火し、発射される。

Pulling the lanyard creates friction which ignites the gunpowder and fires he gun.

発射の反動で台車が後退し、1の位置で下のフックに引っ掛かって止まる。あとは同じ動きをくり返す。

The cart recoils backward at discharge and is ften stopped at location I via the hook under the cart. This process is thenrepeated.

大砲発射時の後座力を利用した装填法で、この方法だと装填の際に砲手が胸墻上に出なくてもよいので安全である。

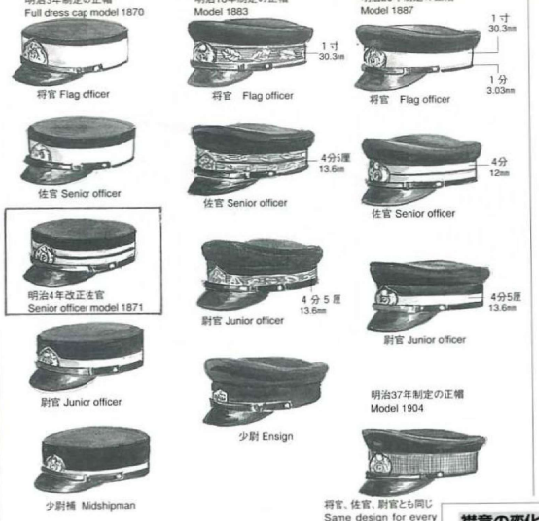
This loading method utilizes the recoil energ of the cannon, and is safer because the gumer need not expose himself on the parapet.

軍帽の変化 Cap Variations

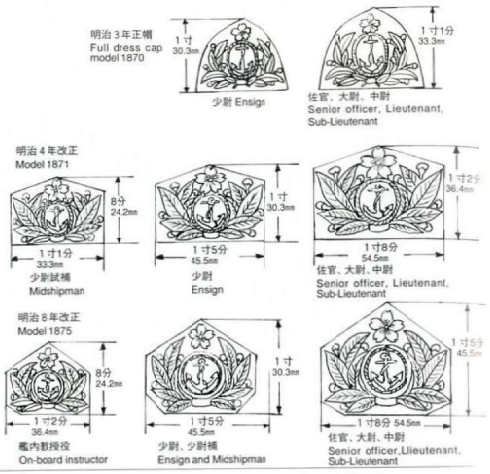
明治3年制定の正帽
Full dress cap model 1870

明治16年制定の正帽
Model 1883

明治20年制定の正帽
Model 1887

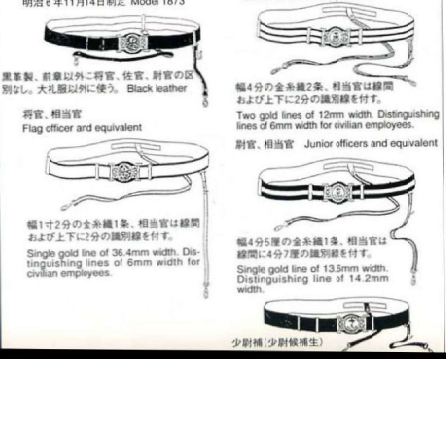


軍帽前章の変化 Cap badge

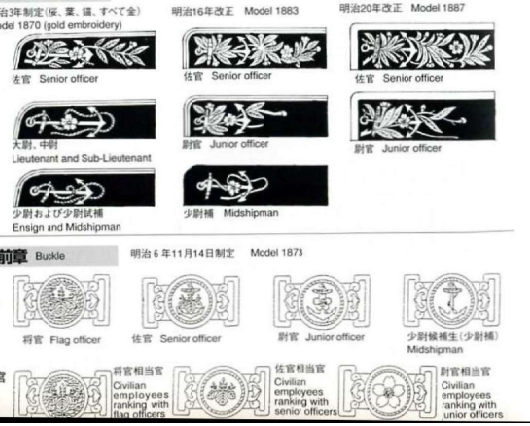


剣帯 Sword belt

明治6年11月14日制定 Model 1873

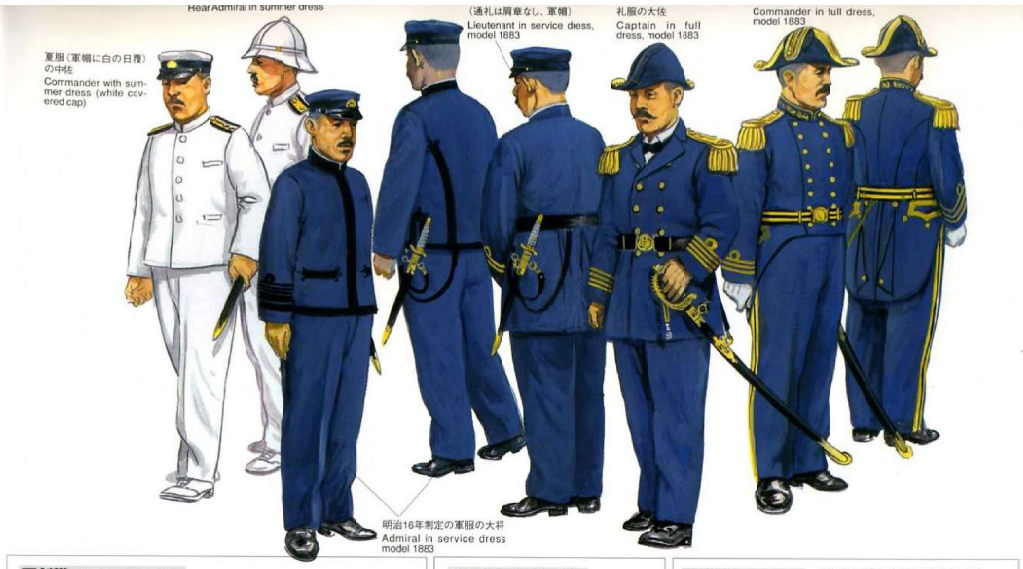


襟章の変化 Collar



剣帯前章 Buckle

明治6年11月14日制定 Model 1873



正剣帯 Full dress sword belts

バックル各分　将官用
Buckle for lag officer

正服帽 明治6年制定
Full dress cap model 1873

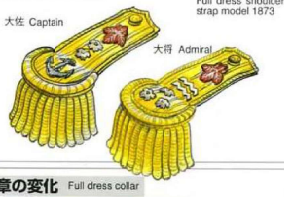
将官　Flag officer

佐官　Senior officer

尉官　Junior officer

肩章 Shoulder strap

明治6年制定の大礼服肩章（次頁参照）
Full dress shoulder strap model 1873



剣と短剣 Sabres and dirks

明治６年制定の剣と短剣
Sabre and dirk model 1873

明治6年制定の剣と短剣
Sabe and drk mode 1883

襟章の変化 Full dress colar

明治3年　将官
（佐官以下は次頁参照）
Flag officer model 1870

明治16年　将官
Flag officer model 1883

明治20年　将官
Flag officer model 1887

幕末 6

幕末維新の兵器・火砲

Guns in the last days of the Tokugawa Shougunate

日本初のアームストロング砲

The First Armstrong gun produced in Japan

1855年、ウィリアム・アームストロングが後装砲を開発したころから、砲身の工作技術も進み、強力な無煙火薬の発明、鋭敏な信管、砲身を発射の反動から守る装置である駐退機などの発達により、命中度も射程も爆発力も飛躍的に増大した。そして、20世紀初頭にはほぼ近代火砲としての原型が完成したのである。

しかし日本では軍の根幹兵器である火砲開発は遅れ、日清戦争では旧式の青銅砲、日露戦争でも駐退機なしの火砲を使用、つねに他国より一歩遅れていたのである。

After the invention of the breech load gun by William Armstrong in 1855, cannons developed rapidly. Advances in barrel manufacturing technology, the development of smokeless gunpowder, sensitive fuses and anti-recoil devices greatly increased guns' precision, range and destructive power. By the beginning of the 20th century in Europe, all the basic technologies of the modern cannon had been developed and implemented. Japanese arms development was far behind, however, to the point that the Japanese army was using bronze guns during the Sino-Japanese war, and guns without anti-recoil devices during the Russo-Japanese conflict.

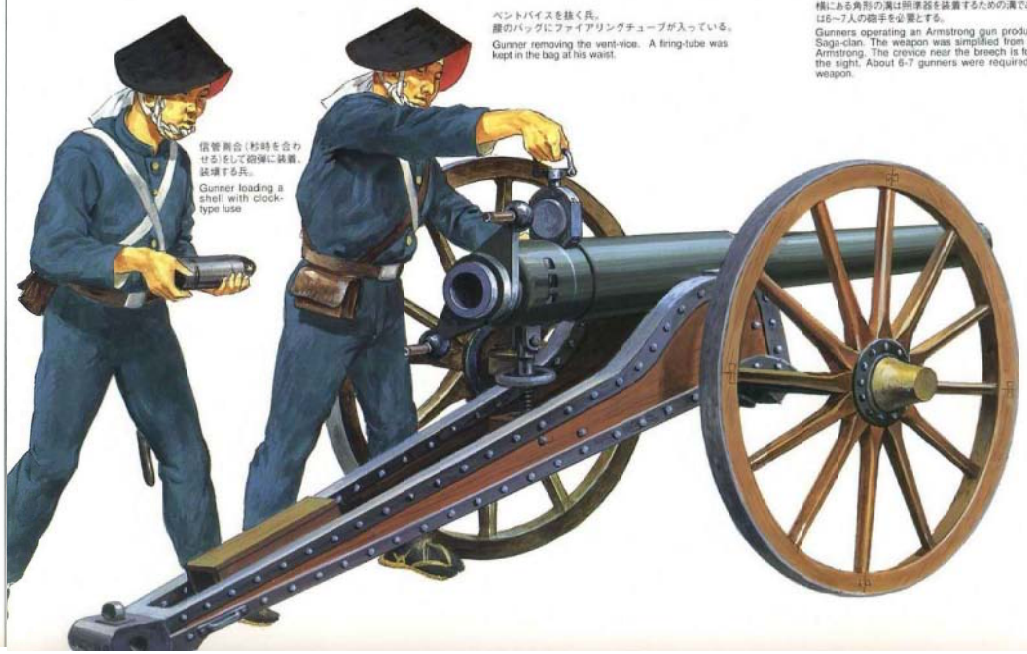
火砲の技術変遷 Technical Advances in the Gun

年代 Period	19世紀初期 Early 19C	19世紀中期 Middle 19C	19世紀後期 Late 19C	20世紀初期 Early 20C
砲弾 Shells	球弾 Sphere	球弾 Sphere	尖頭弾 Spire	尖頭弾 Spire
装填法 Load	前装式 Front	前・後装式 Front & Rear	後装式 Rear	後装式 Rear
発射法 Detonator	火縄 Fuse	雷管 Percussion cap	雷管 Percussion cap	雷管（電気式） Perc. cap(electrical)
信管 Fuse	なし None	曳火信管 Blast fuse	曳火信管 Blast fuse	時計信管 Clocked fuse
駐退機 Anti-recoil device	なし None	なし None	なし～あり Developed	あり Yes

佐賀藩製造のアームストロング砲を操作する砲兵

オリジナルのアームストロング砲より簡略化されている。砲尾の横にある角形の溝は照準器を装着するための溝である。発射には6～7人の砲手を必要とする。

Gunners operating an Armstrong gun produced by the Saga-clan. The weapon was simplified from the original Armstrong. The crevice near the breech is for mounting the sight. About 6-7 gunners were required to fire the weapon.



砲弾と信管 Shells and Fuses

曳火信管 Blast fuse

砲弾の時限信管で、砲弾に装着する前に爆発秒時部分を切って爆発時間を調節する。

Early clock-type fuse mounted on shell after setting detonation time

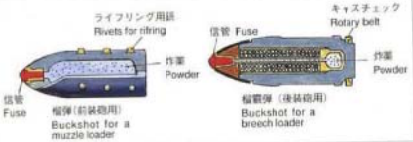
Boxer-type fuse

木台は装填の時に球弾が回転しないためにある
Wooden panel to prevent round shells from rolling

着発信管 Impact fuse

後部二つのバネと発射、着地の慣性を利用する信管で、弾種により榴弾と弾丸信管がある。

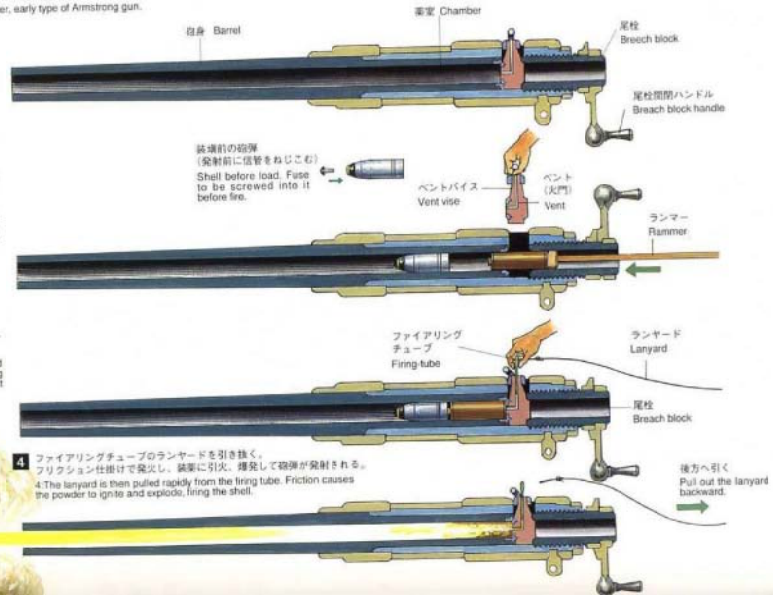
Impact fuse designed to explode using its springs and inertia at impact. It was mounted on the top or bottom of the shell



着発信管の原理 Impact fuse mechanism

後装砲(ブリーチャー)(初期のアームストロング砲)の装填と発射まで

Order from the load to the firing with Breech Loader, early type of Armstrong gun.



1 発射前の状態。
砲身のライフリングは9条で、薬室の前までで1回転する。

1:The gun before firing. There were six rifle lines on the inside of the barrel, and they completed one revolution between the chamber and tip of the barrel.

2 砲尾のハンドルを回転させて尾栓を開き、ベントバイスを上に引き抜く。薬室に砲弾と装薬を押し込む。

2:The breech block is opened and the vent vice removed upwards. The shell and powder is then loaded into the breech.

3 再びベントバイスを押し込む。尾栓を閉じ、ファイアリングチューブ(発火棒)をベントに差し込む。

3:The vent vice is then replaced and the breech block closed. The firing tube is then inserted into the vent vice.

4 ファイアリングチューブのランヤードを引き抜く。フリクション仕掛けで発火し、装薬に引火、爆発して砲弾が発射される。

4:The lanyard is then pulled rapidly from the firing tube. Friction causes the powder to ignite and explode, firing the shell.

9 海軍士官、正服、礼服、軍服
Navy officers' full and service dress uniforms

明治6年、16年、20年、29年、33年、大正3年、84年と改正されて昭和に至っている。

The uniform of the Navy was enacted in 1870 and revised in 1873, 1883, 1887, 1896, 1900, 1914 & 1919 until the Showa era.

軍帽前章の変化 Cap badges

明治3年
Model 1870

明治4年
Mode 1871

明治8年
Model 1875

明治16年
Model 1883

明治4年制定の大礼服、礼服の少将
Rear Admira in full dress, model 1871

明治3年制定の大礼服の中尉
Sub-Lieutenant in full dress, model 1870

明治3年制定の大礼服の少佐
Lieutenant commander in full dress, model 1870

明治4年制定の大礼服、礼服の少佐
Lieutenant commander in full dress, mocel 1871

明治6年制定の大礼服(正服)の中将
Vice Admiral in full dress, model 1873

常服(通常礼装)の中佐
Commander in service dress

略服(軍服)の中尉
Sub-Lieutenant in service dress

夏の礼友の大佐、冬は正装(一番右と同じ)を着用

軍楽部 Military band

明治11年制定軍楽部正帽 Military band full dress cap model 1878

楽長 Band master
金 Gold
緋 Red
黄色糸線 Yellow line
楽次長 Vice band master
緋 Red
黄線糸4条 Fouryellow lines
楽師 NCOs & privates
黄線糸3条 Three yellow lines
黄線糸2条 Two yellow lines
藍 Blue
緋 Red
線なし No line

兵種色の変化 Service Branch Colours 陸軍の隊員と徽章 Troops' insignia and uniforms

種別 Arms of service	地質 Material for trouses	側章 Side line	改正年月日 Revision date
将官 Great officer	濃紺絨 Dark blue felt	緋絨 Red felt	
歩兵 Infantry	濃紺絨 Dark blue felt	緋絨 Red felt	
砲兵 Artillery	濃紺絨 Dark blue felt	黄絨 Yellow felt	
工兵 Engineers	濃紺絨 Dark blue felt	鳶絨 Bown felt	
輜重兵 Transport supply	濃紺絨 Dark blue felt	萌黄絨 Yellow-green felt	
騎兵 Cavalry	茜絨 Light red felt	緋絨 Red felt	
憲兵 Military police	藍絨 Blue felt 濃紺絨 Dark blue felt	緋絨 Red felt 黒絨 Back felt	明治15年2月24日 24 Feb. 1912 明治15年9月13日 13 Sept. 1882
国境兵 Frontier soldier	藍霜降絨 Blue "salt and pepper" felt 濃紺絨 Dark blue felt	緋絨 Red felt	明治38年9月28日 28 Sept. 905
監督、軍吏 Accountant	濃紺絨 Dark blue felt	花色藍絨 Blue felt 銀茶絨 Silver-brown felt	明治23年12月27日 27 Dec. 890
軍医 Medical	濃紺絨 Dark blue felt	深緑絨 Dark green felt	
薬剤 Pharmacist	濃紺絨 Dark blue felt	深緑絨 Dark green felt	
獣医 Veterinary	濃紺絨 Dark blue felt	深緑絨 Dark green felt 紫絨 Purple felt	明治45年2月24日 24 Feb. 1912
軍楽 Military band	藍絨 Blue felt 緋絨 Red felt	紺青絨 Blue felt	明治45年2月24日 24 Feb.1912
技術 Technical	濃紺絨 Dark blue felt	黄絨 Yellow felt	明治15年9月13日 13 Sept. 882

明治35年1月29日、監督部、軍吏部は経理部に改められた。
The accountant section was reorganized into the accounting division on November 29, 1902.

袖章 Cuffs

明治11年制定 model 1878

楽長 Band master
幅3分金線 Gold line of 9mm width.
軍楽次長 Vice band master
緑色毛織幅5分2条、幅1分金線 2 thick red 15mm woolen lines and thin gold 3mm line.
楽師 Sergeant — 同上毛織1条 1 thick red woolen thread line
楽手 Corporal — 同上毛織4条 4 thick red woolen thread lines
楽生 Private — 同上毛織1条 1 thick red woolen thread line

明治19年制定 model 1886

一等軍楽長 Band master 1st-class
二等軍楽長 Band master 2nd-class
軍楽次長 Vice band master
二等軍楽手 Sergeant 2nd-class
軍楽次長 Vice band master
一等軍楽手 Sergeant 1st class
楽手補 Corporal
楽生 Private
線章は紺青絨、袖口は茜絨 Blue line on red cuf

肩章 Shoulder strap

一等軍楽長 Band master 1st-class
対丁金線2分5厘 Gold line of 7.6mm width
二等軍楽長 Band master 2nd-class
丸打白茶絹糸2分5厘 Righ-brown silk line of 7.6mm width
地質は茜絨、玉線紺青絨 Blue felt line on red felt

前立 Plume

楽次長以下 Vice band master and other
毛梢太きもの、長さ7寸 212mm long
楽長 Band master
将校に同じ Same as officers

襟章 Collar

明治19年制定 Model 1886
楽器章 Harp
真鍮 Brass
軍楽次長、軍楽手、楽手、楽生 Vice band master, Sergeant Corporal, Private

歩兵 Infantry	緋 Red	明治38年7月1日制定 11 Jul.1905
騎兵 Cavalry	萌黄 Yellow-green	明治38年7月1日制定 11 Jul.1905
砲兵 Artillery	黄 Yellow	明治38年7月1日制定 11 Jul.1905
工兵 Engineers	鳶色 Brown	明治38年7月1日制定 11 Jul.1905
輜重兵 Transport supply	鳶 Dark blue	明治38年7月1日制定 11 Jul.1905
航空兵 Aviation	浅紺青 Light blue	大正14年4月29日制定 29 Apr.1925
衛生部 Medical	深緑 Dark green	明治38年7月1日制定 11 Jul.1905
獣医部 Veterinary	深緑 Dark green	明治45年2月24日に改定 Purple 24 Feb.1912
軍楽部 Military band	紺青 Blue	明治45年2月24日制定 24 Feb.1912
経理部 Accountant	銀茶 Silver-brown	明治38年7月1日制定 11 Jul.1905

明治19年制定軍楽部将官一種帽 Military band full dress cap model '886

白 White
赤 Red
金 Gold
茜(赤) Red
将官前立 Fume for officers
金線1条 Gold single line
一等軍楽長 Band master 1st-class
二等軍楽長 Band master 2nd-class

明治45年制定軍帽 Service cap mode 1912
濃紺 Dark blue
赤 Red
銀 Silver

将校 下士官、兵は相章なし、同章、頂上章付、黄毛糸線 Officer, NCOs & privates: No side stripes. Red top and side stripes and yellow woolen thread he.

横章1条なし、上下のみ 下士官以下 NCO & privates 縦、横、頂上章とすべて黄毛糸線、横章は上下のみ Petty officers, NCOs and privates: 2 side strips (top and bottom). All yelow woolen thread.

楽長用刀 Sword for band master

鍔は真鍮、柄は革、柄糸真鍮線1条 Brass hand guard and leatier grip

楽師以下、銃剣帯 Bayonet belt for privates 白、バックルは無地の真鍮 White with brass buckle

楽長、楽次長刀帯 Sword belt for band master and vice master 白、バックルは真鍮 White with brass buckle

■6ポンド砲(フランス製) French-made Six-Pounds gun

火砲はナポレオン軍の中核兵器で、幕府もフランスからの各種輸入砲を使った。図は6ポンド砲だが、もう一つ下の4ポンド砲が幕府軍の主力であった。日本での呼称は四斤山砲であった。4ポンドの重さの砲弾の射程距離は、400〜600m、8ポンドで700〜800m、12ポンドで800〜900m。砲手は4ポンドで6人、8ポンドで8人で、このほか弾薬手、挽馬御者などがついていた。

The main weapon of Napoleon's armies, the Shogunate imported many kinds of cannon from Fance. This drawing is 6-pound gun, but the main weapon of the Shogunate was a French-made 4-pound gun, called the "Yonkin-Sanpou'. These weapons had a range of 400-600m for a 4-pound gun, 700-800m for an 8-pound gun, and 800-900m for a 12-pound gun. Six gunners were needed for a 4-pound gun and 8 crew for an 8-pound weapon. In addition, an ammunition handler and horse driver were also included in the squad.

7番砲手 Gunner 7
6番砲手 Gunner 6
分隊長 Squad leader
5番砲手 Gunner 5
スポンジ Sponge
ランマー Rammer
弾薬箱 Ammo box
2番砲手 Gunner 2
1番砲手 Gunner 1
水バケツ Bucket
ハンドスパイク Hand spike
ラインストック line stock
3番砲手 Gunner 3
砲引用リンバー Limber
ポートファイアストック Portfire stock
4番砲手 Gunner 4
ウォーム Worm

2番砲手。左手には砲身清掃用スポンジ、右手にはブライコール(Bricore・砲を復座させるロープ)を持っている。
Gunner 2. Portrayed holding the sponge (barrel cleaner) in his left hand and the bricore in his right.

1 準備 Preparing to Fire

分隊長は「装塡」を命ずる。
Squad Leader orders "Load!"

5番砲手はプライミングワイヤーをベントに差し込み、穴を掃除する。
Gunner 5 cleans the inside of the vent with a priming vire

2番砲手は6番砲手から弾薬包を受け取る。
Gunner 2 receives a shell from Gunner 6

4番砲手は左右移動用のハンドスパイクを差しこむ。
Gunner 4 sets the hand spike for positioning the gun

1番砲手は種火ケースからポートファイアストックに火をともし、それをラインストックの導火線に点火する。
Gunner 1 lights the primer cord with the portfire stock

3番砲手はスポンジで砲身内を掃除する。
Gunner3 cleans the inside of the barrel

2 装塡、照準 Loading and Aiming

5番砲手は指カバーをした左手人さし指でベントをふさぎ、装塡の空気圧で火薬粉などが吹き出さないようにする。
Gunner 5 covers the vent with his finger to prevent gunpowder from being blown out during ranming

2番砲手は3番砲手に薬包と砲弾を渡し、スポンジを受け取る。
Gunner 2 hands the cartridge and shell to Gunner 3 and receives the sponge from him

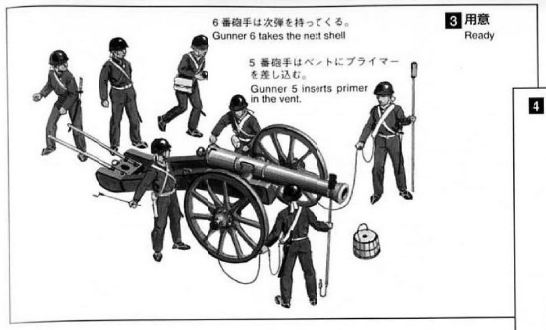
分隊長は装塡が済んだら右手で砲尾下のハンドルに右手をかけ、左手を砲尾にすえて、4番砲手に左か右を指示する。
Once loaded, the squad leader holds the rear of the gun to sight and directs gunner 4 as to how to ain the gun.

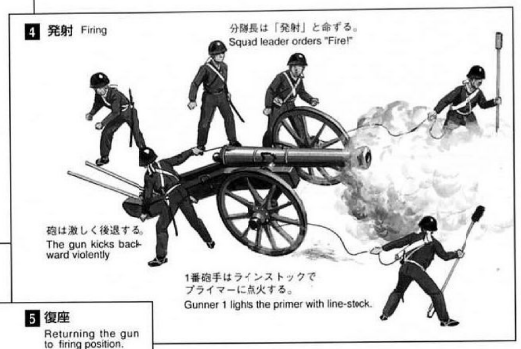
3番砲手は砲弾をランマーで押し込む。
Gunner 3 loads the shell with the rammer

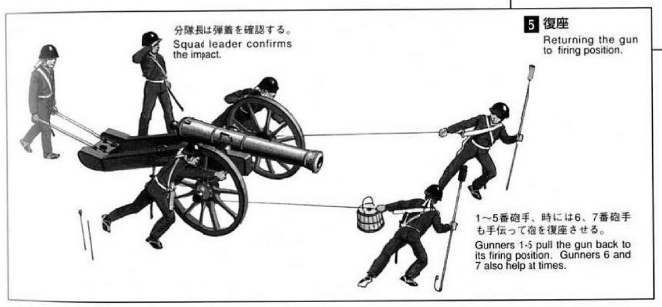
4番砲手はハンドスパイクを左右に動かして移動する。
Gunner 4 positions the gun with hand spike

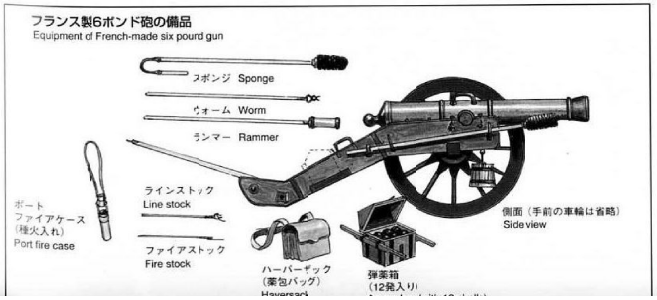
2番砲手と3番砲手は肩のロープを車輪のフックに引っ掛ける。
Gunners 2 and 3 hook their shoulder ropes on the wheel brackets

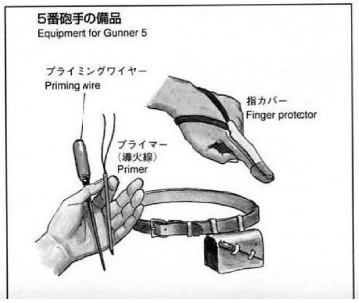
上下動のしくみ The elevation mechanism
ベント(火門) Vent
上下用ハンドル Elevaton-adjustment handle
砲架 Gun carriage

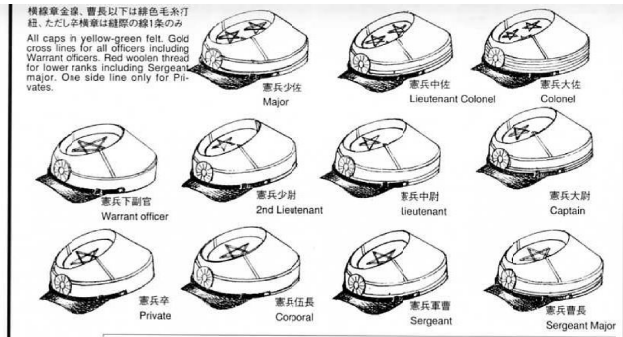

3 用意
Ready
6 番砲手は次弾を持ってくる。
Gunner 6 takes the next shell
5 番砲手はベントにプライマーを差し込む。
Gunner 5 inserts primer in the vent.

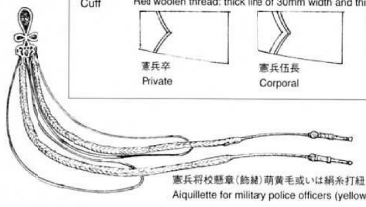

4 発射 Firing
分隊長は「発射」と命ずる。
Squad leader orders "Fire!"
砲は激しく後退する。
The gun kicks backward violently
1番砲手はラインストックでプライマーに点火する。
Gunner 1 lights the primer with line-steck.

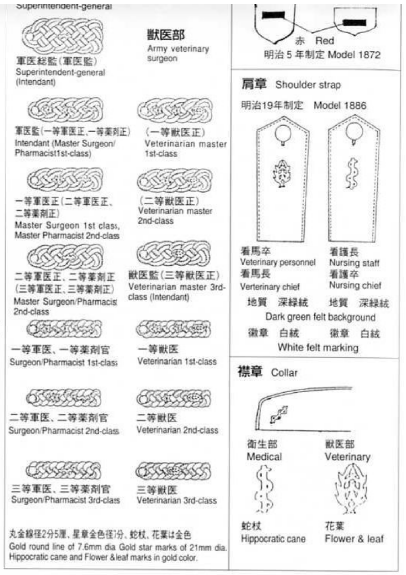

5 復座
Returning the gun to firing position.
分隊長は弾着を確認する。
Squad leader confirms the impact.
1～5番砲手、時には6、7番砲手も手伝って砲を復座させる。
Gunners 1-5 pull the gun back to its firing position. Gunners 6 and 7 also help at times.


フランス製6ポンド砲の備品
Equipment of French-made six pourd gun
スポンジ Sponge
ウォーム Worm
ランマー Rammer
ラインストック
Line stock
ファイアストック
Fire stock
ポート
ファイアケース
(種火入れ)
Port fire case
ハーバーサック
(薬包バッグ)
Haversack
弾薬箱
(12発入り)
側面（手前の車輪は省略）
Side view


5番砲手の備品
Equipment for Gunner 5
プライミングワイヤー
Priming wire
プライマー
(導火線)
Primer
指カバー
Finger protector

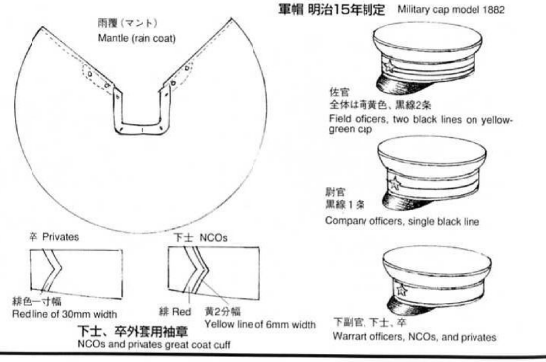

横線章金線、曹長以下は緑色毛糸打紐、ただし卒横章は縫際の線1条のみ
All caps in yellow-green felt. Gold cross lines for all officers including Warrant officers. Red woolen thread for lower ranks including Sergeant major. One side line only for Privates.
憲兵少佐
Major
憲兵中佐
Lieutenant Colonel
憲兵大佐
Colonel
憲兵下副官
Warrant officer
憲兵少尉
2nd Lieutenant
憲兵中尉
lieutenant
憲兵大尉
Captain
憲兵卒
Private
憲兵伍長
Corporal
憲兵軍曹
Sergeant
憲兵曹長
Sergeant Major


憲兵将校懸章（絽縫）萌黄毛或いは絹糸打紐
Aiquillette for military police officers (yellow-green silk)


Superintendent-general
獣医部
Army veterinary surgeon
軍医総監（軍医監）
Superintendent-general (Intendant)
軍医監（一等軍医正、一等薬剤正）
Intendant (Master Surgeon/Pharmacist1st-class)
（一等獣医正）
Veterinarian master 1st-class
一等軍医正（二等軍医正、二等薬剤正）
Master Surgeon 1st class, Master Pharmacist 2nd-class
（二等獣医正）
Veterinarian master 2nd-class
二等軍医正、二等薬剤正（三等軍医正、三等薬剤正）
Master Surgeon/Pharmacist 2nd-class
獣医監（三等獣医正）
Veterinarian master 3rd-class (Intendant)
一等軍医、一等薬剤官
Surgeon/Pharmacist 1st-class
一等獣医
Veterinarian 1st-class
二等軍医、二等薬剤官
Surgeon/Pharmacist 2nd-class
二等獣医
Veterinarian 2nd-class
三等軍医、三等薬剤官
Surgeon/Pharmacist 3rd-class
三等獣医
Veterinarian 3rd-class
丸金線径2分5厘、星章金色径1分、蛇杖、花葉は金色
Gold round line of 7.6mm dia. Gold star marks of 21mm dia. Hippocratic cane and Flower & leaf marks in gold color.
赤 Red
明治5年制定 Model 1872
肩章 Shoulder strap
明治19年制定 Model 1886
着馬卒
Veterinary personnel
着馬長
Verterinary chief
着護長
Nursing staff
着護卒
Nursing chief
地質 深緑絨
Dark green felt background
徽章 白絨
White felt marking
襟章 Collar
衛生部
Medical
獣医部
Veterinary
蛇杖
Hippocratic cane
花葉
Flower & leaf

明治15年制定、憲兵外套、下士、卒
Model 1882 great coat for military police, NCOs and privates

雨覆（マント）
Mantle (rain coat)
卒 Privates
下士 NCOs
緑色一寸幅
Red line of 30mm width
緑 Red
黄2分幅
Yellow line of 6mm width
下士、卒外套用袖章
NCOs and privates great coat cuff


軍帽 明治15年制定 Military cap model 1882
佐官
全体は萌黄色、黒線2条
Field oficers, two black lines on yellow-green cap
尉官
黒線1条
Company officers, single black line
下副官、下士、卒
Warrant officers, NCOs, and privates

憲兵、軍医、軍楽隊　Military police, Army surgeons and military bands

憲兵服制 明治14年3月21日制定 Military police model 1881

帽(正服、軍服兼用) Cap (full & service dress)

帽色はすべて萌黄紙、下副官以上は縫横線章金線、曹長以下は緋色毛糸打紐、ただし卒横章は縫際の線1条のみ

All caps in yellow-green felt. Gold cross lines for all officers including Warrant officers. Red woolen thread for lower ranks including Sergeant major. One side line only for Privates.

憲兵少佐 Major

憲兵中佐 Lieutenant Colonel

憲兵大佐 Colonel

憲兵下副官 Warrant officer

憲兵少尉 2nd Lieutenant

憲兵中尉 Liutenant

憲兵大尉 Captain

憲兵卒 Private

憲兵伍長 Corporal

憲兵軍曹 Sergeant

憲兵曹長 Sergeant Major

袖章 Cuff

緋毛糸織にして大線1寸、小線幅5分、線間1分

Redwoolen thread: thick line of 30mm width and thin ine of 15mm width at intervals of 3mm.

憲兵卒 Private　憲兵伍長 Corporal　憲兵軍曹 Sergeant　憲兵曹長 Sergeant Major

憲兵将校懸章(飾緒)萌黄毛或いは絹糸打紐

Aiquillette for military police officers (yellow-green silk)

明治15年制定、憲兵外套、下士、卒

Model 1882 great coat for military police, NCOs and privates

雨覆(マント)

Mantle (rain coat)

卒 Privates　下士 NCOs

衛生部 Medical

明治19年制定 Model 1886

軍医総監 Superintendent-general

軍医総監(軍医監) Superintendent-general (Intendant)

軍医監(一等軍医正、一等薬剤正) Intendant (Master Surgeon/Pharmacist 1st-class)

(一等獣医正) Veterinarian master 1st-class

一等軍医正(二等軍医正、二等薬剤正) Master Surgeon 1st class, Master Pharmacist 2nd-class

(二等獣医正) Veterinarian master 2nd-class

二等軍医正、二等薬剤正(三等軍医正、三等薬剤正) Master Surgeon/Pharmacist 2nd-class

獣医監(三等獣医正) Veterinarian master 3rd-class (Intendant)

一等軍医、一等薬剤官 Surgeon/Pharmacist 1st-class

一等獣医 Veterinarian 1st-class

二等軍医、二等薬剤官 Surgeon/Pharmacist 2nd-class

二等獣医 Veterinarian 2nd-class

三等軍医、三等薬剤官 Surgeon/Pharmacist 3rd-class

三等獣医 Veterinarian 3rd-class

丸金線径2分5厘、星章金色径7分、蛇杖、花葉は金色

Gold round line of 7.6mm dia. Gold star marks of 21mm dia. Hippocratic cane and Flower & leaf marks in gold color.

獣医部 Army veterinary surgeon

軍帽前章 Cap badge　袖章 Cuff patch

赤 Red

明治5年制定 Model 1872

肩章 Shoulder strap

明治19年制定 Model 1886

看馬卒 Veterinary personnel　看護長 Nursing staff

看馬長 Verterinary chief　看護卒 Nursing chief

地質 深緑絨　地質 深緑絨

Dark green felt background

徽章 白絨　徽章 白絨

White felt marking

襟章 Collar

衛生部 Medical　獣医部 Veterinary

蛇杖 Hippocratic cane　花葉 Flower & leaf

軍帽 明治15年制定 Military cap model 1882

佐官 全体は萌黄色、黒線2条

Field officers, two black lines on yellow-green cap

尉官 黒線1条

Company officers, single black line

幕末 7

幕末・維新の小火器

Small arms in the last days of the Tokugawa Shogunate

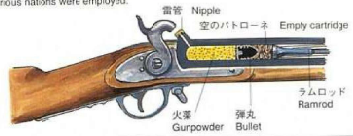
日本における幕末・維新期は、銃砲が大きく変化する時代であった。幕府や雄藩、明治政府は、諸外国の最新鋭銃器を多くとりこみ、戊辰や西南戦争を戦った。これらの戦争では、銃器の性能が勢力の優劣を左右し、勝敗を決した大きな要素となっている。ここでは、幕末・維新の銃器を性能と使用法で分類して図解した。

The last days of the Tokugawa Shogunate and the early days of the Meiji Restoration marked a time when the arms of the Shogunate's troops changed at a very rapid pace. The Shogunate, powerful feudal clans and the Meiji government imported large quantities of the newest arms of the day from foreign countries. The force with the best weapons was often the force that came out the victor in the numerous conflicts of the day. This chapter explores the capabilities and usage of the weapons of the period.

銃口から火薬、弾丸を装填し、ニップル(キルダー=ニップル(雷管)をはめ、撃発させる方式の銃。球弾を使う銃身にはライフルがなく、ミニエ弾を使うものにはライフルがある。エンフィールド(エンピール)銃、シュナイダー(スナイドル)銃などが各国産である。

Muzzle-loading rifle

These guns were operated by putting powder and then a bullet into the weapon from the open end of the barrel. A detonator (fuse or nipple) was then mounted into the nipple holder, the hammer was cocked and the trigger pulled to release the hammer. Those guns using spherical bullets had no rifling, but ones firing Minié rounds were rifled. Enfield rifles and Sniper rifles from various nations were employed.

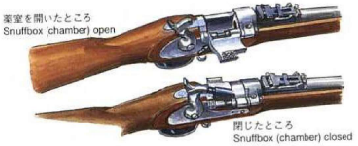


■ブリーチローディングライフル

金属薬莢を使うライフルで、後部の薬室(スナフボックス)を横に開いて弾丸を装填する。エンフィールド弾使用。マズルローディングからの改造銃も多い。

Breech-loading rifle

On this weapons, a modear-type bulet/cartridge round was used. The snuffbox opened at the side to allow loading of the round. Enfield rounds were the stardard ammunition. Many of these breech-loaders were modified from muzzle-loaders.

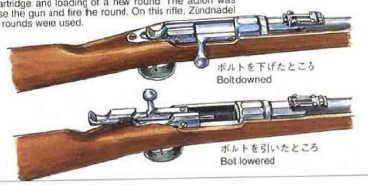


■ボルトアクションライフル

後部のボルトを起こして引き、薬室を開いて装填し、閉じて発射する。ドライゼ(ツンナール)弾、シャスポー弾使用。

Bolt-action rifle

The bolt was raised upward and pulled to the rear to allow cleaning of the empty cartridge and loading of a new round. The action was reversed to close the gun and fire the round. On this rifle, Zündnadel and Chassepot rounds were used.



■リピーティングライフル

弾詰めの弾倉の、ヘリ打ち金属薬莢を使う連発銃。シャープス、スペンサー弾使用。最新式の連発銃で、薩摩藩で16,015挺、佐賀藩で2,000挺と多く、その他の藩では少数だった。

Repeating rifle

These weapons could store seven cartridge-type rounds in the stock. Sharps and Spencer bullets were used. It was the most modern repeating gun of the day, with the Satsuma-clan having 16,015 and the Saga-clan

会津藩歩兵
会藩とちこのタイプの銃が、いちばん多かった。図は1842年バヴァリア製の銃。
An infantrymar of the Aizu-clan shown using a Bavarian-made rifle from 1842. This weapon was very popular in japan at the time.

1 雷管をはめ込む。Set the nippe

2 銃口から火薬を入れる。
Put gunpowder into the barel from the muzzle

3 弾丸と空の薬莢を詰め、ラムロッドを押し込む。
Put a bullet and empty cartridge into the barrel and ramrod them in.

1 ハンマーを半分起こし、紙包みのバローネ（薬包）の尻を噛み切る。
Half cock the hammer and bite open the end of cartridge

長州藩歩兵
当時の新式銃で西国の藩が主に使用した。図は1853年製エンフィールド銃。
Infantry of the Choshuclan using an 1853-model Enfield rifle, the newest weapon of the time.

1 ハンマーを半分起こし、薬室を開く。
Half cock the hamner and open the chamber

2 弾丸を入れる。
Load a bulle

3 薬室を閉じる。
Close the chamber.

4 ハンマーを全部起こし、引き金を引き発射する。
Fully cock the hammer and pull the trigger to fire

幕府軍歩兵
当時発明されたばかりの新式銃で、ナポレオンIII世から2000挺が寄贈された。図は1866年製シャスポー銃。
Infantry of the Shogunate shown using an 1866-model Chassepot rifle, brand new at the time. 2,000 of these weapons were sent as a gift from Napoleon III.

1 ボルトを上げ、後方へ引いて薬室を開ける。
Raise the bolt and pull it back. Open the chamber next.

2 弾丸を入れる。
Load a round into the chamber.

3 ボルトを前に押し下げて薬室を閉じる。
Replace the bolt and close the chamber

4 引き金を引き発射する。
Pull the trigger to fire

薩摩藩歩兵
1865年製スペンサー銃。
Infantry of the Satsma-clan. Model 1865 Spencer rifle.

1 チューブ形弾倉に弾丸を詰める。
Load bulets into the magazine

2 銃床尻から弾倉を入れる。
Load the magazine through the buttplate

3 レバーを前方へ押し、初弾を薬室内に押し込む。
Push the lever forward to load the first round into the chamber

4 引き金を引き発射する。
Pull the trigger to fire

明治38年制定、戦時服、軍医少尉
Army surgeon 2nd Lieutenant, wartime service dress model 1905

明治37年制定、戦時服、衛生二等卒
Medica orderly private 2nd-class, wartime service dress model 1904

明治37年制定、軍医、軍医生戦時服
Army surgeon, warime service dress model 1904

明治19年制定、軍医中佐正衣
Army surgeon Lt.Colonel, full dress model 1886

明治4年制定、鎮台歩兵付軍医中尉
Garrison infantry army surgeon Lieutenant, full cress model 1871

明治4年制定、御親兵付軍医少尉正衣
Guard army sugeon 2nd Lieutenant full dress model 1871

軍楽兵 Military band

明治45年制定、夏衣
Model 1912 summer dress

明治19年制定、一等軍楽長正衣
Band master 1st class full dress model 1886

明治19年制定、軍楽手
Private model 1886

明治19年制定、軍楽次長正衣
Vice band master full dress model 1886

明治11年制定、軍楽手正衣
Private full dress model 1878

明治11年制定、軍楽長正衣
Band master full dress model 1878

軍医、衛生兵
Army surgeon & medical orderly

明治38年制定、戦時服、軍医少尉
Army surgeon 2nd Lieutenant, wartime service dress model 1905

明治37年制定、戦時服、衛生二等卒
Medical orderly private 2nd-class, wartime service dress model 1904

Medical orderly sergeant 1st class, service dress model 1886

明治37年制定、軍医、軍医生戦時服
Army surgeon, wartime service dress model 1904

明治19年制定、軍医中佐正衣
Army surgeon Lt.Colonel, full dress model 1886

明治4年制定、鎮台歩兵付軍医中尉
Garrison infantry army surgeon Lieutenant,full dress model 1871

明治4年制定、御親兵付軍医少尉正衣
Guard army sugeon 2nd Lieutenant,full dress model 1871

軍楽兵 Military band

明治45年制定、夏衣
Model 1912 summer dress

明治19年制定、一等軍楽長正衣
Band master 1st class full dress model 1886

火打石式 Flintlock

火打石 Flintock

1 コックを起こす
Rise the cock partially

スティールを起こす
Rise the steel

2 発火薬 Ignition powder

スティール Steel

火薬皿 Priming pan

火薬皿に発火薬の一部を落とす。
スティールをおろして火薬皿に置をする。
Part of the powder was sprinkled on the priming pan, then the steel lowered.

■アンノ13騎兵用
(フランス製・17.1mm)
Anno XIII Cavalry pistol (France, 17.1mm)

雷管式(単発式) Purcussion lock (Single shooter)

1 銃口から火薬と弾を入れ、ランマーで押し込む。
The powder and bullet were packed into the barrel with a rammer.

2 ニップルホルダー
Nipple holder

ニップルホルダーに
ニップル(雷管)をはめこむ。
A nipple(fuse)was mounted in the holder.

■和製パーカッション単発式
小銃が口薬式から雷管式に改造される時期になると、単発式拳銃も製造されるようになった。
左側にベルトにはさむフックがついている。
Japanese-built Percussion-type single shooter
About the same time that rifles made the transition from muzzle to breech loaders,improvements in single-shot pistols also began to be seen. This weapon had a hook on the left side for attaching it to the bearer's waist.

雷管式(連発式) Purcussion lock (Repeating type)

1 ハンマーをハーフコックにして輪胴を自由回転にし、前方から弾を装填する。
The hammer was half-cecked, and bullets loaded into the cylinder from the front.

2 ローディングレバー
Loading lever

ローディングレバーで弾を押し込む(6発全部)。
The loading lever was then used to push all six rounds into the chamber.

■コルトネイビー
(アメリカ製・6連発)
Colt Navy (America, 6 shooter)

ピン打式 Pin fire

1 ハンマーをハーフコックにして後ろのカバーを開け、ピンを火門にあてて弾を込める。
The hammer was half-cocked, and bullets were loaded from the rear, setting their pins into the vents.

■ルフォーショー
(フランス製・6連発)
Lefaucheux (France, 6 shooter)

ピン Pin

薬莢 Case

火薬と弾
Gunpowder and bullet

ランマー
Rammer

3
銃口から残りの火薬と弾を入れ、ランマーで押し込む。最後に紙栓も押し込め、弾の滑り落ちを防ぐ。
The remaining gunpowder and bullet were loaded into the barrel with a rammer. Then a stopper was put into the barrel to keep the burret from sliding forward.

4
コックを全部起こし、引き金を引く。
The hammer was fully cocked and the trigger pulled to fire the weapon.

3
ハンマーをフルコックにし、引き金を引く。
The hammer was fully cocked and the trigger pulled to fire the weapon.

3
後ろからニップルを詰める。
Fuses were added from the rear.

4
こぼれた火薬による引火暴発を防ぐため、シリンダー前面をよく拭う。
Any spilled gunpowder was then cleaned off to prevent accidental discharge.

5
ハンマーをフルコックにして引き金を引く。
The hammer was fully cocked and the trigger pulled to fire the weapon.

2
ハンマーをフルコックにすると、輪胴が回転して弾が発射位置にくる。引き金を引いて発射。
Fully cocking the hammer would rotate the cylinder and bring a round into firing posi-

3
ハンマーをハーフコックにすると輪胴が自由に回転する。前のランマーを押して空薬莢を排出する。
Half-cocking again would allow the cylinder to spin freely. Pressing the rammer would allow ejection of the individual empty casings.

ランマー
Rammer

明治 8

憲兵、軍医、軍楽隊

Military police, Army surgeons and military bands

陸軍の制度の拡充と共に軍警察の必要が生じ、明治14年、憲兵制度を採用した。明治15年には後の法務部も発足した。軍医部は建軍当初から存在したが、本格的に制度化されたのは明治11年。特務将校の軍医は民間から登用されることもあったので、軍人相当官として待遇された。

As the army was expanded as modern military, a police system was needed and a military police system was enacted in 1881. In addition, a judicial department was set in the next year. The military surgeon started at the same time with the army and was systematized formally receivec similarly to military surgeon officer.

憲兵
Military police

明治14年制定、憲兵少佐正衣
Military police major, full dress model 1881

明治21年改正、憲兵中尉正衣
Military police lieutenant, full dress model 1888

明治38年制定、憲兵中尉軍装
Military police leutenant, service dress model 1905

明治21年改正、一等憲兵軍曹正衣
Military police sergeant 1st-class, full dress model 1888

日覆（カーキ色）
Cap cover(khaki)

明治19年改正、憲兵辛夏衣
Military police private, summer dress mocel 1886

明治37年改正、外套

明治15年改正、憲兵伍長外套
Military police

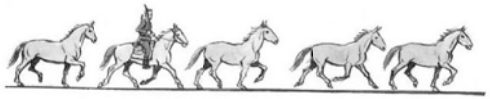
明治19年改正、

明治19年改正、

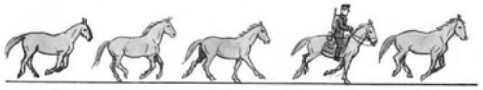
明治37年制定、

騎歩 Cavalry pacing

常歩 Footpace (100m/min. or 86m/min. when marching with infantry)
行進時の速度で、標準速度は1分間100mだが、歩兵と共に行動する時には86mとされていた。



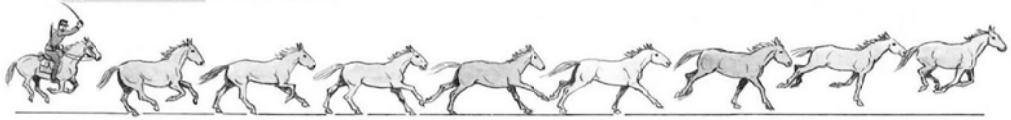
速歩 Hand canter (220m/min. or 140m/min. when marching with infantry)
教練での標準速度は1分間220mだが、行軍時は200m、歩兵と共に行動する時には140mであった。



駆歩(駆足) Canter (320m/min. or 300m when marching)
標準速度は教練では1分間320mだが、急進時は420m、行軍時は300mとされていた。

襲歩 The Art of the Sabre

集団で突撃する際の駆け方



馬上軍刀術 The art of the sabre

騎兵の本領である集団突撃の武器は軍刀と拳銃だった。不安定な馬上から刀を落としたり、馬体を傷つけないよう、くり返し訓練された。

The Cavalry's main mission was swift, mass attacks against an enemy with pistol and sword. They trained long and hard in order to learn how to avoid dropping their swords from horseback, or harming their mounts with its sharp edge.

刺突 Thrust

馬上から地上の敵を刺突、斬撃するため騎兵軍刀は長い。

In order to make cutting or thrusting attacks at an enemy on the ground, the cavalryman's sabre was much longer than that of an infantry soldier.

斬撃 Cut

明治 1

御新兵から国軍へ

From the Imperial Guards to the Imperial Army

日本で近代的軍装を最初に取り入れたのは、明治元年(1868年)の東京遷都に伴う天皇東上の際に、西郷隆盛が編成した天皇の護衛兵「御親兵」であった。

さらに明治3年(1870年)、御親兵軍装の制定を経て、翌4年、後の一般師団である「鎮台兵」が創設され、御親兵は近衛師団となった。

明治5年(1872年)、徴兵令が発布され、これが後の昭和軍装へと発展していった。

The Japanese Army introduced modern equipment when the capital of Japan was moved from Kyoto to Tokyo in 1868. Conscription was introduced in 1872 when the divisions of the Army (infantry, artillery, cavalry, pioneers and transport troops) were also established.

御親兵軍装　明治3年制定 Uniform for the Imperial Guards (Goshin-pei) introduced in 1870.

大将 General

制帽 Dress cap

襟 Collar

袖 Sleeve

袴 Trousers

御親兵歩兵 Infantry of the Imperial Guards.

一等兵卒 Private first-class

エンフィールド銃 Enfield rifle

大尉 Captain

御親兵は、もともと各藩の軍隊から徴収されたため、発足当時、軍装は統一されていなかった。

Originally, Imperial Guardsmen consisted only of soldiers drafted from individual clans' armies. As such, their uniforms were not standardized initially.

三兵種とも軽兵の袖口は赤

Cuffs were red for all three services' lower ranks (Private 2nd Class to Sergeant).

制帽 Dress cap

近衛歩兵、砲兵、鎮台中尉
1st Leutenant of the Guards infanry and artillery Garrison

近衛騎兵
Major of the Guards cavalry

大将
Gereral

御親兵砲兵二等兵卒、エンフィールド銃とヤタガン式の砲兵用銃剣
Private second-class of the Imperial Guards artillery with an Enfield

御親兵砲兵中尉
Lieutenant of the Imperial Guards artillery

御親兵騎兵軍曹、スペンサー銃
Sergeant of the Imperial Guards with Spencer carbine

御親兵騎兵少佐 サーベルは輸入品が多かった
Major of the Imperial Guards.

近衛騎兵大佐
Colonel of the Guards cavalry

近衛中尉
Lieutenant of the Guards cavalry
正装と正装馬具、手綱の先端は
房になっている。
Lieutenant of the Guards cavalry wearing a full dress uniform. The horse's gear is also "full dress"

袴が濃紺に変更された（兵科色がつくのは佐官まで、将官にはつかない）
The trousers was changed to dark blue. (There were no service colors for general officers)

拳銃套外覆
External cover for pistol holser

鞍褥 Saddlecloth

鎮台砲兵軍曹の軍衣とスペンサー騎銃
Sergeant of the Garrison artillery with Spencer carbine.

鎮台歩兵軍曹の軍衣とシュナイダー銃
Sergeant of the Garrison infantry with Snider rifle.

鎮台歩兵一等兵卒、略衣、上衣丈が短く、玉縁なしでボタン7個、略帽（前立てを外した状態）
Private first-class of the Garrison infantry wearing a service uniform. The jacket was short and had seven buttons, with no beadwork. [illegible]

鎮台歩兵少尉（正装）、ボタン9個、玉縁あり
Seconc Lieutenant of the Garrisen infantry in full dress uniform with beadwork and nine buttons.

鎮台騎兵二等兵卒軍衣
Private second-class of the Garrison cavalry.

鎮台騎兵少尉（近衛騎兵も同じ）
Second Lieutenant of the Garrison cavalry. (same as Guard cavalry)

近衛歩兵伍長軍衣（正装）
Corporal of the Guards infantry (full dress)

騎兵用兵器 Arms of the cavalry

32年式軍刀 Sabre nodel 32 (model 1899)

22年式騎兵銃
8mm Carbine Model 22 (1889)

口径8mm、22年式村田連発銃の騎兵型。遊底を開けて10発の弾薬を銃身下部のチューブ弾倉に詰め、1発ずつ遊底を引いて装填、発射するという構造のため、装填に時間がかかるため、結局単発式の銃として使われることが多かった。

This is a model 22 Murata repeater carbine remodeled especially for the cavalry. The tube magazine in the stock could hold 10 rounds. However, as using the repeater action took a great amount of time, it was more frequently used as a single-shot weapon.

騎兵用弾薬盒
Cavalry ammo Poach

右前に1個を付ける。それ以上の弾薬は鞍嚢に入れている。

A single ammo poach was kept at the cavalryman's right front. All other ammunition was stored in bags on the saddle.

30年式騎兵銃 6.5mm Carbine Model 30 (1897)

口径6.5mm、クリップ式の5発装填タイプの30年式歩兵銃の騎銃型。故障や薬莢の焼き付きが多く、さらに大陸の戦場では厳寒や埃のために作動不良を起こす銃が多く、後の38式歩兵銃はこの戦訓を生かして設計された。

Carbine redesigned specially for the cavalry from the 6.5mm clip-type Model 30 infantry carbine. Jams and misfires were frequent, and the gun also had trouble in the cold and dusty continental battlefield. The hard lessons taught by this poor weapon were put to use when designing the Model 38 infantry rifle later

機関銃 Machine guns

遼東半島に上陸した秋山好古少将の第1騎兵師団には、日本最初の機関銃が配備されていた。まだ開発されたばかりのフランス製オチキス機関銃隊は各砲兵隊から抽出され、騎兵旅団の機関銃中隊は、人員は198名、機関銃6門、弾薬車6、予備品車1を装備し、名称は「騎兵連射機関砲隊」であった。明治37年10月、騎兵第2旅団の本溪湖の戦闘では車輪を外し、急造の三脚架でコサック騎兵を掃射して戦果をあげた。

Each Japanese cavalry brigade's machine gun companies consisted of 198 soldiers who opeated six French-built hotchkiss machine guns, along with 6 ammunition carts and a spare parts cart. The weapons were used with great effect aganst Cossack forces.

A 少佐　Major
B 大将（将官は兵科色なし）
Genesal (no service color for general officers)
C 鎮台騎兵、下士官、兵
Chindai (Garrison) cavalry, NCOs and privates
D 近衛騎兵、下士官、兵。明治19年制定の第2期シャコー型軍帽。後庇がない。（明治6年制定の物と異なる形）
Guarc cavalry, NCOs and privates. Model 1886 German Schako-type full dress cap, second revision w/o havelock. Differed from 1873 model.

1 演習を統監する明治天皇と、それを供奉する近衛騎兵
The Meiji emperor inspecting a maneuver attenced by Guards cavalry
2 天皇旗を持つ曹長
Sergeant major with the Emperor's standard
3 供奉旗を持つ上等兵
Superior private with attendance flag
4 夏外套の師団騎兵将校
Divisienal cavalry officer wearing summer coat.
5 将校用雨衣の近衛騎兵大佐（将官の物は裏が緋色）
Guarc cavalry colonel wearing rain coat for officers (red lining for General officers)
6 将校用外套の近衛騎兵中佐（昭和期も鉛色のままだった）
Guarc cavalry lieutenant colonel wearing great coat for officers.
7 兵用外套（後にカーキ色になる）
Great coat for privale (late model would be khaki)
8 夏用の軍衣と略帽の師団騎兵
Divisienal cavalry private wearing summer service dress and cap
9 野戦用の軍衣と帽覆いの近衛騎兵
Guard cavalry private wearing field uniform
10 近衛騎兵少尉
Guard cavalry 2nd Lieutenant

明治4年制定の軍装　Army uniforms introduced in 1871

軍帽 Peakd cap

生徒 Cadet
曹長 Sergent major
大尉（小3条） Captain
大佐（大1条、小1条） Colonel
少将（大1条、小2条） Major General
中将（大1条、小3条） Lieutenant General

帽章（金） Cap badge (Gold)

軍衣袴 Service tunic and trousers

兵用上衣（略装） Private's service jacket
袴 Trousers
将校用上衣（軍衣） Service dress for officers

襟章 Collar

生徒襟章 Cadet's collar
兵用襟章 Private'scollar
1/3金線 1/3 golc line
1/2金線 1/2 gold line
長金 (Gold)
尉官襟章 Company officers
兵科色 Service color
佐官襟章 Field officers
兵科色 Service color
将官襟章 General officers

将校用ボタン（金） Buttor for officers(Gold)
兵用ボタン、数字は聯隊番号 Buttor for private

初期の型は銃剣を横に装着する
The early model bayonet was attached on the side of the muzzle

銃 Rifles

国軍創設当初は、解体した諸藩の銃を集め、そのうち適当なものを装備した。エンピール（エンフィールド）銃、スナイドル（シュナイダー）銃は歩兵、工兵に、スペンサー銃は騎兵、砲兵、輜重兵が使用した。ミニエー、シャスポー、ツンナール、アルビニー等の銃は暫定的に使ったが、他の銃は廃棄処分された。

At its start, the Japanase Army was equipped with rifles confiscated from the new-abolished feudal clans. Infantry and Poneer units took Enfield and Snider rifles, while the Cavalry, Engineer and Supply units used the Spencer rifles. Some Minié, Chassepot, Zündnadel and Abini arms also remained in service in limited numbers, but others were scrapped.

シュナイダー銃の装填方法。遊底を開いて入れる。
Loading method for Snider rifle

村田13年式銃が開発されるまでの主力銃で、前装式のエンフィールド銃を金属薬莢使用後装式銃に改造したもの。

This was he primary rifle before the development of the Murata Type 13, and it was conveted from a muzzle-loading Enfield rifle.

ボクサータイプの雷管をつけた実包
Bullet with Boxer type detonator

スペンサー銃の装填方法、7発入りのチューブ弾倉を床尾から入れ、レバーを押し下げると、実包が薬室に装填される。単発と連発に切り替えられる。

A Spencer rifle was baded by inserting a seven-round tube magazine into the stock. Lowering the loading lever would bring the first round into the chamber. It couic be fired on single-shot or repeater modes.

スペンサー銃

袖章 Sleeve

生徒 Cadet
軍曹 Sergeant
曹長 Senior Sergeant
曹長 Sergeant Major
少尉 Second Lieutenant
中尉 Lieutenant
大尉 Captain
少佐 Major
中佐 Lieutenant Colonel
大佐 Colonel
少将 Major General
中将 Lieutenant General
明治5年制定の元帥袖章 Sleeve for field marshal intr-duced in 1872
二等兵卒 Private second-class
一等兵卒 Private first- class
伍長 Corporal

袴側線 Trousers side stripe

兵用袴（幅1寸、黄線1条、兵科色）
Private (3cm yellow stripe)

副官用袴（3分幅金線1条と識別線）
Company officer (9mm thin gold stripe)

佐官用袴（3分幅金線2条、中間に識別線）
Field officer (9mm two thin gold stripes)

将官用袴（1寸幅金線、識別線なし）
General officer (3cm gold stripes)

建軍初期の将校用馬装
Officer's horse gear at time Army was established

頭絡（拡大して描いている）
Bridle

佐官軍装
Gear for field officer

毛布
Blanket

拳銃嚢
Kit bag for pistol

衣嚢 Clothes bag

靴
Crupper

佐官を示すマーク
Marking for field officer

赤
Red

主手綱（轡銜）
Snaffle rein

鞍嚢
Saddle bag

鞍
Saddle

副手綱（副銜）
Curb rein

鞍
Collar

鐙革
Stirrup leather

腹帯
Girth

鐙 Stirrup

佐官を示すマーク
Marking for field officer

当初はフランス式の馬具を導入したが、轡銜、副銜の二つを馬の口に入れるので馬への負担が大きかったため、後に銜が一つのドイツ式に改められた。

French harnesses were used at first, but its snaffle rein and curb rein were particularly rough on the horse. This was changed into German harness later, a system which employed only the snaffle rein.

鞍下毛布（鞍褥）は35頁のものと同じ
Same saddlecloth shown on page 35

赤
Red

右側面
Right side shown

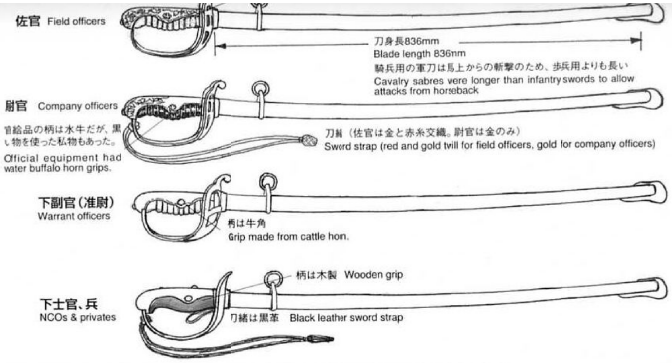
濃紫 Dark purple

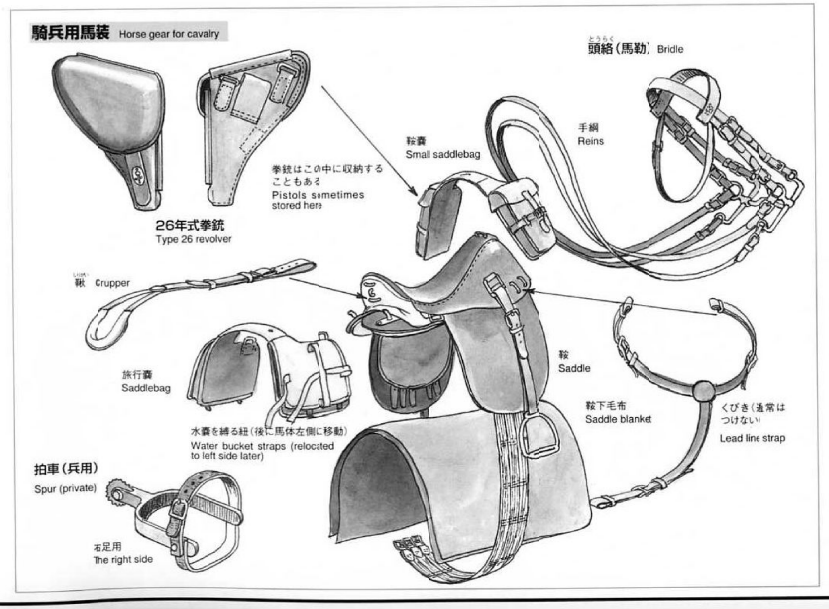
7
騎兵(2)［近衛騎兵］
Cavalry (2-Guards)

近衛騎兵の通常勤務は、宮城警備と天皇行幸時の供奉だが、野戦にも出動した。

日露戦争開戦時の明治37年3月、定州の前線で、わずか4個小隊をもって1千名以上のロシア騎兵集団の来襲を防いだという近衛騎兵の勇戦は全軍の士気をおおいに高めた。

The man duties of the Imperial Guards Cavalry was to guard the Imperial Palace and to escort the emperor on his trips from the palace. However, at times they were dispatched to actual combat duty. In March of 1904, a mere four platoons of Imperial Guards cavalry held off and drove back an advance by over 1,000 Russian cavalry. Word of their exploits served to boost the morale of the entire Army.





明治 2 国軍創設期

The founding period of the Imperial Army

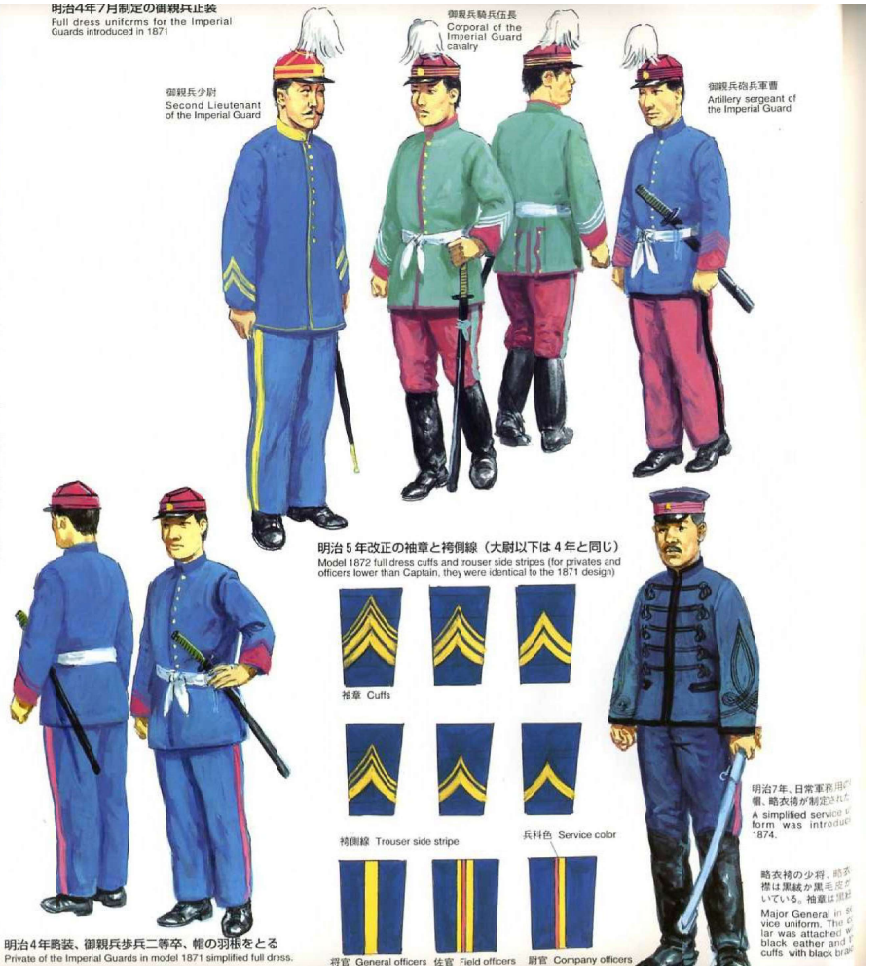
明治4年に東京、大阪、鎮西（広島）、東北（仙台）の四ケ所に鎮台兵本営が設置された。

明治5年3月に御親兵を廃止して近衛兵とした。

明治5年11月に徴兵令が発布され、常備軍（後の現役）、後備軍（後の予備役）、国民軍（後の後備役）となり、歩兵、砲兵、騎兵、工兵、輜重兵の5兵科となった。

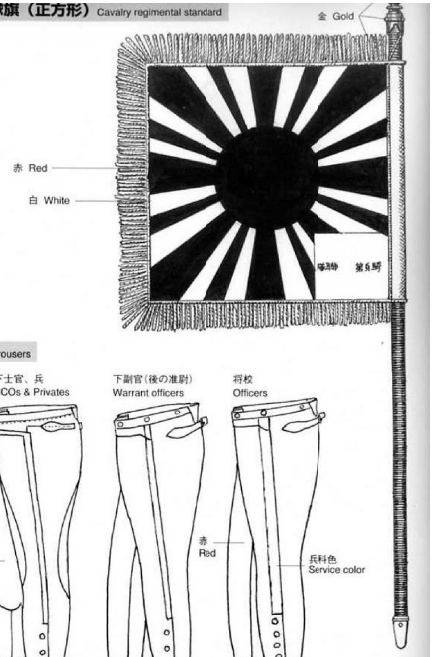
それと共に軍装のほうも3年、4年、5年と変化し、6年で基本的な姿が確立された。

The first uniform of the Japanese Army was introduced in 1870, when its troops still consisted of those Imperial Guards drafted from the armies of feudal clans. In 1871, The Headquarters of the Garrison were established in Tokyo, Osaka, Chinzei (Hiroshima) and Tohoku (Sendai). The old Imperial Guards were revised in March, 1872 and the troops were organized into "active service", "reserve duty" and the "reserves". In addition, the service was organized into five major divisions, consisting of Infantry, Artillery, Cavalry, Engineer and Supply Troops. Their initial uniforms were modified frequently from 1870, and finaly settled on a basic type in 1873.

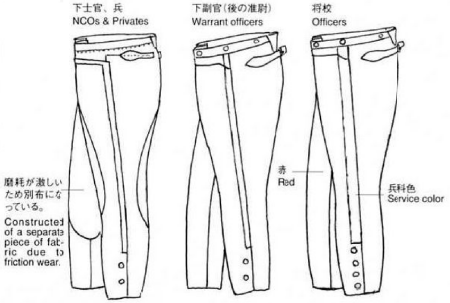


軍衣 Service dress

騎兵聯隊旗（正方形） Cavalry regimental standard



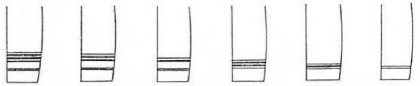
軍袴 Trousers



袖章（下士官、兵） Cuffs (NCOs & privates)

金、銀線幅2分、大線幅8分、小線幅2分、金、銀線以外は各兵科による定色

Gold and silver lines were each 6mm wide. Bold lines of other colors were 24mm, thin lines were 6mm. Lines other than gold and silver were in service colors.

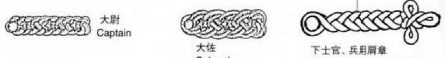


曹長、同相当官 Sergeant Major | 一等軍曹、同相当官 1st Sergeant | 二等軍曹、同相当官 2nd Sergeant | 上等兵 Superior Private | 一等兵、同相当官 Private 1st-class | 二等兵、同相当官 Private

袖章（将校） Cuff (officer)

大佐、同相当官 Colonel | 中佐、同相当官 Lt.Colonel | 少佐、同相当官 Major | 大尉、同相当官 Captain | 中尉、同相当官 Lieutenant | 少尉、同相当官 2nd Lieutenant | 下副官、准士官 Warrant officer

肩章 Shoulder strap



黄紐 Yellow strap

大尉 Captain

中尉 Lieutenant

少尉 2nd Lieutenant

准尉（大正6、9年） Warrant officer(1917&20)

准士官（昭和13年） Warrant officer(1938)

大佐 Colonel

中佐 Lt.Colonel

少佐 Major

下士官、兵用肩章 Shoulder strap for NCOs & privates

准尉の制定は大正期だが、それ以前の下副官肩章も昭和13年の准士官と同じ物と思われる。

The rank o Warrant officer was enacted in the Taisho Era (the 1920s). The shoulder strap of Warrant officers before the enactment is thought to be the same as the type used in 1938.

一等卒
Private 1st-class

上等兵
Superior Private

ヨーロッパの銃の系譜

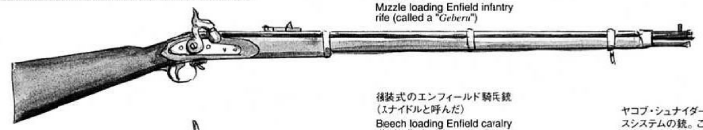
ヨーロッパの火縄銃の着火方式は日本のような瞬発式ではなく、常に火縄が上がっている。引き金を引くと自動的に火蓋が開き口火が下がって着火し、引き金を離すと元に戻る。瞬発式の火縄銃だっと。このタイプの銃は日本では非常に少なく、主に馬上筒であった。江戸期の名称は火縄が常に上がっているところから「常上(つねあ)がり鉄砲」と呼ばれていた。日本で広く使われた瞬発式は南ヨーロッパで開発されたが、すでに燧石銃に移行していたヨーロッパでは使われず、中近東から東南アジアを経て日本へ入った。これらの火縄銃は幕末になって雷管を使用する銃に改造され、一般的にゲベール銃(歩兵銃)と呼ばれた。

European matchlock rifles did not use the instant ignition method found in the guns used in Japan, but rather had their matches constantly raised and burning. Pulling the trigger would open the breech and lower the match to the powder. Releasing the trigger would return everything to its normal position. This type of gun was extremely rare in Japan, found in use mostly by troops on horseback. The instant ignition guns used widely in Japan were developed in southern Europe, but not used there as European nations had already made the move to the flintlock. These guns, instead, made their way to Japan through the Middle East and Southeast Asia. At the end of the Shogunate, most of these guns were converted into models which used fuses instead.

火縄銃
Match lock gun

火打石銃
Flint lock rifle

幕末の輸入小銃 Rifles imported during the last days of the Shogunate

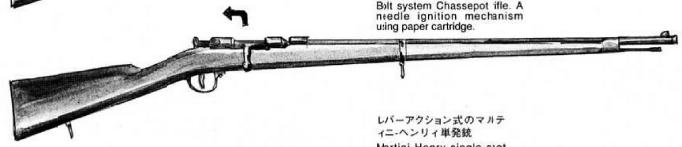


前装式のエンフィールド歩兵銃
(前装式をゲベールと呼んだ)
Muzzle loading Enfield infantry rifle (called a "*Geberu*")

後装式のエンフィールド騎兵銃
(スナイドルと呼んだ)
Beech loading Enfield cavalry rifle (called a "*Sunaidoru*")

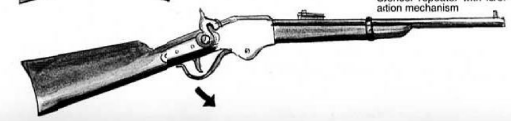
ヤコブ・シュナイダーの発明したスナップボックスシステムの銃。このタイプでミニュー式の弾丸を使う銃をミニュー式という。各社で作ったものが全部ミニュー銃と呼ばれた。

A "snuffbox" system rifle invented by Jacob Snider. In general, all types of rifles that used the Minie bullets were referred to as Minié rifles.



ボルト式のシャスポー銃(紙製の薬莢を使うニードル(針)式撃発機構)
Bolt system Chassepot rifle. A needle ignition mechanism using paper cartridge.

レバーアクション式のマルティニ・ヘンリィ単発銃
Martini-Henry single-shot lever-action rifle



レバーアクション式のスペンサー連発銃
Spencer repeater with lever-action mechanism

■幕末藩兵の装備品目(上州館林藩)
慶応4年、東征軍に加わった上州館林藩兵が携行した装備品目。
◎大小刀、背嚢(弾薬40発、その他雑品)、小銃、胴乱(20発入り)、握り飯2回分(梅干し2ヶ、生味噌少々)、草履2～3足を肩や腰につけて出陣した。

Standard equipment list of a feudal clan's private at the final days of the Shogunate.
(Example from the Tatebayashi Clan, which joined the Imperial Court troops in 1868)

- One long and one short sword
- One knapsack with 40 rounds of ammunition and other miscellaneous equipment
- One rifle and a 20 round ammunition pack
- Rice balls, two pickled plums and a bit of "miso" (soy paste) for two meals
- Two or more pairs of "zori" sandals, with extras mounted on his shoulders or waist

村田銃から44年式小銃まで
Rifles from the "Murata" through the Model 1911

13年式単発銃（村田式）
Model 1880 Murata rifle

全長1290mm/口径11mm/装弾数・1発
Length 1290mm/Cal.11mm/Single shot

13年式銃剣　全長708mm
Model 1880 bayonet. Length 708mm

18年式単発銃
Model 1885 single shot

全長1275mm/口径11mm/装弾数・1発
Length 1275mm/Cal.11mm/Single shot

18年式銃剣　全長580mm
Model 1885 bayonet. Length 580mm

22年式歩兵銃
Model 1889 infantry rifle

全長1215mm/口径8mm/装弾数・チューブ式弾倉に8発
Length 1215mm/Cal.8mm/8 round held in tube magazine

22年式銃剣　全長370mm
Model 1889 bayonet. Length 370mm

22年式騎兵銃
Model 1889 carbine

全長959mm/口径8mm/装弾数・チューブ式弾倉に5発
Length 959mm/Cal. 8mm/5 round held in tube magazine

負革の吊環は向こう側についている
Hook bracket on left side of gun breech

30年式歩兵銃（有坂式）
Model 1897 infantry rifle "Arisaka"

全長1275mm/口径6.5mm/装弾数・5発（クリップ式）
Length 1275mm/Cal. 6.5mm/5 rounds held in a clip

30年式銃剣（以後、昭和期までこの銃剣）
Model 1897 bayonet

30年式騎兵銃
Model 1897 carbine

全長963mm/口径6.5mm/装弾数・5発（クリップ式）
Length 963mm/Cal. 6.5mm/5 rounds held in a clip

35年式歩兵銃（海軍用）
Model 1902 Navy infantry rifle

全長1275mm/口径6.5mm/装弾数・5発（クリップ式）
Length 1275mm/Cal. 6.5mm/5 rounds held in a clip

35年式銃剣
Model 1902 bayonet

外部バネ付き　Socket system locks with spring

38年式歩兵銃（サンパチシキ）
Model 1905 infantry rifle "Sanpachisiki"

全長1275mm/口径6.5mm/装弾数・5発（クリップ式）
Length 1275mm/Cal. 6.5mm/5 rounds held in a clip

38年式騎兵銃
Model 1905 carbine

全長965mm/口径6.5mm/装弾数・5発（クリップ式）
Length 965mm/Cal. 6.5mm/5 rounds held in a clip

44年式騎兵銃
Model 1911 carbine

折り畳み式銃剣
Folding bayonet

全長968mm/口径6.5mm/装弾数・5発（クリップ式）
Length 968mm/Cal. 6.5mm/5 rounds held in a clip

明治

6

騎兵（1）
Cavalry (1)

■日露戦争の日本騎兵

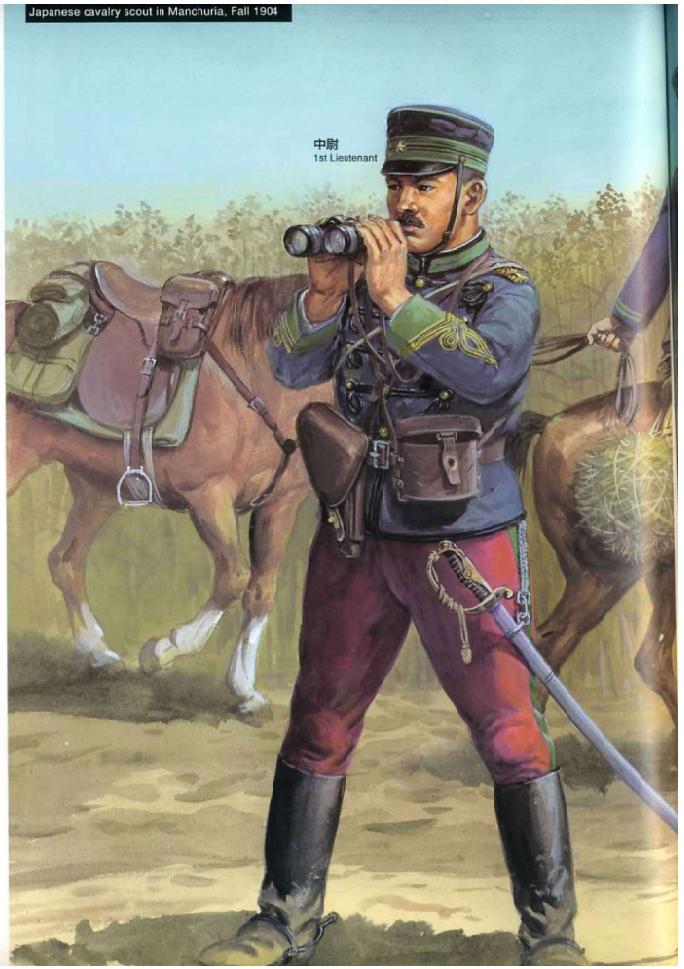
日本陸軍の騎兵は明治3年の建軍時に創設され、明治27年（1894年）の日清戦争を経て、同37、38年（1904,05年）の日露戦争では、ロシアの誇る圧倒的多数のコサック騎兵を相手に勇猛果敢に戦った。

騎兵は主に敵地深く潜入して、捜索、挺身攻撃に従事したが、なかでも奉天会戦に先立ち、ロシア軍の後方に侵入し、シベリア鉄道の鉄橋爆破に成功した永沼挺身隊の活躍は、ロシア軍に前線から大量のコサックを後方警備に抽出せざるを得ない状況をつくり出し、奉天会戦に勝利をもたらした陰の力となった。

建軍期の騎兵には、宮城警護の近衛騎兵と、野戦用の鎮台騎兵があった。日露戦争に出兵した騎兵は、当初フランス騎兵を模し明治15年に制定された黒や赤の軍装で戦ったが、派手な軍装が戦場で目立ち過ぎるため、急きょ野戦用のカーキ色の被服を開発、支給した。そのため、時期や戦場によっては様々な軍装が混在するという現象が生じた。

The Japanese Cavalry was established in 1870 simultaneously with the formation of the Army itself. Their outnumbered units fought bravely against the Cossack cavalry of the Russian Army during the Russo-Japanese War (1904-1905) as well as the Sino-Japanese War (1894). Their primary mission was scouting and deep penetration of enemy territory, coupled with self-defense combat as necessary. In particular, the exploits of the Nagnuma Volunteers during the Russo-Japanese war were remarkable. Penetrating deep behind enemy lines, they destroyed several key bridges on the Siberia railroad, forcing the Russians to bring large numbers of Cossacks back from the front to defend their rear areas. This weakening of the front was one of the key factors behind the ultimate Japanese victory.
When Cavalry units were initially formed, both Imperial Guards cavalry units and the Garrison cavalrymen were in active service. The units dispatched to the Russo-Japanese War wore the French-style uniform adopted in 1882 at first, but its bright colors stood out too much on the battlefield and this was changed shortly to a more plain, khaki style. As a result, this resulted in a mixed styles on some battlefields for a short period.

Japanese cavalry scout in Manchuria, Fall 1904



軍装 明治39年制定 Uniform model 1906

赤 Red

大量にストックがあった濃紺布地による新軍服
New dark blue uniform which made from vast back stock of old material

赤 Red

襟章 Collar

7 7

聯隊番号
Regimental number

赤細線
Thin red line

赤細側線
Thin red side line

巻脚絆となる
Puteis

襟章と肩章 Collar and shoulder straps

軍曹
Sergeant

伍長
Corporal

曹長
Sergeant Major

一等兵
Private 1st-class

二等兵
Private 2st-class

上等兵
Superior Private

一年志願兵(二等兵)
One-Year Volunteer (private 2nd-class)

工兵の背嚢と装具 Equipment for pioneers

大十字鍬の兵
Pick axe

大円匙の兵
Shovel

砲兵一等卒
Artillery private 1st-class

砲兵用銃剣
Artillerymar's bayonet

旧型の長いタイプ
Early longer model bayonet

明治 3
歩兵士官正装
Infantry officers' full dress uniforms

明治6年5月制定の正衣袴で正衣のボタン9個、正袴の側線は将官(金細線1本)。佐・尉官は太い兵科色1本となった。ただし同年9月ボタン7個に改正。

A full dress uniform introduced in May, 1873, with 9 buttons and single thin stripe in gold. For field officers and officers lower than Major, a single thick stripe of the service color was present. In September of the same year, the design was revised to seven buttons.

明治8年の飾帯
Sash model 1875

明治19年の飾帯
Sash model 1886

大尉
Captain

明治6年9月制定の正衣袴に19年改正の袖章
A full dress revised in September, 1873, with the cuffs of the model 1886 revised.

少将(勲章は省略)
Major General (without any decoration)

明治6年制定の正衣、袴
Full dress tunic and trousers model 1873

正帽 Full dress cap

前立 Plume

前章
Cap badge

明治18年
Model 1885

少将
Major General
星章4つ、大線1条、小線1条
Four stars and one bold line,one thin line

明治19年
Model 1886

大尉 Captain

襟章 Full dress collar

副官
Company officers

将官
General officers

肩章 Shoulder strap

将官は肩章なし
General officers had no shoulder straps

副官
Company officers

袖章 Full dress cuff

大尉(副官)は小線3条
Captain (Company officer) had three thin lines

兵科色
Service color

少将は小線5条
Major General had five thin lines

将官は兵科色なし
General officers wore no service colors

正刀 Full dress sword
明治19年制定
Model 1886

正刀緒
Full dress sword strap

副官
Company officers

銀星2つ
Two silver stars

将官
General officers

正剣 Full dress sabre
明治8年制定
Model 1875

少将(柄に星が2つ)
General major (Three stars on the handle)

正剣帯 Full dress belt

将官
General officers

佐官、副官
Field & Company officers

この上から飾帯を巻く
Belt was covered with a sash

礼装の砲兵少尉
Full dress (simple) Artillery 2nd Lieutenant

兵科色
Service color

正装から前立と飾帯を省いた形
Plume and sash were removed from Full dress uniforms

正装の乃木大将
General Nogi in full dress

国の祝日に正装で抜刀遥拝する乃木大将。俗に「ぐしゃ長」と呼ばれる長靴を履いている。陸軍軍装は正衣、軍衣のみで、海軍のような、正、礼、通礼の制服がなく、徽章などの取り外しと、衣袴の組み合わせで代行していた。

General Nogi saluting with his sabre pointing in the direction of the Imperial Palace on a legal holiday. Unlike the Navy, the Army at the time did not designate dress, formal and regular service uniforms. Instead, they used various combinations of uniforms and added or removed decorations depending on the occasion.

伝令使懸章（明治19年には副官懸章になる）
An infantry colonel in full dress uniform with the standard riding equipment for field officers.

通常礼装
Standard simplified full dress

短期間に制定された多数の軍衣の組み合わせから、軍が一応定めた7通りの組み合わせ

The seven types of standard (simplified) dress uniforms designated by the Army, employing various pieces of other uniforms.

38年式夏衣
Model 1905 summer tunic

38年式軍衣
Model 1905 tunic

38年式（戦時服）第2種帽
Mode 1905 (wartime) cap

33年式
Model 1900

中尉
Lieutenant

26年式夏衣
Model 1883 summer tunic

33年式
Model 1900

33年式
Model 1900

33年式（19年式と同じ）第一種帽
Model 1900 cap

33年式（19年式）軍衣
Model 1900 tunic

33年式19年式）軍袴
Model 1900 trousers

38年式夏袴
Model 1905 summer trousers

38年式軍袴
Mode 1905 trousers

38年式夏袴
Model 1905 summer trousers

33年式夏袴
Model 1900 summer trousers

少尉
2nd Lieutenant

38年式夏袴
Model 1905 summer trousers

中佐
Lieutenant Colonel

少佐 Major

Model 1900 summer trousers

大尉 Captain

中尉 Lieutenant

中将 Lieutenant General

歩兵、下士官、兵卒　Infantry, NCOs & Privates

軍帽 Peaked cap

夏用のカバー（日覆）と帽垂れ
Cap cover and neckflap

中へ巻き込んだ状態
Folded

垂らした状態
Working

歩兵聯隊旗 Regimental standard

聯隊番号が入る
Regimental number

山羊の毛皮付きの防寒チョッキ
Fur vest

マントを付けた兵
Mantle

軍衣　明治19年制定
Model 1886 uniform

下士官、兵卒用外套
Great coat for NCOs & privates

歩兵一等卒
Infantry private 1st-class

背嚢装着
Knapsack

肩に背負い袋と毛布を巻いた一等軍曹
Sergeant 1st-class with blanket.

明治37年制定の夏衣、上衣の丈が短く、腹が出てしまうので、後に改正された。
Model 1904 summer uniform (modified later)

下士官、兵卒の冬衣袴
Winter uniform for NCOs & privates

袖章　明治19年制定 Model 1886 cuff

陸軍士官礼装 Infantry officers full dress uniforms

正衣 Full dress tunic

明治8年制定 Model 1875　明治6年制定 Model 1873　明治19年制定 Model 1886

中尉 Lieutenant
ボタンのラインが直列に変更される
A line of buttoes was changed into a straight line.
兵科色 Service color
ボタンのラインが曲線を描く Notice the curved lines of buttons
大将 General
少将 Major General
円が一つになる Circles to be united
細線5条 Five thin lines
幅広の金線 Thicker gold stripe
細線7条 Seven thin lines

正袴 Full dress trousers

明治8年 Model 1875　明治19年 Model 1886

兵科色 Service color
赤 Red

軍医部、会計部、馬医部 Medical & Veterinary, Accoutans
佐官、尉官 Field & company officers
将官および担当官 General officers
准尉士官、下副官 Warrant officers
佐官、尉官および担当官 Field & company officers
将官および担当官 General officers

正帽 Full dress cap

明治8年制定 Model 1875　明治19年制定 Model 1886

大将 General
(小線3 Three thin lines)
(太線1 One bold line)
少将 Major General
中将 Lt. General
星1つ Single star
大将 General (小線3 Three thin lines) (太線1 One bold line)
中将 Lt. General (小線2 Two thin lines) (太線1 One bold line)
少将 Major General (小線1 One thin line) (太線1 One bold line)
佐官星 Stars for field officer
大佐 Colonel (小線6 Six thin lines)
中佐 Lt. colonel (小線5 Five thin lines)
少佐 Major (小線4 Four thin lines)
大佐 Colonel (小線1 One thin line) (太線2 Two bold lines)
中佐 Lt. Colonel (小線6 Six thin lines)
少佐 Major (小線5 Five thin lines)
尉官星 Stars for company officer
大尉 Captain (小線3 Three thin lines)
中尉 Lieutenant (小線2 Two thin lines)
少尉 2nd Lieutenant (小線1 One thin line)
大尉 Captain (小線4 Four thin lines)
中尉 Lieutenant (小線3 Three thin lines)
少尉 2nd Lieutenant (小線2 Two thin lines)
准士官 Warrant officer

正衣袖章 Full dress cuff

明治6年9月24日制定 Model 1873

7条 Seven thin lines — 大将 General
6条 Six thin lines — 中将 Lt. General
5条 Five thin lines — 少将 Major General
6条 Six thin lines — 大佐 Colonel
5条 Five thin lines — 中佐 Lt. Colonel
4条 Four thin lines — 少佐 Major
3条 Three thin lines — 大尉 Captain
2条 Two thin lines — 中尉 Lieutenant
1条 One thin lines — 少尉 2nd Lieutenant

正衣袖章 Full dress cuff

明治19年制定 Model 1886

准尉(大正6年制定) Warrant officer (Model 1917)
准士官(昭和13年) Warrant (Model 1938)officer (revised)

少将 Major General
中将 Lt. General
大将 General
少佐 Major
中佐 Lt. Colonel
大佐 Colonel

正肩章 Full dress shoulder strap

明治19年制定 Model 1886

大将 General
少佐および相当官 Major
中将 Lt. General
大尉および相当官 Captain
中尉および相当官 Lieutenant
少将および相当官 Major General
少尉および相当官 2nd Lieutenant
大佐および相当官 Colonel
准尉 Warrant officer
中佐および相当官 Lt. Colonel
准士官、下副官 Warrant officer

正衣襟章 Full dress collar

明治8年11月24日布告 Model 1875　明治19年7月6日制定 Model 1886

将官 General officers
将官、金線縫箔 General officers
佐官 Field officers
佐官、金線縫箔 Field officers
尉官 Company officers
尉官、平織金線 Company officers
准士官、下副官、蛇腹組金線 Warrant officers

正剣 Full dress sabre

尉官 Company officers

佐官 Field officers

正剣帯 Full dress belt

飾帯 Sash

飾帯 Sash

明治8年 Model 1875

明治8年の星 Stars for 1875

明治19年 Model 1886

明治19年の星 Stars for 1886

伝令懸章(副官懸章) Adjutant's Aiguillette

黄 Yellow

白 white

正剣緒 Full dress sabre strap

明治8年 Model 1875

尉官 Company officers

佐官 Field officers

将官 General officers

明治19年 Model 1886

准士官 Warrant officers

尉官 Company officers

佐官 Field officers

将官 General officers

夏外套 Summer coat

雨衣 Rain coat

大外套 Great coat

明治19年制定 Model 1886

明治8年制定 Model 1875

外套袖章 Great coat cuffs

明治8年 Model 1875

佐官 Field officers

少将 Major General

中将 Lt. General

大将 General

明治19年 Model 1886

准士官 Warrant officers

尉官 Company officers

佐官 Field officers

少将 Major General

中将 Lt. General

大将 General

5 歩兵、下士官、兵卒 Infantry, NCOs & Privates

明治37年11月23日に開始された旅順攻略戦は、ぶ厚いコンクリートで構築された近代的要塞に対する肉弾突撃による強襲作戦であった。日本軍の死傷者は5万人にも達し、ロシア軍の死傷者1万7千を遥かに超した。

Operation Lushun began on November 23, 1904 and was a severe battle in which tens of thousands of Japanese Army troops hurled themselves against Russian Army positions hidden in modern, concrete bunkers. About 50,000 Japanese and over 17,000 Russians were killed and or injured in this fierce battle.

「突撃発起」

ロシア軍のサーチライトと照明弾の下、強襲突撃の態勢をとる白襷の決死隊。新しい帽子と旧式の帽子の兵が混在している。

Charge! Japanese troops prepare to make a desperate advance against Russian Army positions using only searchlights and flares for illumination. New and old hat styles were in use simultaneously.

大隊番号(白絨) Battalion number

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

肩章 明治19年制定 Model 1887 shoulder straps

一年志願兵 (地色は各兵科色) One-Year Volunteers (Cloth color was service branch color)

鉄道兵 Railroad engineer

生徒 Student 士官生徒(緋縅) Caded(Red edge) 幼年生徒(黄縅) Military preparatory student(Yellow edge)

看馬兵 Veterinarian

看護兵 Nursing soldier

軍楽兵 Military band

2 大隊番号 Battalion no.

地色 Service Branch Colors

赤→近衛歩兵、歩兵、屯田兵、憲兵(後に黄色) Red: Guard infantry, Infantry, Frontier solders, Military police

黄色→近衛砲兵、砲兵 Yellow: Guard artillery, Artillery

鳶色→近衛工兵、工兵 Brown: Guard pioneer, Pioneer

藍色→輜重兵 Dark blue: Supply corps

花色藍色→会計兵 Blue: Accountant

萌黄色→騎兵 Yellow green: Cavalry

各種装具の付け方
Equipment

眼鏡、拳銃、図嚢などの個人装備の付け方には規定がなかったために、色々な例が見られる。
There were no regulations regarding the wearing of personal effects such as eyeglasses, pistols etc.

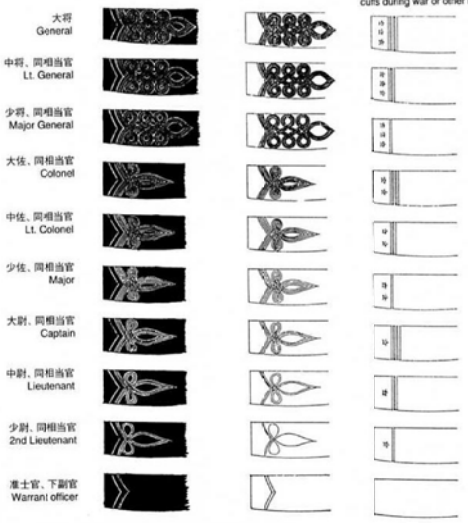
袖章 Cuff

明治19年制定
Model 1886

冬衣 Winter model
幅1分蛇腹組黒線、下端に幅8分の毛線突起状1条を下端に付す。准士官は幅3分黒毛線1条沿い蛇腹組黒線1条。
Knot of 3mm-wicth black braid and a wave-shaped woolen ribbon of 24mm width. For Warrant officers, a black wave-shaped woolen ribbon of 9mm width with a single black braid.

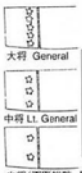
夏衣 Summer model
幅1分蛇腹組白線。准士官は幅3分白内記打1条。
Knot of 3mm width white braid. For Warrant officers, a wave-shaped white ribbon of 9mm width.

幅1分蛇腹組白線または、平織白線星章は銀色表半分に付す。准士官に袖章なし。明治37年の2月10日の勅令により、戦時または事変に際し、夏衣制定を濃紺織または紺紙袖章を黒線に、また地質を茶褐色とし袖章を共色とすることを得。
Strpes of 3mm width white braid or plan weave with star-like ersigns half-painted in silver. No cuff markings for Warrant officers. An Imperial edict issued in 1904 sanctioned the use of dark-blue summer dress with black-stroed cuffs or dark-brown dress and cufs during war or other incidents.



外套袖章 Great coat cuffs

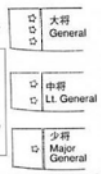
明治8年制定
Model 1875



各科の定色1条 Service color
砲兵一黄 Artillery:Yellow
工兵一白 Engineer:White
騎兵一萌黄 Cavalry:Light green
輜重一紫 Transport:Purple
軍楽一紺 Military band:Dark blue
会計部一ネズミ色 Accountant:Grey
軍医、馬医部一紫
Medical & Vetarinary:Purple

少将(軍医総監、監督長)Major General
幅1分金線および金星、
軍医総監、監督長は銀線

明治19年改正
Model 1886



幅1分金線および金星、
相当官は銀線および銀星

1分幅金線および黄絨線、近衛は緑、軍医は袖口より線間に亞り緑絨。相当官は銀線に監督花色監絨。軍医、薬剤、獣医、深緑絨。

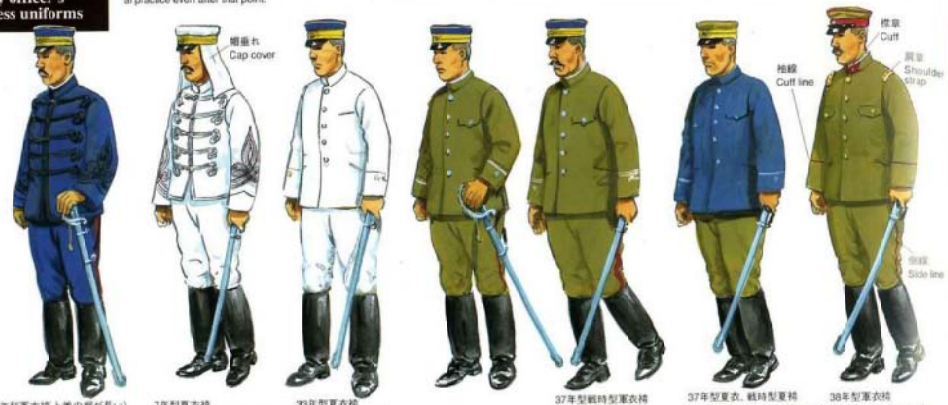
1分幅黄線1条、近衛は緑絨。相当官は定色のみ、軍楽青絨。

3分幅黄絨、近衛は緑、軍楽は紺青絨、軍医は袖口を緑絨。

第4章 歩兵士官軍装、略装
Infantry officer's service dress uniforms

各種軍衣袴 Service tunic and trousers

日露戦争中の基本軍装は明治19年制定の軍衣袴だったが、実用上いくつかの変更があった。
The standard equipment used during the Russo-Japanese war was formally established in 1886. But older uniform types were also mixed and used in actual practice even after that point.



33年型軍衣袴上着の裾が長い)
Service tunic and trousers model 1900 (longer hem)

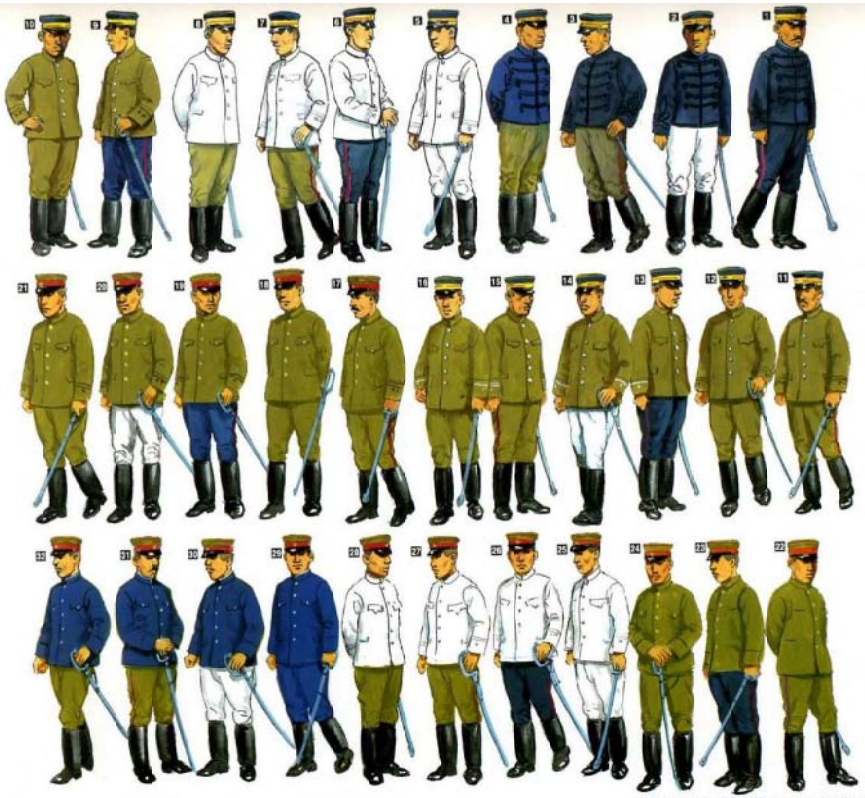
7年型夏衣袴
Summer tunic and trousers model 1874

33年型夏衣袴
Summer tunic and trousers model 1900

37年型戦時型軍衣袴
Service tunic and trousers model 1904

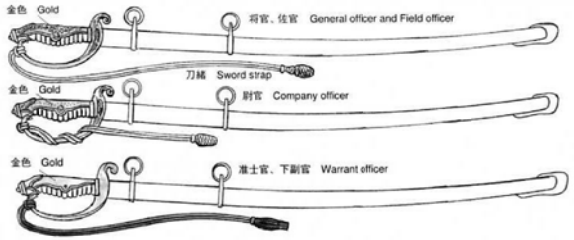
37年型夏衣、戦時型夏袴
Summer service tunic and summer trousers model 1904

38年型軍衣袴
Service tenic and trousers model 1905



1 33年型軍衣袴 Service tunic and trousers model 1900
2 33年型軍衣、33年型夏袴 Service tunic and summer trousers model 1900
3 33年型軍衣、33年型戦袴 Service tunic and trousers model 1900
4 33年型軍衣、33年型戦夏袴 Service tunic and summer combat trousers model 1900
5 33年型衣袴 Summer tunic and trousers model 1900
6 33年型夏衣、33年型軍袴 Summer tunic and trousers model 1900
7 33年型夏衣、37年型戦袴 Summer tunic model 1900 and trousers model 1904
8 33年型夏衣、37年型戦袴 Summer tunic model 1900 and trousers model 1904
9 37年型軍衣、33年型軍袴 Service tunic model 1904 and trousers model 1900
10 37年型軍衣、33年型夏袴 Service tunic model 1904 and summer trousers model 1904
11 37年型夏衣、33年型軍袴 Summer tunic model 1904 and trousers model 1900
12 37年型夏衣、33年型夏袴 Summer tunic model 1904 and summer trousers model 1900
13 37年型夏衣、37年型戦袴 Summer tunic and trousers model 1904
14 37年型夏衣、37年型夏袴 Summer tunic and summer trousers model 1904
15 37年型戦軍衣、37年型戦袴(37式戦時第2種帽、後の45式と同じ。以下同) Service tunic and trousers model 1904 with peaked cap model 1904
16 37年型軍衣、37年型戦夏袴 Service tunic and summer combat trousers model 1904
17 37年型軍衣、33年型軍袴 Service tunic model 1904 and trousers model 1900
18 37年型軍衣、33年型夏袴 Service tunic model 1904 and summer trousers model 1900
19 37年型戦夏衣、37年型戦袴 Summer tunic and trousers model 1904
20 37年型戦夏衣、33年型軍袴 Summer tunic model 1904 and trousers model 1900
21 37年型戦夏衣、33年型夏袴 Summer tunic model 1904 and summer trousers model 1900
22 33年型夏衣、33年型夏袴 Summer tunic and summer trousers model 1900
23 33年型夏衣、33年型軍袴 Summer tunic and trousers model 1900
24 33年型夏衣、37年型戦袴 Summer tunic model 1900 and trousers model 1904
25 33年型夏衣、37年型戦夏袴 Summer tunic model 1900 and summer combat trousers model 1904
26 37年型夏衣、37年型夏袴 Summer tunic and summer trousers model 1904
27 37年型夏衣、37年型戦袴 Summer tunic and trousers model 1904

軍刀 Sword



刀帯 Sword belt

軍衣 Service tunic

明治19年制定、濃紺地に黒紐
Model 1886, Dark blue with black straps

夏衣は同型式で白
White summer tunic was the same design.

明治10年から輸入された拳銃S.W.のタイプ1(44口径)

Smith & Wesson Type 1 revolver (.44 caliber), imported beginning 1877

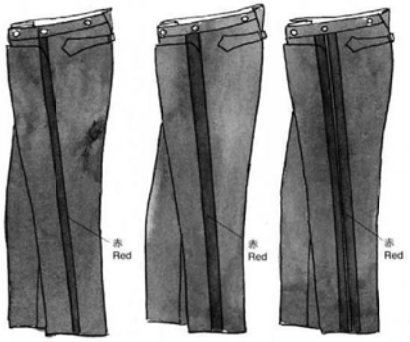
軍袴 Trousers

短袴(乗馬用袴)
Breeches (riding use)

将官および同相当官
General officer

佐官、尉官および同相当官
Field and Company officer

夏袴
Summer trousers



尉官
Company officer

佐官
Field officer

将官
General officer